BUFFALO™

無線LAN親機

WZR-450HP/WZR-300HP/WZR-600DHP/WZR-D1100H エアステーション設定ガイド

buffalo.jp

35012688-02

目次

##

Chapter 5 - PPTPサーバー機能 177

Chapter 6 - 困ったときは 210

Chapter 1 - はじめに

電波に関する注意

- 本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、工事設計認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本製品は、日本国内でのみ使用できます。
- 本製品は、工事設計認証を受けていますので、以下の事項をおこなうと法律で罰せられることがあります。
  - ・本製品を分解/改造すること
  - ・本製品の裏面に貼ってある証明レーベルをはがすこと
- IEEE802.11a対応製品は、電波法により屋外での使用が禁じられています。
- IEEE802.11b/g対応製品は、次の場所で使用しないでください。
  電子レンジ付近の磁場、静電気、電波障害が発生するところ、2.4GHz付近の電波を使用しているものの近く(環境により電波が届かない場合があります。)
- IEEE802.11b/g対応製品の無線チャンネルは、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。
  - ・産業・科学・医療用機器
  - ・工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局
    ①構内無線局(免許を要する無線局)
    ②特定小電力無線局(免許を要しない無線局)
- IEEE802.11b/g対応製品を使用する場合、上記の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。
  1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
  2. 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに本製品の使用周波数を変更して、電波干渉をしないようにしてください。
  3. その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、当社サポートセンターへお問い合わせください。

使用周波数	2.4GHz
変調方式	OFDM方式/DS-SS方式
想定干渉距離	40m以下
周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ「構内無線局」「特定小電力無線局」帯域を回避可能

無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティーに関するご注意

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。
その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティーに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、IDやパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報、メールの内容等の通信内容を盗み見られる可能性があります。

不正に侵入される

- 悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
- 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
- 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
- コンピューターウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）

などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線LANカードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティーの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティーに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

無線LAN機器は、購入直後の状態においては、セキュリティーに関する設定が施されていない場合があります。
従って、お客様がセキュリティー問題発生の可能性を少なくするためには、無線LANカードや無線LANアクセスポイントをご使用になる前に、必ず無線LAN機器のセキュリティーに関する全ての設定をマニュアルにしたがって行ってください。
なお、無線LANの仕様上、特殊な方法によりセキュリティー設定が破られることもあり得ますので、ご理解の上、ご使用下さい。
セキュリティーの設定などについて、お客様ご自分で対処できない場合には、「BUFFALOサポートセンター」までお問い合わせ下さい。

当社では、お客様がセキュリティーの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティーに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

社団法人　電子情報技術産業協会（JEITA）
「無線LANのセキュリティに関するガイドライン」より

動作環境

本製品の動作環境は次の通りです。

対応機器・対応OS

<無線親機本体との無線接続>

無線LAN機能に対応したパソコン、Mac、スマートフォン、タブレット端末、ゲーム機など

<無線親機の設定変更>

Internet Explorer 7.0以降を搭載したWindows 7※1/Vista※1/XP※2パソコン、
Safari 3.0以降を搭載したMac (OS X 10.7/10.6/10.5)、
iOS 3以降のiPod touch※3 / iPhone※3 / iPad※3、
Android 2.1以降のスマートフォン※3、タブレット端末※3

※1　64 ビットと32 ビットに対応しています。

※2　32 ビット、かつサービスパック 3に対応しています。

※3　標準搭載のWebブラウザーを使った初期設定(インターネット接続設定)のみの対応となります。本製品の詳細設定には対応しておりません。

<エアステーション設定ツール (当社ホームページよりダウンロード)>

Windows 7 (64 ビット/32 ビット)、Vista (64 ビット/32 ビット)、XP (32 ビット)、
Mac OS X (10.4/10.5/10.6/10.7)

<LAN端子用無線子機設定ツール (当社ホームページよりダウンロード)>

Windows 7 (64 ビット/32 ビット)、Vista (64 ビット/32 ビット)、XP (32 ビット)

<AirStation倍速設定ツール (当社ホームページよりダウンロード)>

Windows 7 (64 ビット/32 ビット)、Vista (64 ビット/32 ビット)、XP (32 ビット)

<デバイスサーバー設定ツール (当社ホームページよりダウンロード)>

Windows 7 (64 ビット/32 ビット)、Vista (64 ビット/32 ビット)、XP (32 ビット)、
Mac OS X (10.4/10.5/10.6/10.7)

各種ソフトウェアのご紹介

エアステーション設定ツール（Windows/Mac OS用）

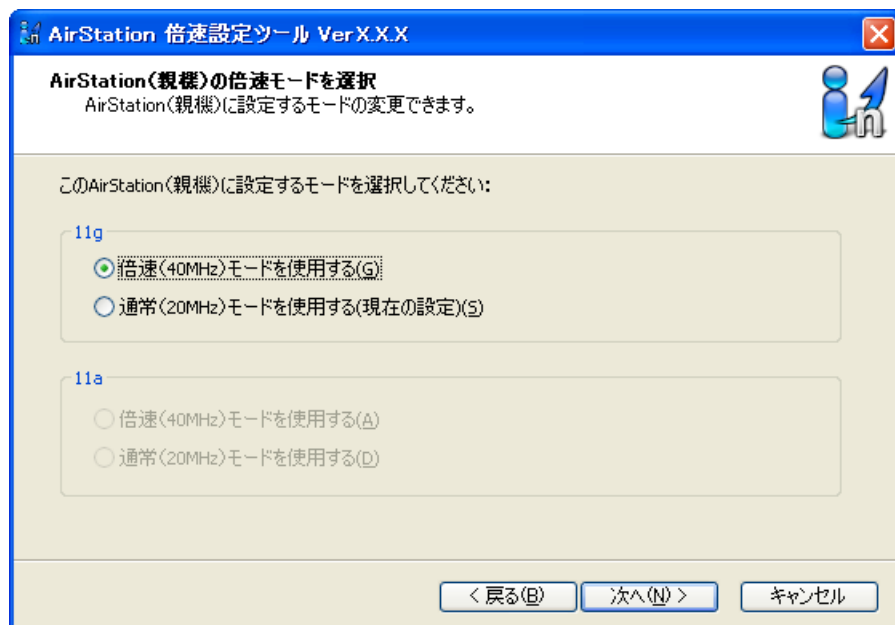
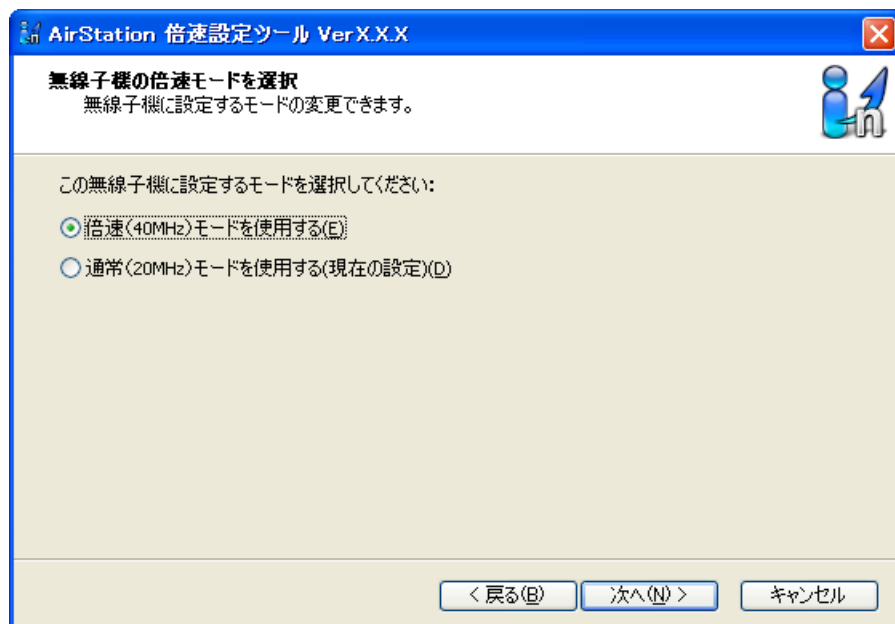
エアステーション設定ツールは、本製品の設定画面をかんたんに表示するためのソフトウェアです。本製品とパソコンを接続して、エアステーション設定ツールを実行すると、本製品の設定画面を表示したり、本製品のIPアドレスを変更することができます。

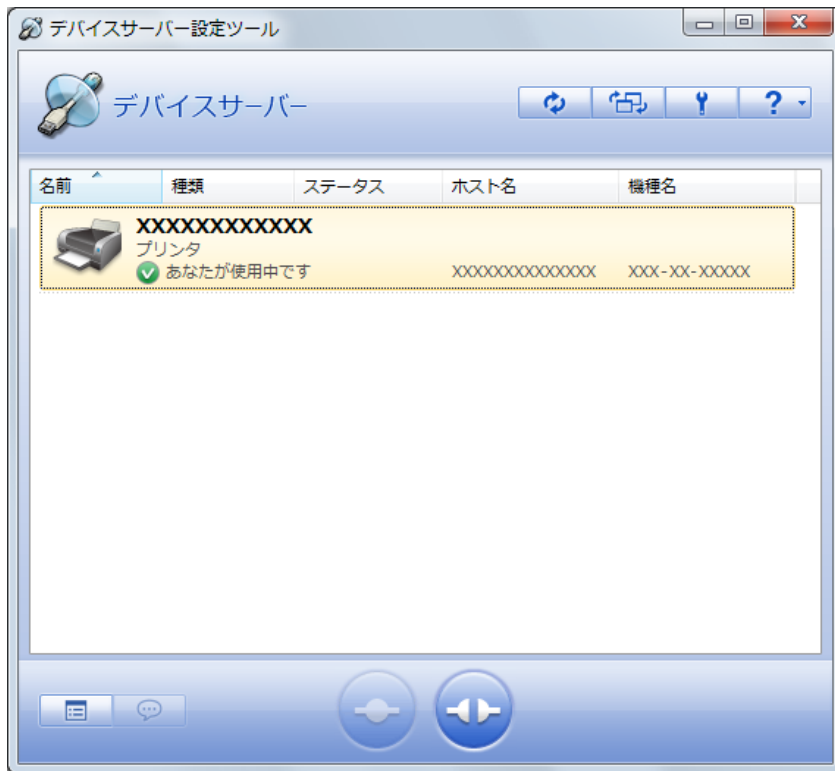
メモ 本書の手順で各種設定を行うには、エアステーション設定ツールが必要となります。

LAN端子用無線子機設定（Windows専用）

別売のLAN端子用無線子機の設定をかんたんに行うためのソフトウェアです。LAN端子用無線子機の設定画面にアクセスしたり、無線親機との接続設定を行うことができます。

AirStation倍速設定ツール（Windows専用）

本製品や無線子機の倍速モードの有効/無効をかんたんに切り替えることができるソフトウェアです。本製品に対しては、本製品の設定画面を表示することなく倍速モードの有効/無効を切り替えられます。

デバイスサーバー設定ツール（Windows/Mac OS用）

本製品のUSB端子につないだプリンターをネットワーク内の各パソコンから使用するためのソフトウェアです。

Chapter 2 - 本製品の設定画面

本章では、本製品の設定画面について説明します。

本書では、おもにWZR-450HPの画面を使って説明していますので、画面の細部が実際の製品と異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

設定画面とは

本製品の設定画面は、各種設定や機器診断を行う画面です。本製品の設定を変更するときや状態を確認したいときに使用します。

パラメーター	内容
Internet/LAN	Internetポート/LANポートに関する設定画面を表示します。
無線設定	クリックすると、無線LANに関する設定画面を表示します。
セキュリティー	クリックすると、セキュリティーに関する設定画面を表示します。
ゲーム＆アプリ	クリックすると、ゲームやアプリケーションで使用する場合の設定画面を表示します。
NAS	クリックすると、本製品に接続したUSBディスクを使用する場合の設定画面を表示します。
管理設定	クリックすると、本製品の管理に関する設定画面を表示します。
ステータス	クリックすると、本製品のステータス情報を表示します。
かんたん設定	インターネット接続設定や無線LANに関する設定などの本製品に関する設定をかんたんに行うことができます。
動作モード情報	現在の動作モードが表示されます。
Internet情報	現在のInternet側の接続先情報が表示されます。
i-フィルター	現在のi-フィルターの状態が表示されます。
無線情報	本製品のSSIDや暗号化方式などが表示されます。
エコモード	現在の節電機能の状態が表示されます。
ユーティリティー機能	ネットワークサービス一覧画面やメディアサーバーの状態、BitTorrentのダウンロードマネージャーなどを表示するためのボタンが表示されます。

エアステーション設定ツールのインストール

当社ホームページよりダウンロードしたファイルを実行してインストールしてください。

メモ 最新版のエアステーション設定ツールは、以下のホームページより入手できます。

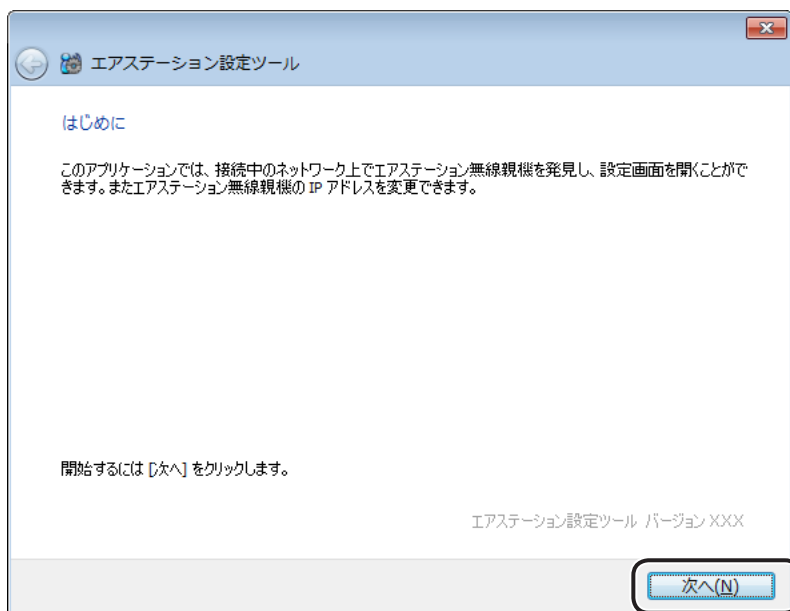
WZR-450HP　: http://d.buffalo.jp/wzr-450hp/
WZR-300HP　: http://d.buffalo.jp/wzr-300hp/
WZR-600DHP : http://d.buffalo.jp/wzr-600dhp/
WZR-D1100H : http://d.buffalo.jp/wzr-d1100h/

設定画面を表示する

Windows 7/Vista/XPをお使いの場合

1 エアステーション設定ツールを起動します。
（[スタート]－[すべてのプログラム]－[BUFFALO]－[エアステーションユーティリティ]－[エアステーション設定ツール]を選択します）

メモ エアステーション設定ツールがインストールされていない場合は、「エアステーション設定ツールのインストール」(P16)を参照してインストールしてください。

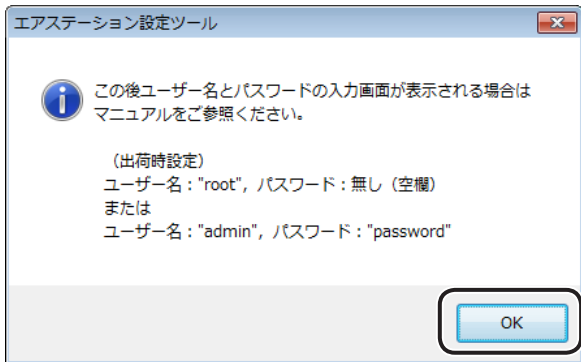
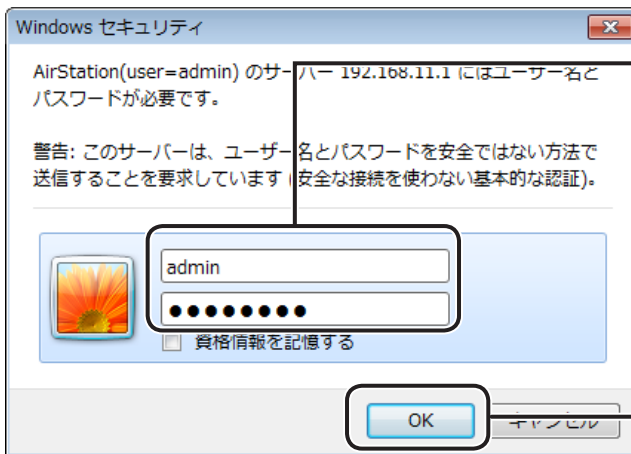
2 [次へ]をクリックします。

メモ パソコンに複数のネットワークアダプタが搭載されている場合、「2つ以上のネットワーク接続がつながっています」というメッセージが表示されます。その場合は、使用していないネットワークアダプタを取り外すか無効にしてから[再実行]をクリックしてください。

3　以下の画面が表示されたら、本製品を選択して、[次へ]をクリックします。

メモ　本製品のMACアドレスは、本製品本体のラベルで確認できます。

4　[設定画面を開く]をクリックします。

メモ　本製品とパソコンのIPセグメントが異なる場合は、「このパソコンのIPアドレス設定」という画面が表示されます。
その場合は、「DHCPサーバーからIPアドレスを自動的に取得する」を選択して[次へ]をクリックしてください。しばらくすると、本製品に新しいIPアドレスが設定され、手順6の画面が表示されます。

5 [OK]をクリックします。

6

ユーザー名欄に「admin」、パスワード欄に「password」を入力します。

（パスワードを変更した場合は、変更後のパスワードを入力します）

[OK]をクリックします。

7 本製品の設定画面が表示されます。

メモ 設定画面のウィンドウの下に、「無線親機の設定画面を開きました」という画面が表示されています。[完了]をクリックして、画面を閉じてください。

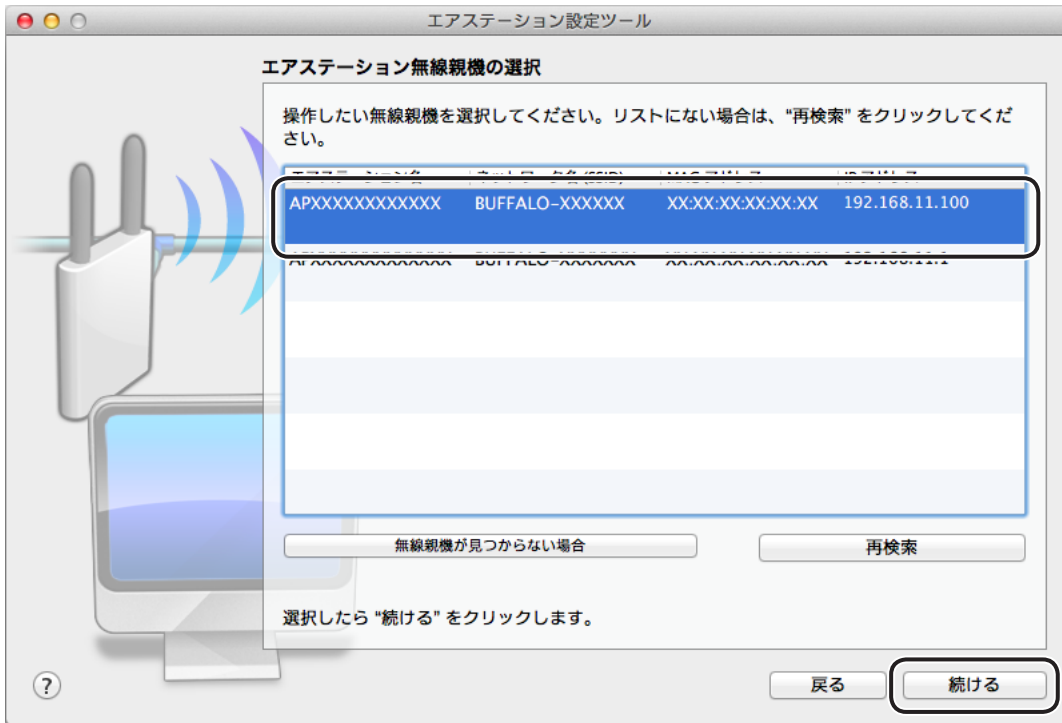
Mac OS Xをお使いの場合

ここでは､Mac OS X 10.7の場合を例に説明します。

1 エアステーション設定ツールを実行します。

メモ エアステーション設定ツールがお手元にない場合は､｢エアステーション設定ツールのインストール｣(P16)を参照して当社ホームページからダウンロードしてください。

2 [続ける]をクリックします。

3 以下の画面が表示されたら、本製品を選択して、[続ける]をクリックします。

メモ 本製品のMACアドレスは、本製品本体のラベルで確認できます。

4 [設定画面を開く]をクリックします。

メモ 本製品とMacのIPセグメントが異なる場合は、「このMacのIPアドレス設定」という画面が表示されます。

その場合は、「DHCPサーバーからIPアドレスを自動的に取得する」を選択して[次へ]をクリックしてください。しばらくすると、本製品に新しいIPアドレスが設定され、手順６の画面が表示されます。画面の指示に従ってIPアドレスを設定してください。

5 [OK]をクリックします。

6

7 本製品の設定画面が表示されます。

メモ 設定画面のウィンドウの下に、「無線親機の設定画面を開きました」という画面が表示されています。[終了]をクリックして、画面を閉じてください。

メニュー構成(ルーターモード時)

ルーターモード時の設定画面のメニュー構成は以下の通りです。各項目の説明は、それぞれのページを参照してください。

メイン画面	説明	ページ
Internet/LAN		
Internet	Internet側ポートの設定を行う画面です。	P28
PPPoE	PPPoEに関する設定を行う画面です。	P29
データ通信カード (WZR-450HP/ WZR-300HPのみ)	本製品に接続するデータ通信カードに関する設定を行う画面です。	P32
DDNS	ダイナミックDNSに関する設定を行う画面です。	P35
PPTPサーバー	PPTPサーバーに関する設定を行う画面です。	P37
LAN	LAN側ポートの設定を行う画面です。	P40
DHCPリース	DHCPリースに関する設定画面です。	P42
アドレス変換	Internet側をインターネットに接続するときに使用するアドレス変換機能に関する設定を行う画面です。	P43
経路情報	本製品が行う通信のIP経路の設定を行う画面です。	P44
無線設定		
WPS	WPSの詳細な設定や状況を確認する画面です。	P45
基本	無線の基本的な設定を行う画面です。	P46
拡張	無線の拡張設定を行う画面です。	P49
WMM	本製品が行う特定の通信に優先順位をつける設定を行う画面です。	P50
MACアクセス制限	無線機器からのアクセスを制限する設定を行う画面です。	P52
マルチキャスト制御	無線LANポートに無駄なマルチキャストパケットが転送されないように制限する設定を行う画面です。	P54
ゲストポート (WZR-450HP/ WZR-D1100Hのみ)	来客用の無線接続ポート(ゲストポート)の設定を行う画面です。	P55
エアステーション間接続 (WZR-300HPのみ)	無線親機同士の通信設定を行う画面です。	P57
AOSS	AOSSの詳細な設定や状況を確認する画面です。	P59
セキュリティー		
ファイアウォール	本製品のファイアウォール機能を設定する画面です。	P62

IPフィルター	LAN側とInternet側の間で通過するパケットに関するIPフィルターの編集を行う画面です。	P64
VPN パススルー	IPv6パススルー、PPPoEパススルー、PPTPパススルーに関する設定を行う画面です。	P65
i-フィルター	ホームページの表示を許可/ブロックする「i-フィルター」に関する設定を行う画面です。	P66
ゲーム&アプリ		
ポート変換	ポート変換に関する設定を行う画面です。	P67
DMZ	LAN側からの通信と無関係な通信パケットの転送先を設定する画面です。	P68
UPnP	UPnP(Universal Plug and Play)に関する設定を行う画面です。	P69
QoS	インターネットへ送信するパケットの優先制御を設定する画面です。	P69
Movieエンジン (WZR-450HP/ WZR-300HP/ WZR-600DHPのみ)	動画や音声再生に特化したMovieエンジンの設定を行う画面です。	P71
NAS		
ディスク管理	本製品に接続したUSBディスクに関する情報表示や管理を行う画面です。	P72
共有フォルダー	USBディスクへのアクセス制限設定を行う画面です。	P74
ユーザー管理	USBディスク上の共有フォルダーへのアクセスに必要なユーザー名を登録する画面です。	P75
共有サービス	共有サービスの有効/無効の設定や状態を確認する画面です。	P76
Webアクセス	Webアクセス機能に関する設定を行う画面です。	P77
メディアサーバー	メディアサーバー機能の有効/無効の設定や状態を確認する画面です。	P79
BitTorrent	BitTorrent機能の有効/無効の設定や状態を確認する画面です。	P80
管理設定		
本体	本製品の名称を設定する画面です。	P81
パスワード	本製品の設定画面にログインするためのパスワードを変更する画面です。	P81
時刻	本製品の内部時計を設定する画面です。	P82
NTP	本製品の内部時計をNTPサーバーと同期するための設定を行う画面です。	P83
エコ	本製品の節電機能の設定を行う画面です。	P84

プリントサーバー (WZR-450HP/ WZR-300HP/ WZR-D1100Hのみ)	本製品のプリントサーバー機能の設定を行う画面です。	P87
アクセス	本製品の設定画面へのアクセスを制限する設定を行う画面です。	P88
ログ	syslogによる本製品のログ情報を転送するための設定を行う画面です。	P89
保存/復元	本製品の設定を保存したり、設定ファイルからの設定を復元する画面です。	P90
初期化/再起動	本製品を初期化したり、再起動するための画面です。	P91
ファーム更新	本製品のファームウェアを更新するための画面です。	P92
ステータス		
システム	本製品のシステム情報を確認する画面です。	P93
ログ	本製品に記録されているログ情報を確認する画面です。	P95
通信パケット	本製品が通信したパケットの合計を確認する画面です。	P96
クライアントモニター	本製品と通信している機器を確認する画面です。	P96
診断	本製品からネットワーク上の他の機器との接続確認を行う画面です。	P97
ログアウト		
クリックすると本製品の設定画面からログアウトします。		
マニュアル/アプリ		
クリックすると本製品に関するマニュアルやソフトウェアのダウンロードページを表示します。		

メニュー構成(ブリッジモード時)

ブリッジモード時の設定画面のメニュー構成は以下の通りです。各項目の説明は、それぞれのページを参照してください。

メイン画面	説明	ページ
LAN設定		
LAN	LAN側ポートの設定を行う画面です。	P40
経路情報	本製品が行う通信のIP経路の設定を行う画面です。	P44
無線設定		
WPS	WPSの詳細な設定や状況を確認する画面です。	P45
基本	無線の基本的な設定を行う画面です。	P46
拡張	無線の拡張設定を行う画面です。	P49
WMM	本製品が行う特定の通信に優先順位をつける設定を行う画面です。	P50
MACアクセス制限	無線機器からのアクセスを制限する設定を行う画面です。	P52
マルチキャスト制御	無線LANポートに無駄なマルチキャストパケットが転送されないように制限する設定を行う画面です。	P54
ゲストポート (WZR-450HP/WZR-D1100Hのみ)	来客用の無線接続ポート(ゲストポート)の設定を行う画面です。	P55
エアステーション間接続 (WZR-300HPのみ)	無線親機同士の通信設定を行う画面です。	P57
AOSS	AOSSの詳細な設定や状況を確認する画面です。	P59
QoS (WZR-450HP/WZR-300HP/WZR-600DHPのみ)		
Movieエンジン (WZR-450HP/WZR-300HP/WZR-600DHPのみ)	動画や音声再生に特化したMovieエンジンの設定を行う画面です。	P71
NAS		
ディスク管理	本製品に接続したUSBディスクに関する情報表示や管理を行う画面です。	P72
共有フォルダー	USBディスクへのアクセス制限設定を行う画面です。	P74
ユーザー管理	USBディスク上の共有フォルダーへのアクセスに必要なユーザー名を登録する画面です。	P75
共有サービス	共有サービスの有効/無効の設定や状態を確認する画面です。	P76

Webアクセス	Webアクセス機能に関する設定を行う画面です。	P77
メディアサーバー	メディアサーバー機能の有効/無効の設定や状態を確認する画面です。	P79
BitTorrent	BitTorrent機能の有効/無効の設定や状態を確認する画面です。	P80
管理設定		
本体	本製品の名称を設定する画面です。	P81
パスワード	本製品の設定画面にログインするためのパスワードを変更する画面です。	P81
時刻	本製品の内部時計を設定する画面です。	P82
NTP	本製品の内部時計をNTPサーバーと同期するための設定を行う画面です。	P83
エコ	本製品の節電機能の設定を行う画面です。	P84
プリントサーバー (WZR-450HP/ WZR-300HP/ WZR-D1100Hのみ)	本製品のプリントサーバー機能の設定を行う画面です。	P87
アクセス	本製品の設定画面へのアクセスを制限する設定を行う画面です。	P88
ログ	syslogによる本製品のログ情報を転送するための設定を行う画面です。	P89
保存/復元	本製品の設定を保存したり、設定ファイルからの設定を復元する画面です。	P90
初期化/再起動	本製品を初期化したり、再起動するための画面です。	P91
ファーム更新	本製品のファームウェアを更新するための画面です。	P92
ステータス		
システム	本製品のシステム情報を確認する画面です。	P93
ログ	本製品に記録されているログ情報を確認する画面です。	P95
通信パケット	本製品が通信したパケットの合計を確認する画面です。	P96
クライアントモニター	本製品と通信している機器を確認する画面です。	P96
診断	本製品からネットワーク上の他の機器との接続確認を行う画面です。	P97
ログアウト		
クリックすると本製品の設定画面からログアウトします。		
マニュアル/アプリ		
クリックすると本製品に関するマニュアルやソフトウェアのダウンロードページを表示します。		

Internet/LAN(LAN設定)

Internet(ルーターモード時のみ)

Internet側ポートの設定を行う画面です。

⇒ Internet/LAN － Internet

IPアドレス取得方法	◉ インターネット@スタートを行う ○ DHCPサーバーからIPアドレスを自動取得 ○ PPPoEクライアント機能を使用する ○ IP Unnumberedを使用する ○ データ通信カードを使用する ○ 手動設定 IPアドレス サブネットマスク 255.255.255.0

※PPPoE接続先の設定はInternet/LAN設定 － PPPoE設定で行ってください

[拡張設定]

デフォルトゲートウェイ	
DNS(ネーム)サーバーアドレス	プライマリー: セカンダリー:
Internet側MACアドレス	◉ デフォルトのMACアドレスを使用(XX:XX:XX:XX:XX:XX) ○ 手動設定
Internet側MTU値	1500 バイト

設定

パラメーター	内容
IPアドレス取得方法	Internet側のIPアドレスの取得方法を指定します。
デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイのIPアドレスを設定します。
DNS(ネーム)サーバーアドレス	DNSサーバーのIPアドレスを指定します。
Internet側MACアドレス	Internet側インターフェースのMACアドレスを設定します。 * 不適切なMACアドレスを設定すると、本製品だけでなく、ネットワーク上の他の機器も使用できなくなります。この設定は、お客様の責任において行ってください。
Internet側MTU値	Internet側インターフェース(Internetポート)で通信を行うときに使用するMTUを578～1500バイトの範囲で設定します。

PPPoE(ルーターモード時のみ)

PPPoEに関する設定を行う画面です。

⇒ Internet/LAN　－　PPPoE

デフォルトの接続先	1 : Internet@Start
IP Unnumbered使用時の接続先	1 : Internet@Start

[設定]

PPPoE接続先リスト

接続先No.	名称	状態
1	Internet@Start	有効

[接続先の編集]

接続先経路の表示

No.	接続先	宛先アドレス	送信元アドレス
接続先経路の設定は登録されていません			

[接続先経路の編集]

パラメーター	内容
デフォルトの接続先	PPPoE接続先リストで複数の接続先を登録している場合、ここで選択した接続先が優先されます。デフォルト以外の接続先を用いるときは、PPPoEの接続先経路設定を別途行う必要があります。
IP Unnumbered使用時の接続先	「IPアドレス取得方法」(P28)で「IP Unnumberedを使用する」を指定した際に使用する接続先を、PPPoE接続先リストに登録されている接続先の中から選択します。
PPPoE接続先リスト	PPPoEの接続先の編集ができます。最大5セッションまで登録可能です。
[接続先の編集]	クリックすると、接続先の設定を編集する画面が表示されます。

パラメーター	内容
PPPoE接続先リスト	[接続先の編集]をクリックすると表示されます。 **接続先名称** 接続先を識別するための名称を32文字までの半角英数字記号で入力します。 **接続先ユーザー名** PPPoEの認証に使用するプロバイダー指定のユーザー名を64文字までの半角英数字記号で設定します。 **接続先パスワード** PPPoEの認証に使用するプロバイダー指定のパスワードを64文字までの半角英数字記号で設定します。 **サービス名** プロバイダーからサービス名の指定がある場合のみ64文字までの半角英数字記号で設定します。 プロバイダーから指定されなければ、空欄のままにします。 **接続方法** 本製品がプロバイダーに接続するタイミングを指定します。 **自動切断** 接続方法が「オンデマンド接続」または「手動接続」のときに、通信が停止してから、回線の使用を停止するまでの時間を0～1440分の範囲で設定します。 **認証方法** プロバイダーとの認証方法を設定します。 **MTU値** PPPoE上で、通信を行うときに使用するMTU値を578～1492バイトの範囲で設定します。 **MRU値** PPPoE上で通信を行うときに使用するMRU値を578～1492バイトの範囲で設定します。 **キープアライブ** キープアライブを有効にすると、本製品はPPPoEサーバーとの接続を維持するために、LCPエコーリクエストを１分に１度発行します。このとき、6分以上サーバーの応答がない場合は、回線が切断されたものと判断し、接続をいったん切断します。頻繁にPPPoE接続が切断される場合は、キープアライブに応答を返さないサーバーである可能性があるため、「無効」に設定してください。

パラメーター	内容
接続先経路の表示	接続先経路を設定すると、設定した情報が表示されます。
[接続先経路の編集]	クリックすると、接続先経路を編集する画面が表示されます。
接続先経路の新規追加	[接続先経路の編集]をクリックすると表示されます。 **接続先** 「宛先アドレス」や「送信元アドレス」が一致する通信の場合にPPPoE接続を行う接続先です。PPPoE接続先リストに登録されている接続先から選択します。 **宛先アドレス** 通信の宛先アドレスです。このアドレス宛へ通信を行うと、設定した「接続先」へ通信します。 **送信元アドレス** 通信の送信元アドレスです。この送信元アドレスから通信を行うと、設定した「接続先」へ通信します。

データ通信カード（ルーターモード時のみ）

データ通信カードを使用する場合の設定を行う画面です。

⇒ Internet/LAN　－　データ通信カード（WZR-450HP/WZR-300HPのみ）

プロファイル	プロファイル-1：[未定義]
プロファイル名称	
データ通信カード	
キャリア選択	手動設定
接続方式	CID指定
CID(登録番号)選択	未選択 （契約内容を確認して選択してください）
電話番号	
PDP Type	現在の値: モデム未接続 IP
APN(接続先)	現在の値: モデム未接続
PIN	
ユーザー名	
パスワード	
接続方法	オンデマンド接続

[拡張設定]

プロファイルの自動切り換え	□使用する
自動切断	切断条件 送信がない場合 待機時間 5 分（0分では自動切断しません）
認証方式	自動認証
MTU値	1500 バイト
キープアライブ	□使用する

自動的に機能を無効にする	☑使用する 機能: ☑PPTPサーバー ☑DDNS ☑BitTorrent ☑Webアクセス ☑NTP

[設定] [プロファイル削除]

パラメーター	内容
プロファイル	インターネット接続に使用するプロファイル（接続先）を指定します。プロファイルは4つまで登録できます。

パラメーター	内容
プロファイル名称	プロファイルの名称を半角英数字記号で64文字以内で登録します。
データ通信カード	本製品に接続されたデータ通信カードの型番が表示されます。
キャリア選択	インターネット接続に使用する通信業者を選択します。データ通信カードと同じ通信業者を選択してください。
接続方式	「キャリア選択」で「docomo」や「SoftBank」を選択した場合は、接続方式を選択します。「WILLCOM」を選択した場合は、接続方式は表示されません。
CID(登録番号)選択	データ通信カード契約時に指定されたCIDを選択してください。キャリア選択により、非表示になる場合があります。
電話番号	データ通信カード契約時に指定された電話番号を入力します。キャリア選択が「WILLCOM」で接続方式が「PHS」、もしくはキャリア選択が「手動設定」の場合、半角英数字と記号「#」「*」「-」を4～40文字まで入力することができます。上記以外のキャリア選択の場合、「*99#」もしくは「*99***[cid]#」の書式のみ設定可能です。編集不可の場合、入力の必要はありません。
PDP Type	接続先の設定です。「IP」、「PPP」のどちらかを選択します。データ通信カード契約時に指定されたPDP Typeを選択してください。
APN(接続先)	接続先の設定です。データ通信カード契約時に指定されたAPNを入力してください。
PIN	「キャリア選択」で「EMOBILE」、「その他」選択時に表示されます。表示されていない場合は、設定の必要はありません。半角数字4文字を入力することができます。 * 誤ったPINを設定して、一定回数接続動作を行うと、PINロックされ接続が不可能になってしまう場合があります。誤ったPINを設定したまま、データ通信カードの抜き差しや本製品の再起動を行うと本製品は再度、接続動作を試みるためPINロックされる恐れがあります。必ずPIN認証に成功した状態で、データ通信カードの抜き差しや本製品の再起動を行ってください。PIN認証に失敗する場合は、データ通信カードを一度パソコンに直接接続して、通信確認を行ってください。

パラメーター	内容
ユーザー名	データ通信カード契約時に指定されたユーザー名を半角英数字と記号で64文字以内で入力します。
パスワード	データ通信カード契約時に指定されたパスワードを半角英数字と記号で64文字以内で入力します。
接続方法	本製品からインターネットへ接続するときの接続形態を選択します。 「常時接続」の場合は、本製品起動後、すぐにインターネットへ接続します。また、通信がない場合でも接続し続けます。 「オンデマンド接続」の場合は、通信を行うときのみインターネットへ接続します。通信がない状態で切断時間が経過すると、切断されます。 「手動接続」の場合は、インターネットへの接続/切断を手動で設定します。
プロファイルの自動切り替え	現在のプロファイルで接続先に接続できなかった場合、自動的に他のプロファイルに切り替えて通信を試みるかどうかを設定します。
自動切断	接続方法が「オンデマンド接続」または「手動接続」のときに、通信が停止してから、回線の使用を停止するまでの時間（0〜1440分）を設定します。
認証方法	データ通信カード契約時に指定された認証方法を設定します。
MTU値	PPP接続で、通信を行うときに使用するMTU値を578〜1500の範囲で設定します。
キープアライブ	キープアライブを有効にすると、無線親機はPPPサーバーとの接続を維持するために、LCPエコーリクエストを１分に１度発行します。 このとき、6分以上サーバーの応答がない場合は、回線が切断されたものと判断し、接続をいったん切断します。 頻繁にPPP接続が切断される場合は、キープアライブに応答を返さないサーバーである可能性があるため、「無効」に設定してください。
自動的に機能を無効にする	データ通信カード使用時に、指定した機能（PPTPサーバー、DDNS、BitTorrent、Webアクセス、NTP）を自動的に無効にするかどうかを選択します。

DDNS(ルーターモード時のみ)

ダイナミックDNSに関する設定を行う画面です。

⇒ Internet/LAN － DDNS

ダイナミックDNS機能	BUFFALOダイナミックDNS

登録/設定変更	登録/設定変更を行う
登録ユーザーID	XXXXXXXXX
登録情報の削除	登録情報を削除する

設定

ダイナミックDNS設定情報

Internet側IPアドレス	XXX.X.XXX.XX
ドメイン名	xxxxxxxxxxxx.bf1.jp
状態	更新成功

現在の状態を表示する

パラメーター	内容
ダイナミックDNS機能	ダイナミックDNSサービスプロバイダーを「BUFFALOダイナミックDNS」「DynDNS」「TZO」から選択します。
登録/変更設定 * BUFFALOダイナミックDNS選択時のみ	[登録/設定変更を行う]をクリックすると、バッファローサイトに接続します。画面上の手続きに従って、BUFFALOダイナミックDNSサービスの登録を行ってください。
登録ユーザーID * BUFFALOダイナミックDNS選択時のみ	BUFFALOダイナミックDNSサービスに登録されているユーザーIDが表示されます。
登録情報の削除 * BUFFALOダイナミックDNS選択時のみ	[登録情報を削除する]をクリックすると、BUFFALOダイナミックDNSサービスの登録情報が削除されます。
ユーザー名 * DynDNS選択時のみ	DynDNSに登録したユーザー名を入力します。
パスワード * DynDNS選択時のみ	DynDNSに登録したパスワードを入力します。
ホスト名 * DynDNS選択時のみ	DynDNSに登録したホスト名を入力します。

パラメーター	内容
Emailアドレス * TZO選択時のみ	TZOに登録したEmailアドレスを入力します。
TZOキー * TZO選択時のみ	TZOに登録したTZOキーを入力します。
ドメイン名 * TZO選択時のみ	TZOに登録したドメイン名を入力します。
IPアドレス更新周期	DynDNSまたはTZOにIPアドレスを通知する周期を指定します。
Internet側IPアドレス	InternetポートのIPアドレスが表示されます。
ドメイン名	ダイナミックDNSサービスプロバイダーから割り当てられたドメイン名が表示されます。
状態	ダイナミックDNSサービスの状態が表示されます。

PPTPサーバー（ルーターモード時のみ）

PPTPサーバーに関する設定を行う画面です。

⇒ Internet/LAN － PPTPサーバー

LAN側IPアドレスが「192.168.11.1」に設定されている為、
バッファロー製ルーターに接続されたパソコンからアクセスする際、
LAN内のパソコンにアクセスできない可能性があります。
LAN側IPアドレス、及び、割り当てIPアドレスの変更をお勧めします。

自動入力	お勧めの値を入力する
LAN側IPアドレス	IPアドレス 192.168.11.1 サブネットマスク 255.255.255.0
DHCPサーバー機能	使用する
割り当てIPアドレス	192.168.11.2 から 64 台

PPTPサーバー機能	使用する
認証方式	MS-CHAPv2認証(40/128bits暗号鍵)

[拡張設定]

サーバーIPアドレス	自動設定 手動設定
クライアントIPアドレス	自動設定 手動設定 から 5 台
DNSサーバーのIPアドレス	エアステーションのLAN側IPアドレス 手動設定 通知しない
WINSサーバーのIPアドレス	
MTU/MRU値	1396

設定

PPTP接続ユーザーの表示

接続ユーザー名	接続状態	IPアドレス	操作
PPTP接続ユーザーは登録されていません			

PPTP接続ユーザーの編集

現在の状態を表示

パラメーター	内容
自動入力	[お勧めの値を入力する]をクリックすると、当社製ルーター機器と重複し難いLAN側IPアドレスをランダムに生成します。

パラメーター	内容
LAN側IPアドレス	LAN側IPアドレスとサブネットマスクを設定します。
DHCPサーバー機能	DHCPサーバー(IPアドレス自動割り当て)機能を使用するかどうかを設定します。
割り当てIPアドレス	DHCPサーバー機能で割り当てるIPアドレスの範囲とその範囲から除外するIPアドレスを設定します。(256台まで設定できます)
PPTPサーバー機能	PPTPサーバー機能を使用するかどうかを設定します。
認証方式	PPTPクライアントが接続してきた際に使用する認証方式を設定します。
サーバーIPアドレス	PPTPクライアントが接続した際、クライアントに通知するサーバー側のIPアドレスを設定します。
クライアントIPアドレス	PPTPクライアントが接続した際、クライアントに割り当てるIPアドレスの範囲を設定します。
DNSサーバーのIPアドレス	PPTPクライアントに通知するDNSサーバーアドレスを設定します。
WINSサーバーのIPアドレス	PPTPクライアントに通知するWINSサーバーアドレスを設定します。
MTU/MRU値	PPTP上で、通信を行う際に使用するMTU/MRU値を578〜1500バイトの範囲で設定します。
[PPTP接続ユーザーの編集]	クリックすると、PPTP接続ユーザー情報を編集する画面が表示されます。

<table>
<tr><th>パラメーター</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>PPTP接続ユーザーの新規追加</td><td>[PPTP接続ユーザーの編集]をクリックすると表示されます。

接続ユーザー名
PPTPクライアントから本商品に接続する際に使用するユーザー名を半角英数字、および「”」、「’」、「/」、スペースを除く半角記号を16文字までで入力します。

パスワード
PPTPクライアントから本商品に接続する際に使用するパスワードを半角英数字、および「”」、「’」、「/」、スペースを除く半角記号を16文字までで入力します。

IPアドレス割り当て方法
PPTPクライアントから本商品に接続した際に、PPTPクライアントに割り当てるIPアドレスの割り当て方法を指定します。</td></tr>
<tr><td>PPTP接続ユーザーの表示/操作</td><td>登録したPPTP接続ユーザー情報の確認と編集ができます。</td></tr>
</table>

LAN

LAN側ポートの設定を行う画面です。

⇒ Internet/LAN(LAN設定) ー LAN

LAN側IPアドレス	IPアドレス 192.168.11.1 サブネットマスク 255.255.255.0
DHCPサーバー機能	☑使用する
割り当てIPアドレス	192.168.11.2 から 64 台 除外IPアドレス:

LAN側IPアドレス (IP Unnumbered用)	IPアドレス サブネットマスク 255.255.255.0

DHCPサーバー設定 [拡張設定]

拡張設定	☑表示する

リース期間	48 時間
デフォルトゲートウェイの通知	◉ エアステーションのLAN側IPアドレス (192.168.11.1) ○ 指定したIPアドレス ○ 通知しない
DNSサーバーの通知	◉ エアステーションのLAN側IPアドレス (192.168.11.1) ○ 指定したIPアドレス プライマリー セカンダリー ○ 通知しない
WINSサーバーの通知	○ 取得済みのWINSサーバーアドレス (なし) ○ 指定したIPアドレス ◉ 通知しない
ドメイン名の通知	◉ 取得済みのドメイン名 (なし) ○ 指定したドメイン名 ○ 通知しない

設定

パラメーター	内容
LAN側IPアドレス	LAN側IPアドレスとサブネットマスクを設定します。
DHCPサーバー機能	DHCPサーバー(IPアドレス自動割り当て)機能を使用するかどうかを設定します。
割り当てIPアドレス	DHCPサーバー機能で割り当てるIPアドレスの範囲とその範囲から除外するIPアドレスを設定します。

パラメーター	内容
LAN側IPアドレス (IP Unnumbered用)	IP Unnumberedを利用するときに使用するLAN側IPアドレスを設定します。 * 通常のLAN側のIPアドレスを持つパソコンと、IP Unnumbered用のLAN側IPアドレスを持つパソコン間では通信を行うことができません。
拡張設定	「表示する」を選択すると、DHCPサーバーの拡張設定項目が表示されます。
リース期間	DHCPサーバー機能で割り当てたIPアドレスの有効期間を設定します。
デフォルトゲートウェイの通知	DHCPサーバー機能で通知するデフォルトゲートウェイのIPアドレスを設定します。
DNSサーバーの通知	DHCPサーバー機能で通知するDNSサーバーのIPアドレスを設定します。
WINSサーバーの通知	DHCPサーバー機能で通知するWINSサーバーのIPアドレスを設定します。
ドメイン名の通知	DHCPサーバー機能で通知するドメイン名を設定します。

DHCPリース(ルーターモード時のみ)

DHCPリースに関する設定を行う画面です。

⇒ Internet/LAN ー DHCPリース

リース情報の新規追加

IPアドレス	
MACアドレス	

[新規追加]

リース情報

IPアドレス	MACアドレス	リース期限	状態	操作
192.168.11.2(*)	XX:XX:XX:XX:XX:XX	47:50:3	自動割当	手動割当に変更
192.168.11.3	XX:XX:XX:XX:XX:XX	45:39:12	自動割当	手動割当に変更

(*) WEB設定を行っているパソコンのIPアドレス(192.168.11.2)

[現在の状態を表示]

パラメーター	内容
IPアドレス	手動リースするIPアドレスを入力します。本製品のLANポートのネットワークアドレスに含まれないIPアドレスを設定することはできません。
MACアドレス	パソコンを識別するMACアドレスを入力します。
リース情報	現在のリース情報が表示されます。 自動リースされたIPアドレスは、[手動割当に変更]をクリックすると、手動リースに変更することができます。

アドレス変換(ルーターモード時のみ)

Internet側をインターネットに接続するときに使用するアドレス変換機能に関する設定を行う画面です。

⇒ Internet/LAN　−　アドレス変換

アドレス変換	☑使用する
高速アドレス変換	☑使用する
破棄パケットのログ出力	☐出力する

設定

パラメーター	内容
アドレス変換	アドレス変換機能を使用するかどうかを設定します。
高速アドレス変換 (WZR-450HP/WZR-D1100Hのみ)	高速アドレス変換機能を使用するかどうかを設定します。通常は「使用する」のままお使いください。万一、通信ができないなどの問題が発生した場合は、「使用しない」に設定してください。
破棄パケットのログ出力	アドレス変換時のエラーなどにより破棄されたパケットについてログを出力するかどうかを設定します。

経路情報

本製品が行う通信のIP経路の設定を行う画面です。

⇒ Internet/LAN　ー　経路情報

経路の新規追加

宛先アドレス	IPアドレス	
	サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイ		
メトリック	15	

新規追加

経路情報

宛先アドレス	サブネットマスク	ゲートウェイ	メトリック	操作
経路情報はありません				

パラメーター	内容
宛先アドレス	ルーティングテーブルに追加する宛先IPアドレスとサブネットマスクを設定します。
ゲートウェイ	ルーティングテーブルに追加するゲートウェイのアドレスを設定します。
メトリック	ルーティングテーブルに追加するメトリック(宛先アドレスまでに越えるルーター数)を設定します。
経路情報	手動で追加したルーティングテーブルを確認することができます。

無線設定

WPS

WPSの詳細な設定や状況を確認する画面です。

⇒ 無線設定 － WPS

WPS機能	☑使用する
外部Registrar	☑要求を受け付ける

設定

エアステーション PINコード	xxxxxxxx	PIN生成
EnrolleeのPINコード		OK

WPS用無線セキュリティー設定

WPSステータス	configured 解除
11n/g/b	SSID BUFFALO-XXXXXX セキュリティー WPA/WPA2 mixedmode - PSK TKIP/AES mixedmode 暗号鍵 xxxxxxxxxxxxx

パラメーター	内容
WPS機能	WPS機能を使用するかどうかを設定します。
外部Registrar	WPS機能を使用する際に、外部Registrarからのconfigure要求を受け付けるかどうかを設定します。 AOSS接続を行うと、外部Registrarの要求を受け付けなくなります。
エアステーション PINコード	本製品のPINコードが表示されます。[PIN生成]をクリックすると、新しいPINコードが生成されます。
EnrolleeのPINコード	無線機器のPINコードを入力して[OK]をクリックすると、本製品の内部Registrarが、そのPINコードを持つ無線機器からの接続要求を受け付ける状態になります。
WPS用無線セキュリティー設定	本製品のWPS状態と現在設定されているSSID、セキュリティー、暗号化キーが表示されます。

基本

無線の基本的な設定を行う画面です。
WZR-600DHP/WZR-D1100Hをお使いの場合は、無線の周波数帯（11a(c)または11n/g/b）ごとに設定を行います。

⇒ 無線設定 ー 基本

無線機能	☑ 使用する
無線チャンネル	自動 (現在のチャンネル: 1)
倍速モード	帯域：20 MHz 拡張チャンネル：1
ANY接続	☑ 許可する

マルチセキュリティーを使用する

隔離機能	☐ 使用する
SSID	◉ エアステーションのMACアドレスを設定(BUFFALO-XXXXXX) ○ 値を入力:
無線の認証	WPA/WPA2 mixedmode - PSK
無線の暗号化	TKIP/AES mixedmode
WPA-PSK(事前共有キー)	••••••••••••••
Key更新間隔	60 分

設定

パラメーター	内容
無線機能	無線機能を使用するかどうかを設定します。
無線チャンネル	無線で使用するチャンネル（周波数帯）を設定します。「自動」を選択すると電波混雑防止機能により、自動的に最適なチャンネルが設定されます。
倍速モード	無線通信で使用する20MHzの倍の帯域（40MHz）を使用して、高速無線通信を行うかどうかを設定します。倍速モードを使用する場合は、帯域を40MHzに設定し、拡張チャンネルを設定します。 WZR-450HP/WZR-300HP/WZR-600DHPをお使いの場合、「無線チャンネル」が「自動」に設定されている場合は、拡張チャンネルも自動的に設定されます。

パラメーター	内容
ANY接続	チェックマークを外すと、無線機器からSSIDを検索できないようにし、本製品の存在を第三者に知られにくくします。
[マルチセキュリティーを使用する]/[マルチセキュリティーを使用しない]	[マルチセキュリティーを使用する]をクリックすると、複数のSSID、無線セキュリティーで動作します。 マルチセキュリティーを使用しない]をクリックすると、1つのSSID、無線セキュリティーで動作します。 AOSSを実行すると、マルチセキュリティーが有効になります。
隔離機能	設定を有効にすると、接続している無線機器はインターネット側とだけ通信可能になります。
SSID	SSIDを半角英数字記号で32文字までで設定します。
無線の認証	無線機器との接続の際に使用する認証方式を以下から選択します。 **認証を行わない** 無線機器との接続の際に認証を行いません。 **WPA-PSK** 無線機器との接続の際にWPA(Wi-Fi Protected Access)に準拠した認証を行います。事前共有キーを別途本製品に設定する必要があります。 **WPA2-PSK** 無線機器との接続の際にWPA2(IEEE802.11i)に準拠した認証を行います。事前共有キーを別途本製品に設定する必要があります。 **WPA/WPA2 mixedmode-PSK** 無線機器との接続の際にWPA-PSKおよびWPA2-PSKのどちらの無線機器の認証も同時に行う設定です。事前共有キーを別途本製品に設定する必要があります。
無線の暗号化	無線通信のデータ暗号化の種類を以下から選択します。 **暗号化なし** 暗号化を行わずに通信します。通信内容が盗聴されますので暗号化なしでのご使用は避けてください。 無線の認証で「認証を行わない」を選択した場合のみ使用可能です。

パラメーター	内容
	WEP WEP暗号化を使用します。一般的な暗号化方式です。暗号化キーを使用して無線LAN端末と通信します。 無線の認証で「認証を行わない」を選択した場合のみ使用可能です。 **AES** 暗号化の方式にAES（強固な次世代暗号化方式）を使用します。事前共有キーを使用して無線LAN端末と通信します。 無線の認証で「WPA-PSK、WPA2-PSK、WPA/WPA2 mixedmode-PSK」を選択した場合のみ使用可能です。 **TKIP/AES mixedmode** TKIP、AESの認証・通信を同時に行うことができます。 無線の認証で「WPA/WPA2 mixedmode-PSK」を選択した場合のみ使用可能です。
WPA-PSK（事前共有キー） * 無線の認証でWPA-PSK、WPA2-PSK、WPA/WPA2 mixedmode-PSKを選択した場合のみ	無線機器との認証で使用する事前共有キーを入力します。 事前共有キーは、文字列入力の場合、半角英数字（大文字/小文字の区別あり）を8〜63文字で入力します。16進数入力の場合、0〜9およびa〜f（大文字/小文字の区別なし）の64桁で入力します。
Key更新間隔 * 無線の認証でWPA-PSK、WPA2-PSK、WPA/WPA2 mixedmode-PSKを選択した場合のみ	通信用暗号化キーを更新する間隔を0〜1440分の範囲で設定します。
WEP暗号化キー設定 * 無線の暗号化でWEPを選択した場合のみ	無線を暗号化する暗号化キーを入力します。 WEP暗号化キーは、文字列入力の場合、半角英数字（大文字/小文字の区別あり）を5文字または13文字で入力します。16進数入力の場合、0〜9およびa〜f（大文字/小文字の区別なし）の10桁または26桁で入力します。

拡張

無線の拡張設定を行う画面です。
WZR-600DHP/WZR-D1100Hをお使いの場合は、無線の周波数帯（11a(c)または11n/g/b）ごとに設定を行います。

⇒ 無線設定 ー 拡張

Multicast Rate	自動
DTIM Period	1
プライバシーセパレーター	□使用する

設定

パラメーター	内容
BSS BasicRateSet (WZR-D1100Hのみ)	無線親機と無線LAN機器の制御通信フレームの通信速度の設定を行います。
Multicast Rate	マルチキャストパケットの通信速度を設定します。
802.11nプロテクション (WZR-D1100Hのみ)	従来規格（11a/11b/11g）規格機器が混在している環境でも、コリジョン等によって性能が低下しないようにする802.11nプロテクションを使用するかどうかを設定します。
DTIM Period	無線機器に通知するビーコン応答間隔（1〜10）の設定をします。無線機器のパワーマネージメント設定を有効にした場合のみ、この設定が有効になります。
プライバシーセパレーター	無線機器間の通信を許可するかどうかを設定します。「使用する」に設定すると、同一の無線親機に接続している無線機器同士の通信ができなくなります。 有線側からは、無線機器と通信できます。
送信出力 (WZR-D1100Hのみ)	本製品が無線送信を行うときの電波送信出力を設定します。

WMM

本製品が行う特定の通信に優先順位をつける設定を行う画面です。
WZR-600DHP/WZR-D1100Hをお使いの場合は、無線の周波数帯（11a(c)または11n/g/b）ごとに設定を行います。

⇒ 無線設定 － WMM

WMM-EDCAパラメーター

通常は設定を変更しないでください

優先度	パラメーター	AP用	STA用
AC_BK(低い)	CWmin:	15	15
	CWmax:	1023	1023
	AIFSN:	7	7
	TXOP Limit:	0	0
	Admission Control:	----	無効
AC_BE(通常)	CWmin:	15	15
	CWmax:	63	1023
	AIFSN:	3	3
	TXOP Limit:	0	0
	Admission Control:	----	無効
AC_VI(優先)	CWmin:	7	7
	CWmax:	15	15
	AIFSN:	1	2
	TXOP Limit:	94	94
	Admission Control:	----	無効
AC_VO(最優先)	CWmin:	3	3
	CWmax:	7	7
	AIFSN:	1	2
	TXOP Limit:	47	47
	Admission Control:	----	無効

設定

パラメーター	内容
WMM	本製品が行う通信で、特定の通信にのみ優先順位を付ける設定を行います。

<table>
<tr><th>パラメーター</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>WMM-EDCA Parameters</td><td>一般的な使い方角では、この値を変更する必要はありません。出荷時設定のままお使いください。

優先度
優先度は、通信パケットごとに適用され、(Highest) 8 : (High) 4 : (Normal) 2 : (Low) 1 の割合で優先的に処理されます。

CWmin, CWmax
コンテンション・ウィンドウの最大値・最小値です。コンテンション・ウィンドウはIEEE802.11で行うフレーム衝突回避機構で使用され、一般にウィンドウ内の値が小さくなるほど、そのキューが送信権を得る確率が高くなります。

AIFSN
フレーム送信間隔です。単位はスロット(CWmin, CWmaxで定義されるウィンドウ値と同様)です。フレーム送信間隔が小さいほど、バックオフアルゴリズムの開始時間が早まるため、結果としてキューの優先度が高くなります。

TXOP Limit
キューが送信権を得た場合に占有できる時間を示します。1単位は32msです。この時間が多いほど一度得た送信権でより多くのフレームを転送することができますが、反面キューのリアルタイム性を損なうことになります。TXOP Limitを0に設定した場合は、1回の送信権で1つのフレームのみ送信できます。

Admission Control
キューに対して送信フレームの割り当て制限を行います。キューがある程度蓄積されると、新たに送信フレームが割り当てられるときに下位のキューを割り当てるようになります。</td></tr>
</table>

MACアクセス制限

無線機器からのアクセスを制限する設定を行う画面です。

⇒ 無線設定　－　MACアクセス制限

無線パソコンの接続	□ 制限する

[設定]

登録リスト

MACアドレス	接続状態
MACアドレスが登録されていません	

[登録リストの編集]

パラメーター	内容
無線パソコンの接続	無線機器からの接続を制限するかどうかを設定します。
登録リスト	MACアクセス制限で、接続を許可する無線機器のMACアドレスが表示されます。 MACアドレスの登録は、[登録リストの編集]をクリックして行います。 **MACアドレス** MACアクセス制限で接続を許可するMACアドレスの一覧が表示されます。 **接続状態** リストに登録した無線機器が、現在接続しているかどうかを表示します。接続中であれば「○」、未接続であれば「×」が表示されます。
登録するMACアドレス * 上記の画面で[登録リストの編集]をクリックすると表示されます。	接続を許可する無線機器のMACアドレスを入力します。 [新規追加]をクリックすると、MACアドレスがリストに登録されます。

パラメーター	内容
登録リスト * 上記の画面で[登録リストの編集]をクリックすると表示されます。	登録したMACアドレスに対して、編集を行うことができます。 **MACアドレス** リストに登録した無線機器のMACアドレスが表示されます。 **操作** [修正]をクリックすると、登録したMACアドレスを修正できます。 [削除]をクリックすると、登録したMACアドレスが削除されます。
検出された無線パソコン一覧 * 上記の画面で[登録リストの編集]をクリックすると表示されます。	本製品に接続している無線機器のMACアドレスをリストに登録することができます。 **MACアドレス** 本製品に接続している無線機器のMACアドレスが表示されます。 **操作** [登録]をクリックすると、MACアドレスがリストに登録されます。 **[現在の状態を表示]** クリックすると、現在の状態が表示されます。

マルチキャスト制御

無線LANポートに無駄なマルチキャストパケットが転送されないように制限する設定を行う画面です。

⇒ 無線設定 ー マルチキャスト制御

Snooping 機能	☑使用する
マルチキャスト Aging Time	300 秒

設定

パラメーター	内容
Snooping機能	IGMPなどのマルチキャスト管理パケットを監視し、不必要な有線・無線各ポートへのマルチキャストの転送を抑制することができる、マルチキャストSnooping（スヌーピング）機能を使用するかどうかを設定します。
マルチキャストAging Time	マルチキャストSnooping機能によって学習した情報を保持する時間を10〜3600（秒）の範囲で設定します。IGMP/MLDクエリー間隔よりも十分に大きな値を入力する必要があります。

ゲストポート

来客用の無線接続ポート（ゲストポート）の設定を行う画面です。

⇒ 無線設定 ー ゲストポート（WZR-450HP/WZR-D1100Hのみ）

ゲストポート設定

ゲストポート機能	使用する
ゲストユーザー認証機能	使用する
ゲストポート用LAN側IPアドレス	自動設定 手動設定

無線設定

SSID	エアステーションのMACアドレスを設定(BUFFALO-XXXXXX_GUEST) 値を入力:
無線の認証	認証を行わない
無線の暗号化	暗号化なし

設定

ゲストユーザーの表示/操作

ユーザー名	接続MACアドレス	接続状態	操作
ゲストユーザーは登録されていません			

ゲストユーザーの編集

現在の状態を表示

パラメーター	内容
ゲストポート機能	来客用にインターネット回線を提供するための「ゲストポート機能」の有効／無効を設定します。
ゲストポート認証機能	ゲストとして登録したユーザーだけが通信できるように認証を行うかどうかを設定します。
ゲストポート用LAN側IPアドレス	ゲストユーザーに提供するLAN側IPアドレスを設定します。手動設定の場合、[推奨値を設定する]をクリックすると、ゲストポート用LAN側IPアドレスの推奨値が入力されます。

パラメーター	内容
ゲストポート用DHCPサーバー機能	ゲストユーザー用にDHCPサーバー(IPアドレス自動割り当て)機能を使用するかどうかを設定します。
SSID	ゲストユーザー用のSSIDを半角英数字記号で32文字以内で設定します。
無線の認証	ゲストユーザーが接続の際に使用する認証方式を指定します。
無線の暗号化	ゲストユーザーが接続の際に使用する暗号化方式を指定します。
WPA-PSK(事前共有キー)	ゲストユーザーが接続の際に使用する事前共有キーを指定します。
Key更新間隔	通信用暗号化キーの更新間隔を設定します。
ゲストユーザーの表示/操作 * 上記の画面で[ゲストユーザーの編集]をクリックすると表示されます。	ゲストユーザーの編集を行うことができます。 **ユーザー名** ゲストユーザーの認証に使用するユーザー名を半角記号64文字以内で登録します。 **パスワード** ゲストユーザーの認証に使用するパスワードを半角記号64文字以内で登録します。

エアステーション間通信

無線親機同士の通信設定を行う画面です。

⇒ 無線設定　－　エアステーション間通信（WZR-300HPのみ）

エアステーション間接続機能	☑使用する
親機/子機指定	親機
SSID	検索
無線の認証	認証を行わない
無線の暗号化	暗号化なし
優先接続先指定	☐優先的に接続させる MACアドレス

設定

パラメーター	内容
エアステーション間接続機能	本製品と他のエアステーションを接続する「エアステーション間接続」の有効／無効を設定します。
親機/子機指定	本製品と他のエアステーションを接続する際、本製品を親機（マスター）として利用するか、子機（スレーブ）として利用するかを指定します。「自動」を指定した場合は、本製品が自動で親機（マスター）/子機（スレーブ）を判断し、設定します。
SSID	接続先エアステーション親機（マスター）のSSIDを半角英数字記号で32文字以内で設定します。
無線の認証	接続先エアステーション親機（マスター）との接続の際に使用する認証方式を指定します。
無線の暗号化	接続先エアステーション親機（マスター）との接続の際に使用する暗号化方式を指定します。
WPA-PSK（事前共有キー）	接続先エアステーション親機（マスター）との接続の際に使用する事前共有キーを指定します。
Key更新間隔	通信用暗号化キーの更新間隔を設定します。

パラメーター	内容
優先接続先指定	「優先的に接続させる」を有効にして接続先機器のMACアドレスを登録すると、SSIDや暗号化設定が同じ機器が複数存在する環境においても、ここで登録した機器に優先的に接続するようになります。

AOSS

AOSSの詳細な設定や状況を確認する画面です。

⇒ 無線設定 － AOSS

AOSS動作設定

WEP専用SSIDの暗号化レベル	802.11n/g/b 停止
暗号化レベル拡張機能	802.11n/g/b 有効
WEP専用SSID隔離	802.11n/g/b 無効
WEPをゲーム専用にする	802.11n/g/b 使用する
本体側AOSSボタン	使用する

現在のセキュリティー情報 802.11n/g/b

暗号化レベル	WPA/WPA2-PSK-mixed (現在使用中)
SSID	BUFFALO-XXXXXX
暗号化キー	XXXXXXXXXXXXX

暗号化レベル	WPA-PSK-TKIP
SSID	BUFFALO-XXXXXX-2
暗号化キー	XXXXXXXXXXXXX

暗号化レベル	WEP128
SSID	BUFFALO-XXXXXX-3
暗号化キー	XXXXXXXXXXXXX (送信キー) XXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXX

暗号化レベル	WEP64
SSID	BUFFALO-XXXXXX-4
暗号化キー	XXXXX (送信キー) XXXXX XXXXX XXXXX

ランダム　KEYベース　リセット

設定

AOSS接続先情報

接続先情報	MACアドレス	対応暗号化方式	無線	接続設定
XXXXXXXXXXX	xx:xx:xx:xx:xx:xx	WEP64/WEP128 WPA-PSK-TKIP/WPA-PSK-AES	802.11n/g/b	許可

AOSS接続先情報の編集

パラメーター	内容
	このボタンをクリックすると、AOSS接続を開始します。(本体のAOSSボタンを押したときと同じ動作となります)
	このボタンをクリックすると、AOSS接続が解除されます。(その際、SSIDや暗号化キーもAOSSを使用する前の値に戻ります)
WEP専用SSIDの暗号化レベル	AOSSによって、無線LANのセキュリティーがWEPになる場合、WEP128にするのか、WEP64にするのかを選択します。「停止」を選択すると、AOSSによるWEP接続はできなくなります。 * 設定を変更すると、本製品と無線機器との接続がいったん切断されます。
WEP専用SSID隔離	設定を有効にすると、WEPで接続したネットワーク機器(ゲーム機など)は、インターネットにのみ接続可能となり、WPA(またはWPA2)でつながっている各機器とは通信できなくなります。
WEPをゲーム専用にする	設定を有効にすると、本製品にWEPで接続できる機器は、WEPのみをサポートした機器となり、WPA(またはWPA2)とWEPの両方に対応した機器は、WEPでは接続できなくなります。
本体側AOSSボタン	AOSSボタンが押されたときにAOSS設定を行うかどうかを指定します。
現在のセキュリティー情報 * AOSS接続時のみ	AOSS接続時に設定された暗号化レベルとセキュリティー情報の詳細が表示されます。 **暗号化レベル** AOSS接続時に設定された暗号化のレベルが表示されます。現在有効になっている暗号化レベルには、「現在使用中」と表示されます。 **SSID** AOSS接続時に設定されたSSIDが表示されます。 **暗号化キー** AOSS接続時に設定された暗号化キーが表示されます。 **[ランダム]** クリックすると、各種SSIDや暗号化キーの入力欄に16進数を用いてランダムな値が生成されます。

パラメーター	内容
	[KEYベース] クリックすると、各種SSID・暗号化キーの入力欄に本製品の無線設定初期値を元にした値が生成されます。 **[リセット]** クリックすると、各種SSID・暗号化キーの入力欄が修正前の状態に戻ります。
AOSS接続先情報 * AOSS接続時のみ	本製品とAOSS接続した機器、および本製品と無線通信中の機器の情報が表示されます。 **接続先情報** 本製品とAOSS接続した機器、および本製品と無線通信中の機器の名称が表示されます。 **MACアドレス** 本製品とAOSS接続した機器、および本製品と無線通信中の機器のMACアドレスが表示されます。 **対応暗号化方式** 本製品とAOSS接続した機器、および本製品と無線通信中の機器の対応可能な暗号化の種類が表示されます。 **無線** 現在、接続している無線方式が表示されます。 **接続設定** 本製品とAOSS接続した機器、および本製品と無線通信中の機器に対して、現在接続を許可しているかどうかが表示されます。 **[AOSS接続先情報の編集]** クリックするとAOSS接続先情報の編集画面(接続禁止/情報削除)が表示されます。

セキュリティー(ルーターモード時のみ)

ファイアウォール(ルーターモード時のみ)

本製品のファイアウォール機能を設定する画面です。

⇒ セキュリティー － ファイアウォール

ログ出力	☐使用する

有効	簡易ルール	パケット数
☐	NBTとMicrosoft-DSのルーティングを禁止する ☐PPPoE1: Internet@Start で禁止する	0
☑	IDENTの要求を拒否する	0
☑	Internet側からのPINGに応答しない ☑PPPoE1: Internet@Start で応答しない	0

設定

パラメーター	内容
ログ出力	ファイアウォール機能のログを出力するかどうかを設定します。
簡易ルール	簡易フィルターを使用するかどうかを設定します。 各フィルターの内容は以下の通りです。 **NBTとMicrosoft-DSのルーティングを禁止する** 有効にすると、Internet側からLAN側およびLAN側からInternet側へのMicrosoftネットワーク共有機能は使用できなくなります。 WZR-450HP/WZR-300HP/WZR-600DHPでは、「IPアドレス取得方法」(P28)で「PPPoEクライアント機能を使用する」を選択している場合や、「インターネット@スタートを行う」を選択していて判別結果がPPPoEだった場合に限り、PPPoEの接続先ごとに設定を行うことができます。

パラメーター	内容
	IDENTの要求を拒否する 有効にすると、Internet側からのIDENTの認証要求に対して拒否パケットを送ります。メール送信、ftp、ブラウザ等のネットワークアプリケーションの通信が遅くなる場合に設定してください。アドレス変換設定で、IDENTの要求をLAN側パソコンに転送する設定（DMZまたはTCPポート:113）になっている場合、そちらの設定が優先され、この設定を有効にしても機能は動作しません。 **Internet側からのPINGに応答しない** 有効にすると、Internet側からのPINGに応答しなくなります。WZR-450HP/WZR-300HP/WZR-600DHPでは、「IPアドレス取得方法」（P28）で「PPPoEクライアント機能を使用する」を選択している場合や、「インターネット@スタートを行う」を選択していて判別結果がPPPoEだった場合に限り、PPPoEの接続先ごとに設定を行うことができます。

IPフィルター

LAN側とInternet側の間で通過するパケットに関するIPフィルターの編集を行う画面です。

⇒ セキュリティー ー IPフィルター

ログ出力 使用する

設定

IPフィルターの新規追加

動作	無視	
方向	Internet->LAN	
IPアドレス	送信元: -> 宛先:	
プロトコル	全て	
	ICMP	
	任意	プロトコル番号:
	TCP/UDP	任意のTCPポート 指定の仕方 任意のTCP/UDPポート:

追加

IPフィルター登録情報

動作	方向	送信元アドレス 宛先アドレス	プロトコル	パケット数	操作
IPフィルターは登録されていません					

パラメーター	内容
ログ出力	IPフィルター機能のログを出力するかどうかを設定します。
動作	対象となるパケットの処理方法を指定します。
方向	対象となるパケットの通信方向を指定します。
IPアドレス	対象となるパケットの送信元IPアドレスと宛先IPアドレスを指定します。
プロトコル	対象となる通信パケットのプロトコルを選択します。
IPフィルター登録情報	登録されているIPフィルターを一覧で表示します。

VPNパススルー

IPv6パススルー、PPPoEパススルー、PPTPパススルーに関する設定を行う画面です。

⇒ セキュリティー ー VPNパススルー

フレッツIPv6サービス対応機能	☑使用する
PPPoEパススルー機能	☐使用する
PPTPパススルー	☑使用する

設定

パラメーター	内容
フレッツIPv6サービス対応機能	アドレス変換においてフレッツIPv6サービス対応機能を使用するかどうかを設定します。
PPPoEパススルー	PPPoEブリッジ機能を使用するかどうかを設定します。 PPPoEブリッジ機能を使用すると、PPPoEパケットがInternet - LAN間ですべて通過可能となり、LAN側に接続したパソコンでPPPoEプロトコルを使用してプロバイダーからIPアドレスを自動取得することができるようになります。
PPTPパススルー	アドレス変換において、PPTPパススルー機能を使用するかどうかを設定します。

i-フィルター

ホームページの表示を許可/ブロックする「i-フィルター」に関する設定を行う画面です。

⇒ セキュリティー ー i-フィルター

「ご利用上のご注意」

- 「i-フィルター」はデジタルアーツ株式会社の提供するサービスです。ご利用には同社のサービスサイトでのユーザー登録が必要となります。
- 本機能によりフィルターされるセッションは、デフォルトセッション中のHTTP通信のみとなります。PPPoEマルチセッションをご利用の場合や、SSL通信、外部プロキシサーバーをご利用の場合は、フィルター機能は動作しません。ご了承下さい。
- サービスサーバーとの通信障害時、その旨を表示するページが表示されます。詳細については「i-フィルター」サービスサイトにてご確認下さい。
- 本機能をPPPoEマルチセッションでご利用になられる場合、デフォルトのセッションがインターネットに接続されている必要があります。
- エアステーションのPPTPサーバーに接続しているPPTPクライアントは、i-フィルターの対象外となります。
- 本機能を利用する場合、ブラウジング等の速度が低下する場合があります。

ご利用の前に ［「i-フィルター」サービスページ >>］

※. このボタンをクリックすると、インターネット上の「i-フィルター」サービスページへ接続します。
「i-フィルター」をはじめてご利用の方は、このボタンをクリックし、ユーザー登録を行ってください。

「i-フィルター」機能 ☐ 使用する

［設定］

フィルター除外パソコンリスト

MACアドレス	IPアドレス	パソコン名
MACアドレスが登録されていません		

［除外パソコンリストの編集］

パラメーター	内容
[「i-フィルター」サービスページ >>]	「i-フィルター」を利用する為のユーザー登録を行う機能です。
「i-フィルター」機能	チェックをすることで有効になります。無効時は他の設定機能を表示しません。管理パスワードの入力によって閲覧禁止が解除出来るようになりますので管理パスワードの設定を推奨します。管理設定メニューのパスワードから変更可能です。
有効期限	「i-フィルター」機能有効時、かつ認証サーバーより、契約期間が取得済みの場合、YYYY/MM/DDの形式で表示します。

パラメーター	内容
閲覧禁止カテゴリー	閲覧禁止カテゴリーを設定します。
フィルター除外パソコンリスト	フィルターの除外パソコンの一覧が表示されます。

ゲーム&アプリ(QoS)

ポート変換(ルーターモード時のみ)

ポート変換に関する設定を行う画面です。

⇒ ゲーム&アプリ　－　ポート変換

パラメーター	内容
グループ	登録するルールが属するグループを指定します。[新規追加]を選択して新規グループ名を入力すると、新たなグループを作成します。英数字で16文字までのグループ名を付けることが可能です。

パラメーター	内容
Internet側IPアドレス	ポート変換テーブルに追加するInternet側（変換前）のIPアドレスを設定します。
プロトコル	ポート変換テーブルに追加するInternet側（変換前）のプロトコルを設定します。
LAN側IPアドレス	ポート変換テーブルに追加するLAN側（変換後）のIPアドレスを設定します。
LAN側ポート	ポート変換テーブルに追加するLAN側（変換後）のポート番号（1～65535）を設定します。
ポート変換登録情報	現在設定されているポート変換テーブルの有効/無効の指定を行います。

DMZ（ルーターモード時のみ）

LAN側からの通信と無関係な通信パケットの転送先を設定する画面です。

⇒ ゲーム&アプリ － DMZ

DMZのアドレス

※WEB設定を行っているパソコンのIPアドレス[192.168.11.2]

設定

パラメーター	内容
DMZのアドレス	ポート変換テーブルに設定されていないパケットの転送先IPアドレスを設定します。 （RIPプロトコル（UDPポート番号520）のパケットは、転送されません）

UPnP(ルーターモード時のみ)

UPnP(Universal Plug and Play)に関する設定を行う画面です。

⇒ ゲーム&アプリ　－　UPnP

UPnP機能	☑使用する

設定

パラメーター	内容
UPnP機能	Universal Plug and Play(UPnP)機能を使用するかどうかを設定します。

QoS(ルーターモード時のみ)

インターネットへ送信するパケットの優先制御を設定する画面です。

⇒ ゲーム&アプリ　－　QoS

インターネットへの送信用QoS	☑使用する

No.	有効	アプリ名	プロトコル	宛先ポート	優先度
1	☐	VoIP	UDP		高
2	☐	ssh	TCP	22	中
3	☐	telnet	TCP	23	中
4	☐	ftp	TCP	21	低
5	☐		TCP		低
6	☐		TCP		低
7	☐		TCP		低
8	☐		TCP		低

設定

パラメーター	内容
インターネットへの送信用QoS	インターネットへの送信するパケットを優先制御するかどうかを設定します。優先制御をする場合は、チェックマークをつけて、以下の内容を設定します。

パラメーター	内容
上り回線帯域	本製品からインターネット側への上り回線の通信帯域をkbps単位で指定します。 * 上り回線帯域は実際の値を設定してください。
有効	そのリストの有効無効を切り替えます。
アプリ名	アプリケーション名を入力します。
プロトコル	TCP、UDPのいずれかを選択します。
宛先ポート	宛先ポートを1～65535で指定します。空欄にすると、任意のポートが対象になります。
優先度	高、中、低のいずれかを選択します。 * インターネットへの送信用QoSで、設定に該当しない通信は、中と低の中間の優先度になります。

Movieエンジン

動画や音声再生に特化したMovieエンジンの設定を行う画面です。

⇒ ゲーム&アプリ(QoS) ー Movieエンジン(WZR-450HP/WZR-300HP/WZR-600DHPのみ)

※本設定項目は、Movieエンジンスイッチを「ON」に設定した時にのみ、有効となります。

Movieエンジン状態	OFF

パケット制御設定

フレッツIPv6サービス対応機能	☑使用する	
Multicast Rate	11 Mbps	
マルチキャスト制御	Snooping機能	☑使用する
	Aging Time	300 秒

[設定]

無線プライオリティ制御ルール

No.	MACアドレス	IPアドレス	プロトコル	ポート番号	プライオリティ
無線プライオリティ制御ルールは登録されていません					

[プライオリティ制御ルールの編集]

パラメーター	内容
Movieエンジン状態	動画や音声再生に特化したMovieエンジンの状態。
フレッツIPv6サービス対応機能	Movieエンジン機能を有効にした時に、フレッツ･IPv6サービス対応機能を使用するかどうかを設定します。
Multicast Rate	Movieエンジン機能を有効にした時のマルチキャストレートを設定します。
マルチキャスト制御	Movieエンジン機能を有効にした際に、無線LANポートに無駄なマルチキャストパケットが転送されないように制限する設定を行います。
無線プライオリティ制御ルール	本製品の無線LANを通過するパケットのプライオリティを制御するルールのリストです。

NAS

ディスク管理

本製品に接続したUSBディスクに関する情報表示や管理を行う画面です。

⇒ NAS － ディスク管理

USBディスク情報

デバイス情報	ディスク割当	パーティション情報
XXXXXXX DT 100 G2 操作 [取り外し]	ディスク1 (自動割当)	パーティション1 フォーマット FAT 状態 マウント済 使用/容量(使用率) 1,328,032 / 3,909,808 (34%) 操作 [フォーマット]

[現在の状態を表示] [USBデバイスの再認識]

[拡張設定]

USBディスクの自動割当	☑使用する
FATフォーマットファイル名 文字コード	日本語 ShiftJIS(CP932)
HDD節電機能	☐使用する HDD停止時間 10 分

[設定]

パラメーター	内容
デバイス情報	認識したUSBディスクの「製造者」「製品名」「ユニット名」を表示します。
ディスク割当	ディスク番号もしくは「割当しない」を選択します。
パーティション情報	パーティション情報を表示します。
[USBデバイスの再認識]	USBディスクを再認識します。
USBディスクの自動割当	USBディスクの番号を自動的に割り当てるかどうかを設定します。
FATフォーマットファイル名 文字コード	FATフォーマットでのファイル名の文字コードを指定します。

パラメーター	内容
HDD節電機能	HDD節電機能の使用の有無を指定します。
HDD停止時間	HDDが指定した時間未使用だった場合、HDDの電源をOFFにします。指定できる時間は1～300分です。

共有フォルダー

USBディスクへのアクセス制限設定を行う画面です。

⇒ NAS − 共有フォルダー

パラメーター	内容
共有フォルダー名	共有時に公開するフォルダー名を半角18文字までで設定します。文字には、半角英数字の他に各国の文字と「-」「_」が入力可能です。先頭文字に数字と記号は入力できません。
共有フォルダーの説明	共有時に公開するフォルダーの説明を半角75文字までで設定します。半角英数字の他に各国の文字、半角スペース、「-」「_」が入力可能です。
ディスクパーティション領域	ディスク、パーティションの「選択」「ディスクパーティション領域」「フォーマット」「使用/容量(使用率)」を表示します。
公開先	登録した共有フォルダーで使用する機能(Win/MacOS(Samba)、Webアクセス)を選択します。
アクセス制限設定	ユーザー名によるアクセス制限を設定します。
Webアクセス設定	チェックありの場合は、Webアクセス時に認証を行い、アクセス制限機能の設定に従います。チェックなしの場合は、Webアクセス時に認証を行わず、読み込みのみとします。

ユーザー管理

USBディスク上の共有フォルダーへのアクセスに必要なユーザー名を登録する画面です。

⇒ NAS － ユーザー管理

新規追加

ユーザー名	
パスワード	
	(確認用)
ユーザーの説明	

新規追加

ユーザー情報

No.	ユーザー名	ユーザーの説明	操作
--	guest	ゲストアクセス用の組み込みユーザー	----
1	tarou		修正 削除
2	jirou		修正 削除
3	saburou		修正 削除

パラメーター	内容
ユーザー名	共有フォルダーのアクセスに必要なユーザー名を半角英数字および「-」「_」「.」で1～20文字までで設定します。記号は先頭文字には入力不可です。
パスワード	共有フォルダーのアクセスに必要なパスワードを半角英数字および「-」「_」で1～20文字までで設定します。先頭文字に「-」は入力不可です。
ユーザーの説明	ユーザー名の説明を半角75文字までで設定します。半角英数字の他に各国の文字、半角スペース、「-」「_」が入力可能です。
ユーザー情報	登録しているユーザー情報が表示されます。

共有サービス

共有サービスの有効/無効の設定や状態を確認する画面です。

⇒ NAS － 共有サービス

共有フォルダー機能	☑使用する
エアステーション名	APXXXXXXXXXXXX
エアステーション説明	
ワークグループ名	WORKGROUP
Windowsクライアント言語	日本語 ShiftJIS(CP932)

設定

[共有サービスステータス]

共有サービスの状態	使用可能

パラメーター	内容
共有フォルダー機能	共有フォルダー機能を使用するかどうかを設定します。
エアステーション名	エアステーション名を設定します。 * [管理設定]－[本体]－[エアステーション名]と同じです。共有サービスとして使用できるホスト名になります。
エアステーション説明	エアステーションの説明を半角48文字までで設定します。半角英数字の他に各国の文字、半角スペース、「-」「_」が入力可能です。
ワークグループ名	ワークグループ名を半角15文字までで設定します。半角英数字の他に各国の文字、「-」「_」「.」が入力可能です。
Windowsクライアント言語	Windowsクライアントで使用する言語を選択します。
共有サービスの状態	共有サービスで使用するUSBディスクの状態を表示します。 * 使用不可の場合、USBディスクの状態を確認してください。

Webアクセス

Webアクセス機能に関する設定を行う画面です。

⇒ NAS － Webアクセス

Webアクセス機能	☐使用する
HTTPS/SSL 暗号化	☐使用する
Webアクセス外部ポート	自動的に外部ポート番号を設定する ポート番号 9000
DNSサービス ホスト名	BuffaloNAS.com登録機能を使用する BuffaloNAS.com ネーム BuffaloNAS.com キー

設定

[Webアクセス 機能ステータス]

Webアクセス機能の状態	使用不可(Webアクセス機能が、「使用しない」に設定されています。)
Webアクセス外部ポート設定状態	使用不可
BuffaloNAS.com登録状態	未使用

パラメーター	内容
Webアクセス機能	Webアクセス機能を使用するかどうかを設定します。
HTTPS/SSL暗号化	SSL暗号化を使用し、より安全な転送をするかどうかを設定します。
Webアクセス外部ポート	Webアクセス外部ポートを設定します。

パラメーター	内容
DNSサービスホスト名	**BuffaloNAS.com登録機能を使用する** 「BuffaloNAS.comネーム」は、BuffaloNAS.comサーバーへ登録する無線親機のニックネームを半角3～20文字までで入力します。半角英数字、「-」「_」が入力可能です。 「BuffaloNAS.comキー」は、BuffaloNAS.comサーバーへ登録する無線親機のニックネームを保存/使用するためのキーを半角3～20文字までで入力します。半角英数字、「-」「_」が入力可能です。 **DDNS設定のホスト名を使用する** Webアクセス機能で、ダイナミックDNS機能を使用する場合に設定します。 **手動でホスト名を設定する** 使用するホスト名を半角63文字までで入力します。半角英数字、「-」「_」「.」が入力可能です。
Webアクセス機能の状態	「使用不可」と表示される場合は、USBディスクの状態を確認してください。
Webアクセス外部ポート設定状態	「登録失敗」と表示される場合は、Webアクセス外部ポート番号の設定を確認してください。
BuffaloNAS.com登録状態	「登録失敗」と表示される場合は、BuffaloNAS.comの設定を確認してください。

メディアサーバー

メディアサーバー機能の有効/無効の設定や状態を確認する画面です。

⇒ NAS – メディアサーバー

メディアサーバー機能	☐使用する

[設定]

[メディアサーバーステータス]

メディアサーバー状態	使用不可(メディアサーバー機能が、「使用しない」に設定されています。)

[現在の状態を表示] [データベースの更新]

パラメーター	内容
メディアサーバー機能	メディアサーバー機能を使用するかどうかを設定します。
共有サービスの状態	メディアサーバーの状態が表示されます。

BitTorrent

BitTorrent機能の有効/無効の設定や状態を確認する画面です。

⇒ NAS － BitTorrent

BitTorrent機能	使用する
BitTorrent外部ポート番号	自動的に外部ポート番号を設定する ポート番号 9002

[拡張設定]

帯域制限設定	使用する 最大ダウンロード速度 1000 KB/s 最大アップロード速度 200 KB/s

設定

ダウンロードマネージャー　BitTorrent情報を削除

[BitTorrent機能ステータス]

BitTorrent機能の状態	使用不可(指定されたディスクのファイルシステムがBitTorrentに対応していません。)
BitTorrent外部ポート設定状態	使用不可

パラメーター	内容
BitTorrent機能	BitTorrent機能を使用するかどうかを設定します。
BitTorrent外部ポート番号	BitTorrent外部ポート番号を設定します。
帯域制限設定	BitTorrent機能で使用する帯域制限を設定します。
BitTorrent機能の状態	BitTorrent機能の状態を表示します。
BitTorrent外部ポート設定状態	BitTorrent外部ポートの状態を表示します。

管理設定

本体

本製品の名称を設定する画面です。

⇒ 管理設定 ー 本体

エアステーション名	APXXXXXXXXXXXXX
ネットワークサービス解析	☑ 使用する

設定

パラメーター	内容
エアステーション名	本製品の名称を半角英数字と「-」で、64文字までで設定します。
ネットワークサービス解析	ネットワーク上のパケットデータ(ARPパケット)を解析して、LAN側に存在するパソコンをリストアップするかどうかを設定します。

パスワード

本製品の設定画面にログインするためのパスワードを設定する画面です。

⇒ 管理設定 ー パスワード

管理ユーザー名	admin (変更することはできません)
管理パスワード	●●●●●●●●●
	●●●●●●●●● (確認用)

設定

パラメーター	内容
管理ユーザー名	本製品の設定画面へログインするときのユーザ名です。「admin」以外に変更できません。
管理パスワード	本製品の設定画面へログインするときのパスワードを半角英数字と「_」で、8文字までで設定します。

時刻

本製品の内部時計を設定する画面です。

⇒ 管理設定 － 時刻

NTP機能使用中のため、設定値は書き換えられる可能性があります。

パラメーター	内容
日付	本製品の内部時計の日付を手動で設定します。
時刻	本製品の内部時計の時刻を手動で設定します。
タイムゾーン	本製品の内部時計のタイムゾーン(グリニッジ標準時からの時差)を指定します。

NTP

本製品の内部時計をNTPサーバーと同期するための設定を行う画面です。

⇒ 管理設定　ー　NTP

NTP機能	☑ 使用する
サーバー名	ntp.jst.mfeed.ad.jp
確認時間	24 時間毎

設定

パラメーター	内容
NTP機能	本製品の内部時計をNTPサーバーを使って設定するかどうかを指定します。
サーバー名	NTPサーバーの名称をホスト名、ドメイン名つきホスト名、IPアドレスのいずれかで設定します。
確認時間	NTPサーバーに時刻を問い合わせる周期（1～24時間毎）を設定します。

エコ

本製品の節電機能の設定を行う画面です。

⇒ 管理設定 ー エコ

スケジュール	□使用する

[設定]

週間スケジュール

通常動作　スリープ　ユーザー定義

スケジュール登録	動作モード 通常動作 開始時間 0:00 終了時間 0:30 曜日 日 □ 月 □ 火 □ 水 □ 木 □ 金 □ 土 □

[追加]

ユーザー定義モード設定

ユーザー定義モード	ランプ オフ 有線LAN エコ(低速動作) 無線LAN オフ

[設定]

パラメーター	内容
スケジュール	あらかじめ登録したスケジュールにしたがって、節電機能を使用するかどうかを設定します。 節電機能を使用するには、「使用する」を選択する必要があります。
週間スケジュール	「スケジュール登録」で設定したスケジュールが表示されます。
スケジュール登録	節電の開始/終了スケジュールを設定します。スケジュールは、「動作モード」、「開始時間」、「終了時間」、「曜日」を組み合わせて設定します。 **動作モード** 節電時の動作モードを設定します。 通常動作の場合、省電力機能を使用せず動作します。 ユーザ定義の場合、「ユーザ定義モード」で設定した動作を行います。 **開始時間** 節電時の開始時間を0:00～23:30まで30分単位で設定します。 **終了時間** 節電時の終了時間を0:30～24:00まで30分単位で設定します。 **曜日** 節電を実行する曜日を設定します。

パラメーター	内容
ユーザー定義モード	節電の内容を細かく指定したい場合に設定します。ユーザ定義モードは、「ランプ」、「有線LAN」、「無線LAN」を組み合わせて設定します。 **ランプ** 節電時のランプの動作を設定します。 通常動作の場合、ランプが点灯します。 オフの場合、ランプがOFFになります。 **有線LAN** 節電時の有線LANの動作を設定します。 通常動作の場合、最大1000Mbpsで通信を行います。 エコ(低速動作)の場合、最大通信速度が100Mbps/10Mbps自動で動作します。 **無線LAN** 節電時の無線LANの動作を設定します。 通常動作の場合、無線LANをご利用いただけます。 オフの場合、無線LANがOFFになります。

プリントサーバー

本製品のプリントサーバー機能の設定を行う画面です。

⇒ 管理設定 － プリントサーバー(WZR-450HP/WZR-300HP/WZR-D1100Hのみ)

プリントサーバー	☑使用する
プリンター複合機を使用する	☑使用する

設定

パラメーター	内容
プリントサーバー	プリントサーバー機能を使用するかどうかを設定します。
プリンター複合機を使用する	USBマスストレージクラスに対応したプリンターを、プリンターとして使用するかどうかを設定します。

アクセス

本製品の設定画面へのアクセスを制限する設定を行う画面です。

⇒ 管理設定 － アクセス

ログ出力	☐使用する

有効	制限項目	パケット数
☐	無線LANからの設定を禁止する	0
☐	有線LANからの設定を禁止する	0

Internet側リモートアクセス設定

有効	制限項目
☐	Internet側リモートアクセス設定を許可する

[設定]

パラメーター	内容
ログ出力	管理アクセス設定のログを出力するかどうかを設定します。
無線LANからの設定を禁止する	本製品の無線ポートに接続された機器から本製品の設定をできないようにします。
有線LANからの設定を禁止する	本製品のLANポートに接続された機器から本製品の設定をできないようにします。
Internet側リモートアクセス設定を許可する	Internetに接続されたネットワーク機器から本製品の設定画面へのアクセスを制限するかどうかを設定します。 アクセスを許可する場合は、許可IPアドレスと許可ポートを別途設定します。

ログ

syslogによる本製品のログ情報を転送するための設定を行う画面です。

⇒ 管理設定 ー ログ

ログ情報転送機能	☐使用する	
syslogサーバー		
転送するログ情報	☑アドレス変換	☑IPフィルター
	☑ファイアウォール	☑PPPクライアント
	☑ダイナミックDNS	☑DHCPクライアント
	☑DHCPサーバー	☑AOSS
	☑無線LAN子機	☑認証
	☑設定変更	☑システム起動
	☑NTPクライアント	☑有線リンク

[設定] [全選択] [全解除]

パラメーター	内容
ログ情報転送機能	ログ情報転送機能を使用するかどうかを設定します。
syslogサーバー	syslogサーバーのアドレスをホスト名、ドメイン名つきホスト名、IPアドレスのいずれかで設定します。
転送するログ情報	表示するログ情報の種類を設定します。

保存/復元

本製品の設定を保存したり、設定ファイルからの設定を復元する画面です。

⇒ 管理設定 ー 保存/復元

パラメーター	内容
現在の設定の保存	[保存]をクリックすると、本製品の現在の設定をファイルに保存します。「設定情報ファイルをパスワードで暗号化する」にチェックマークをつけると、設定情報ファイルにパスワードをつけて保存します。
保存した設定の復元	[参照]で設定ファイルを指定して[復元]をクリックすると、保存された設定ファイルから、本製品の設定を復元します。設定ファイルにパスワードが設定されている場合は、「設定ファイルの復元にパスワードが必要」にチェックマークをつけて、パスワードを入力してください。

初期化/再起動

本製品を初期化したり、再起動するための画面です。

⇒ 管理設定 － 初期化/再起動

パラメーター	内容
再起動	クリックすると、本製品が再起動します。
タイマー再起動 (WZR-450HP/WZR-300HP/ WZR-600DHPのみ)	本製品を再起動させるスケジュールを設定します。
設定初期化	クリックすると、本製品の設定が初期化され、再起動します。

ファーム更新

本製品のファームウェアを更新するための画面です。

⇒ 管理設定 ー ファーム更新

ファームウェアバージョン	XXXXXXXXXXX Ver.X.XX
更新方法	◉ローカルファイル指定 ○自動更新(オンラインバージョンアップ)
ファームウェアファイル名	[参照...]

[更新実行]

本機器をデータ通信カードで使用し、オンラインバージョンアップおよびダウンロードサービスからファームウェアダウンロードを行う場合、お客様の契約内容によっては、多くのパケット料金が課金されることがあります。
なるべくデータ通信カード利用以外のインターネットから、ファームウェアをダウンロードし、ファームウェア更新を行うことをお勧めします。

※ファームウェアファイルは下のリンクから取得できます。

ダウンロードサービス

[拡張設定]

ファームウェア更新通知機能	☑使用する
確認時間	自動

[設定]

パラメーター	内容
ファームウェアバージョン	現在のファームウェアバージョンを表示します。
更新方法	ファームウェアの更新方法を設定します。 **ローカルファイル指定** パソコンに保存されているファームウェアファイルを使用して更新を行います。 **自動更新(オンラインバージョンアップ)** インターネットから自動的に最新のファームウェアファイルを取得して更新を行います。
ファームウェアファイル名	「ローカルファイル指定」時にファームウェアファイル名を指定します。
ファームウェア更新通知機能	新しいファームウェアがリリースされている場合に、設定画面上に通知する機能を使用するかどうかを設定します。
確認時間	新しいファームウェアがリリースされているかを本製品がチェックする時間を設定します。「自動」に設定すると、確認時間が自動的に決定されます。

ステータス

システム

本製品の名称を設定する画面です。

⇒ ステータス　－　システム

製品名	XXXXXXXXX Ver.X.XX （RX.XX/BX.XX）	
エアステーション名	APXXXXXXXXXXXX	
本体モード切り替えスイッチ状態	ROUTERモード	
動作モード	ルーターモードON	
Movieエンジン状態	OFF	
Internet	IPアドレス取得方法	インターネット@スタートを行う - DHCP自動取得
	接続状態	通信中
	操作	解放　書き換え
	IPアドレス	XXX.X.XXX.XX
	サブネットマスク	XXX.X.XXX.XX
	デフォルトゲートウェイ	XXX.XXX.X.XXX（自動取得）
	DNS1(プライマリー)	XXX.XXX.XXX.XXX（自動取得）
	ホスト名	AP4XXXXXXXXXXXXX（手動設定）
	ドメイン名	
	MTU値	1500
	DHCPサーバーアドレス	XXX.X.XXX.XX
	リース取得時刻	2012/01/01 00:00:23
	リース期限	2012/01/03 00:00:23
	有線リンク	1000Base-T（全二重）
	MACアドレス	XX:XX:XX:XX:XX:XX
LAN	IPアドレス	XXX.X.XXX.XX
	サブネットマスク	XXX.X.XXX.XX
	DHCPサーバー	有効
	MACアドレス	XX:XX:XX:XX:XX:XX
無線(802.11n/g/b)	無線状態	制限なし
	SSID	BUFFALO-XXXXXX
	認証方式	AOSS WPA/WPA2 mixedmode - PSK
	暗号化	AOSS AES
	ANY接続	許可する
	プライバシーセパレーター	使用しない
	無線チャンネル	1（自動設定）
	倍速モード	20 MHz
	MACアドレス	XX:XX:XX:XX:XX:XX
ゲストポート機能	ゲストポート機能	使用しない
NAS	USBディスク	接続済み
	共有フォルダー機能	使用する
	Webアクセス機能	使用しない
	メディアサーバー機能	使用しない
	BitTorrent機能	使用しない
i-フィルター	使用しない	
エコモード	状態	スケジュール機能無効

現在の状態を表示

パラメーター	内容
製品名	本製品の製品名とファームウェアのバージョンが表示されます。
エアステーション名	エアステーション名(P81)が表示されます。
本体モード切り替えスイッチ状態	本体のモード切り替えスイッチの状態が表示されます。
動作モード	現在の動作モードが表示されます。
Movieエンジン状態 (WZR-450HP/WZR-300HP/WZR-600DHPのみ)	Movieエンジンの状態が表示されます。
Internet	Internetポートの情報が表示されます。
LAN	LANポートの情報が表示されます。
無線	無線LANポートの情報が表示されます。
ゲストポート (WZR-450HP/WZR-D1100Hのみ)	ゲストポートの情報が表示されます。
NAS	本製品のNAS機能に関する情報が表示されます。
i-フィルター	本製品の「i-フィルター」機能に関する情報が表示されます。
エコモード	節電の状態が表示されます。

ログ

本製品に記録されているログ情報を確認する画面です。

⇒ **ステータス　ー　ログ**

表示するログ情報		
	☑アドレス変換	☑IPフィルター
	☑ファイアウォール	☑PPPクライアント
	☑ダイナミックDNS	☑DHCPクライアント
	☑DHCPサーバー	☑AOSS
	☑無線LAN子機	☑認証
	☑設定変更	☑システム起動
	☑NTPクライアント	☑有線リンク

[表示] [全てチェックする] [全てチェック外す]

ログ情報

[ファイル(logfile.log)に保存する] [消去]

日付時刻	種類	ログ内容
2012/06/05 19:00:22	CONFIGURE	NAS USER REG
2012/06/05 19:00:00	CONFIGURE	NAS USER REG

パラメーター	内容
表示するログ情報	表示するログ情報の種類を設定します。
ログ情報	本製品に記録されているログ情報が表示されます。

通信パケット

本製品が通信したパケットの合計を確認する画面です。

⇒ ステータス － 通信パケット

インターフェース	送信パケット数		受信パケット数	
	正常	エラー	正常	エラー
LAN側有線	7571	0	8539	0
Internet側有線	1551	0	10008	0
LAN側無線(802.11n/g/b)	1789	0	249	0

現在の状態を表示

パラメーター	内容
送信パケット数	Internet側有線、LAN側有線、PPPoE、LAN側無線に送信したパケット数とエラーパケット数が表示されます。
受信パケット数	Internet側有線、LAN側有線、PPPoE、LAN側無線から受信したパケット数とエラーパケット数が表示されます。

クライアントモニター

本製品と通信している機器を確認する画面です。

⇒ ステータス － クライアントモニター

MACアドレス	リースIPアドレス	ホスト名	通信方式	無線認証	802.11n
XX:XX:XX:XX:XX:XX	192.168.11.2	xxxxxxxxxx	無線	-	無効
XX:XX:XX:XX:XX:XX	192.168.11.3	xxxxxxxxxx	有線	-	無効

現在の状態を表示

パラメーター	内容
クライアントモニター	本製品と通信している機器の情報（MACアドレス、リースIPアドレス、ホスト名、通信方式、無線認証、802.11n）が表示されます。

診断

本製品からネットワーク上の他の機器との接続確認を行う画面です。

⇒ ステータス　ー　診断

宛先アドレス	

[実行]

実行結果

宛先	192.168.11.100
実行結果	64 bytes from 192.168.11.100: icmp_seq=0 ttl=64 time=7.6 ms 64 bytes from 192.168.11.100: icmp_seq=1 ttl=64 time=2.2 ms 64 bytes from 192.168.11.100: icmp_seq=2 ttl=64 time=2.2 ms

パラメーター	内容
宛先アドレス	接続確認を行う機器のIPアドレス、またはホスト名を入力し、[実行]をクリックすると、「実行結果」欄に結果が表示されます。

Chapter 3 - 本製品の各種設定

本章では、本製品の各種設定について説明します。

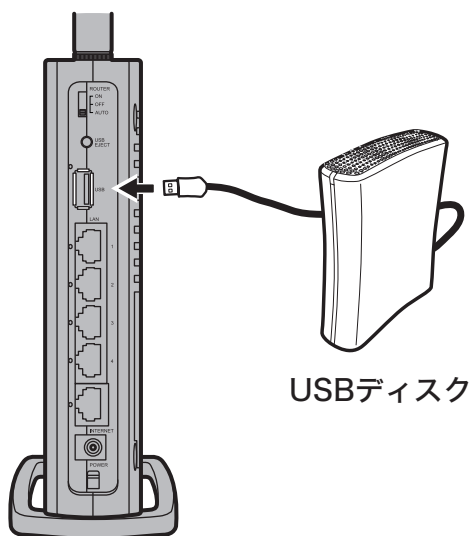
本製品に接続したUSBディスクをネットワークディスク(NAS)として使用する方法

本製品に接続したUSBディスクをネットワークディスク(NAS)として使用する方法を説明します。

メモ
- USB機器(ハードディスク/フラッシュメモリー/USBハブなど)は、当社で動作確認済みの製品をご使用ください。
- 使用できるUSBディスクのフォーマット形式は、FAT12/FAT16/FAT32/XFSです。
- USBディスクを取り外すときは、「USBディスクの取り外しかた」(P103)を参照してください。
- 本製品に接続したUSBディスクをネットワークディスク(NAS)として使用する際の制限事項は、「USBディスク使用時の制限事項」(P115)を参照してください。
- 大切なデータはバックアップを行ってください。

USBディスクの接続と設定

USBディスクをNASとして使用するための初期設定を説明します。

1

本製品とUSBディスクをUSBケーブルで接続します。

接続後、USBディスクの電源がOFFの場合は電源をONにします。

左のイラストはWZR-450HPの場合の例です。

2　「設定画面を表示する」(P17)を参照して、本製品の設定画面を表示します。

3　「NAS」をクリックします。

4　ディスク番号が自動的に割り当てられることを確認します。

メモ
- 「NAS」－「USBディスクの自動割当」の「使用する」にチェックが入っていない場合は、手動でディスク番号を割り当てます。
- フォーマットがFAT12/FAT16/FAT32/XFS以外の場合は、FAT12/FAT16/FAT32/XFSへのフォーマットが必要です。(フォーマットを行うとデータは消去されます。)

以上で設定は完了です。

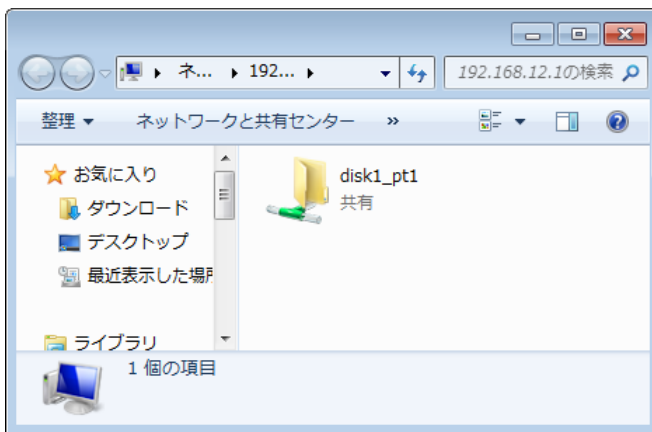
共有フォルダーへアクセスするには

Windows 7/Vista/XPパソコンの場合は、Webブラウザーのアドレス欄で「¥¥(本製品のIPアドレス)」を指定します。

Mac OS Xの場合は、メニューより、[移動]ー[サーバへ接続]をクリックし、「smb://(本製品のIPアドレス)」を指定して共有フォルダーをマウントします。

共有フォルダーが表示されない場合は、本製品の設定画面で「NAS」ー「共有サービス」ー「共有フォルダー機能」の「使用する」にチェックマークが付いているか確認してください。

共有フォルダー名について

共有フォルダー名は「disk*_pt*」です。(*にはディスク番号、パーティション番号が入ります。)

USBディスクのフォーマット

USBディスクをFAT/XFSにフォーマットする方法を説明します。

1 「設定画面を表示する」(P17)を参照して、本製品の設定画面を表示します。

2 「NAS」をクリックします。

3　[フォーマット]をクリックします。

4　「フォーマット形式」を選択して、[フォーマット実行]をクリックします。

[警告]ドライブの指定したパーティションもしくはドライブの全データが消えてしまいます。

メモ
・FAT32の場合、32GBの容量までフォーマットできます。読取/書込どちらもできます。1ファイル4GB以上のデータはコピーできません。「:」などMac OS Xで使用する一部の文字が使用できません。

・XFSの場合、読取/書込どちらもできます。ジャーナリングファイルシステムに対応しています。1つのフォルダーにファイルの数が多くなってもアクセスが遅くなりません。Windowsパソコン/Macに直接接続しても読み出しできません。

以上で設定は完了です。

USBディスクの節電設定

USBディスクの電源を自動でOFFにする方法を説明します。

1 「設定画面を表示する」(P17)を参照して、本製品の設定画面を表示します。

2 「NAS」をクリックします。

3 「HDD節電機能」の「使用する」にチェックし、「HDD停止時間」を入力して[設定]をクリックします。

メモ
- ご使用の環境により、本機能が動作しない場合があります。
- HDD節電機能でUSBディスクの回転が止まらない場合は、HDD節電機能を「使用しない」で使用してください。
- USBディスクの電源をOFFからONにした際、USBディスクが認識できない場合は、HDD節電機能を無効にした後、[取り外し]をクリックし、USBディスクを一度取り外してから、再度接続してください。

以上で設定は完了です。

USBディスクの取り外しかた

USBディスクを取り外す方法を説明します。

メモ USBディスクにアクセス中に取り外すとデータ破損などの原因となります。

製品背面のUSB EJECTボタンを使用して取り外す方法

1 製品背面の[USB EJECT]ボタンを約3秒間長押ししてから離します。

2 「USB EJECT」ランプが緑色点灯 ⇒ 緑色点滅に変わります。

3 USBディスクを取り外します。

以上で設定は完了です。

設定画面の[取り外し]ボタンを使用して取り外す方法

1 「設定画面を表示する」(P17)を参照して、本製品の設定画面を表示します。

2 「NAS」をクリックします。

TOP　Internet/LAN　無線設定　セキュリティー　ゲーム&アプリ　NAS　管理設定　ステータス
かんたん設定&基本情報
ログアウト
マニュアル/アプリ

3　[取り外し]をクリックします。

4　｢取り外し可能｣と表示されたことを確認して､USBディスクを取り外します。

以上で設定は完了です。

USBディスクのアクセス制限設定

USBディスクにアクセス制限を設定する方法を説明します。

メモ USBディスクの自動割当有効時は、USBディスク単位にアクセス制限を設定します。USBディスクに複数の共有フォルダーがある場合は、すべての共有フォルダーに設定が適用されます。USBディスクの自動割当を無効にすると、共有フォルダー単位にアクセス制限を設定できます。ここでは、USBディスクの自動割当有効時（USBディスク単位のアクセス制限）の設定方法を紹介します。

1 「設定画面を表示する」（P17）を参照して、本製品の設定画面を表示します。

2 「NAS」をクリックします。

3 「ユーザー管理」をクリックします。

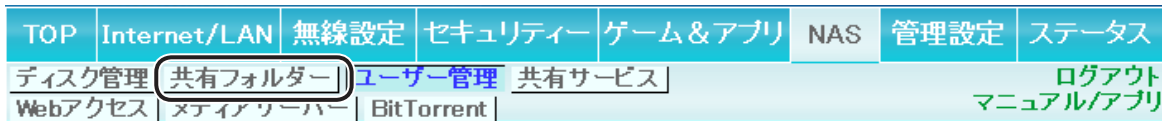
TOP | Internet/LAN | 無線設定 | セキュリティー | ゲーム＆アプリ | NAS | 管理設定 | ステータス
ディスク管理 | 共有フォルダー | ユーザー管理 | 共有サービス | ログアウト
Webアクセス | メディアサーバー | BitTorrent | マニュアル/アプリ

4 「ユーザー名」「パスワード」を入力して、[新規追加]をクリックします。

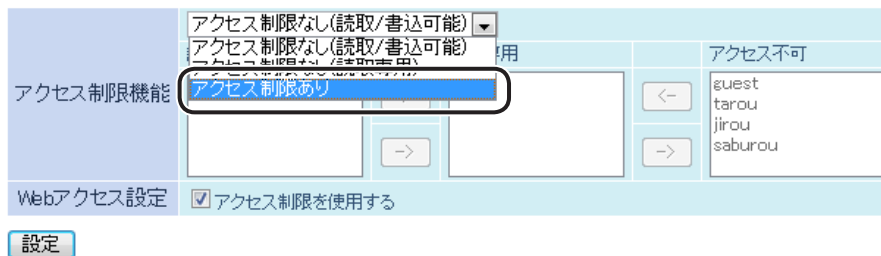
ユーザー情報

No.	ユーザー名	ユーザーの説明	操作
--	guest	ゲストアクセス用の組み込みユーザー	----
1	tarou		修正 削除
2	jirou		修正 削除
3	saburou		修正 削除

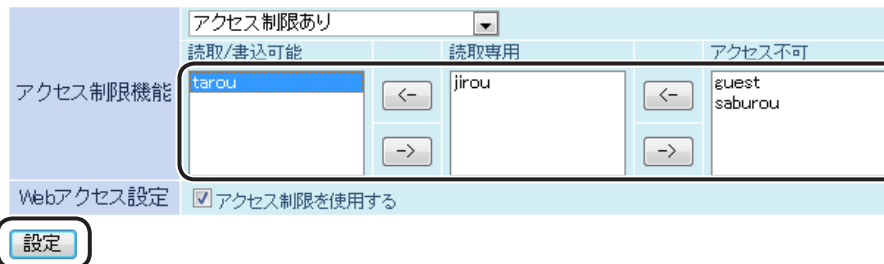
メモ
・ユーザー名/パスワードは、各パソコンがログインする際に使用するユーザー名/パスワードを入力します。
・16ユーザーまで登録できます。

5 「共有フォルダー」をクリックします。

6 「アクセス制限機能」の「アクセス制限あり」を選択します。

共有フォルダー設定

アクセス制限機能
アクセス制限なし(読取/書込可能)
アクセス制限なし(読取/書込可能)
アクセス制限あり
アクセス不可
guest
tarou
jirou
saburou
Webアクセス設定
アクセス制限を使用する
設定

7 ユーザー名を選択し、[←][→]ボタンを使用して「読取/書込可能」「読取専用」「アクセス不可」へ移動し、[設定]をクリックします。

共有フォルダー設定

アクセス制限機能
アクセス制限あり
読取/書込可能
tarou
読取専用
jirou
アクセス不可
guest
saburou
Webアクセス設定
アクセス制限を使用する
設定

以上で設定は完了です。

インターネット経由でUSBディスクにアクセスする

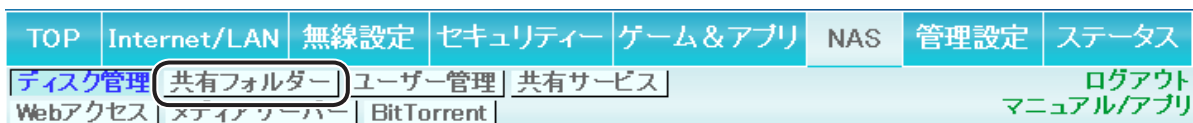
Webアクセス機能を使用して、インターネット経由で本製品に接続したUSBディスクにアクセスするための設定方法を説明します。

メモ ここではBuffaloNas.comサーバーを介してアクセスする方法を説明します。

1 「設定画面を表示する」(P17)を参照して、本製品の設定画面を表示します。

2 「NAS」をクリックします。

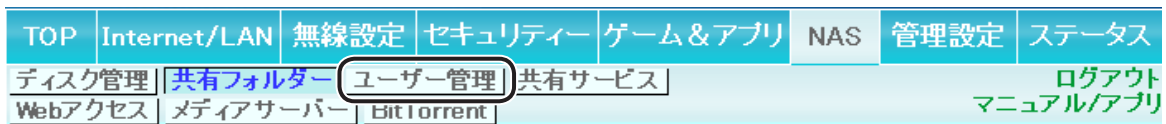
3 「共有フォルダー」をクリックします。

TOP | Internet/LAN | 無線設定 | セキュリティー | ゲーム＆アプリ | NAS | 管理設定 | ステータス
ディスク管理 | 共有フォルダー | ユーザー管理 | 共有サービス
Webアクセス | メディアサーバー | BitTorrent
ログアウト
マニュアル/アプリ

4 「Webアクセス設定」欄で、アクセス制限を使用するかしないかを選択して[設定]をクリックします。

共有フォルダー設定

アクセス制限機能：アクセス制限なし(読取/書込可能)
読取/書込可能 | 読取専用 | アクセス不可
guest
Webアクセス設定：アクセス制限を使用する
設定

メモ
- 「USBディスクの自動割当」を使用しない設定にしている場合は、Webアクセス機能で使用する共有フォルダーを設定してください。
- 「アクセス制限を使用する」の場合、アクセス時に、本製品に登録したユーザー名/パスワードでログインが必要です。各ユーザーの権限は本製品のアクセス制限機能の設定にしたがいます。
- 「アクセス制限を使用しない」の場合、アクセス時に認証を行わず、読取専用でログインします。書込を行う場合は、本製品に登録したユーザー名/パスワードでログインが必要です。読取専用でWebアクセス機能を使用する場合は、ユーザー登録の必要はありません。

5 「ユーザー管理」をクリックします。

6 ユーザー名/パスワードを入力して[新規追加]をクリックします。

メモ ユーザーは16件まで登録できます。

7 「Webアクセス」をクリックします。

8 以下を参考に各項目の設定を行い、[設定]をクリックします。

Webアクセス機能:

使用する

HTTPS/SSL暗号化:

使用しない(転送時にデータを暗号化する場合は「使用する」に設定)

Webアクセス外部ポート:

自動的に外部ポート番号を設定する

DNSサービスホスト名:

BuffaloNAS.com登録機能を使用する

BuffaloNAS.comネーム:

アクセスする際に使用する名前を入力します

BuffaloNAS.comキー:

任意の文字列を入力します

外出先のパソコンからアクセスする方法は、当社ホームページ(http://buffalonas.com/manual/ja/webac_common.html)を参照してください。

以上で設定は完了です。

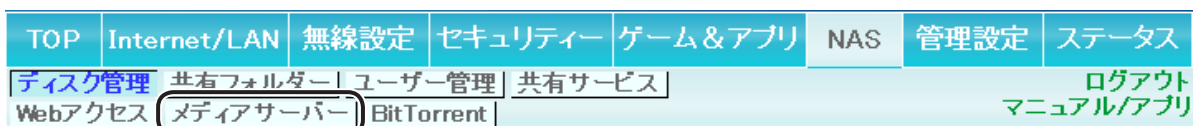
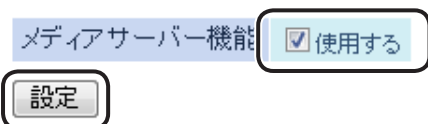
共有フォルダーのコンテンツをネットワークメディアプレーヤーで再生する

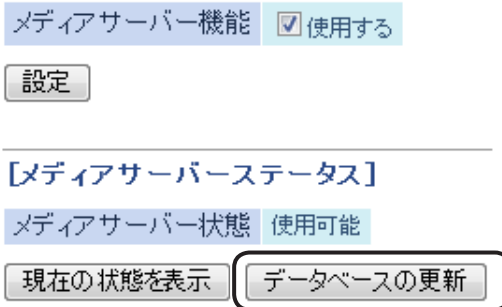
共有フォルダーをネットワークメディアプレイヤーで使用する方法を説明します。

メモ メディアサーバーとして公開する共有フォルダーは「disk1_pt1」(ディスク1、パーティション1)です。ネットワークメディアプレイヤーで再生したいファイルは「disk1_pt1」に保存してください。

1 「設定画面を表示する」(P17)を参照して、本製品の設定画面を表示します。

2 「NAS」をクリックします。

3 「メディアサーバー」をクリックします。

4 「メディアサーバー機能」で「使用する」にチェックを入れ、[設定]をクリックします。

5 **ネットワークメディアプレイヤーで再生します。**
通常、ネットワークメディアプレイヤーの画面に本製品の「エアステーション名」(P81)が表示されます。「エアステーション名」を選択してファイルを再生してください。

メモ ・共有フォルダー内のファイルをネットワークメディアプレーヤーで再生できない場合は、下記の画面にて[データベースの更新]をクリックしてください。

・データベースの更新は、「http://(本製品のIPアドレス)/mediaserver.html」からも行うことができます。

以上で設定は完了です。

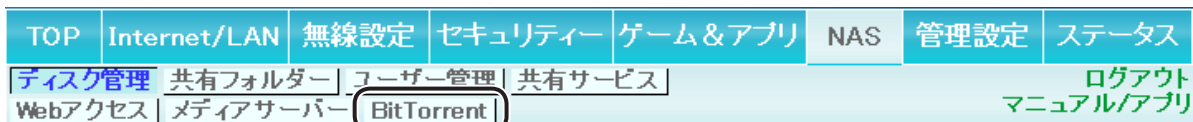
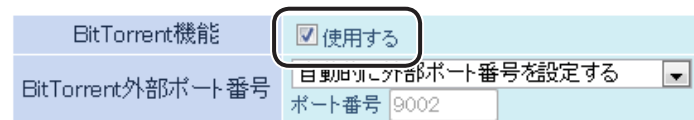
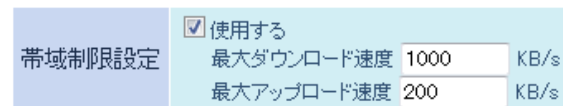
BitTorrentでファイルをダウンロードする

BitTorrentでファイルをダウンロードする方法を説明します。

メモ
- BitTorrentは非匿名性です。ダウンロードしたファイルはインターネットに公開され、誰がどのファイルを公開しているか分かる仕組みになっています。
- 著作権のある動画や音声、ソフトウェアなどは、著作権上、権利者に無断で使用することはできません。
- BitTorrent機能を使用する前に、「USBディスクのフォーマット」(P100)を参照して、USBディスクのフォーマット形式をXFS形式に変更してください。フォーマット形式がFATの場合、BitTorrent機能は使用できません。
  (フォーマットの際、USBディスク内のデータがすべて消去されますので、必要なデータは事前にバックアップを作成してください)

1 「設定画面を表示する」(P17)を参照して、本製品の設定画面を表示します。

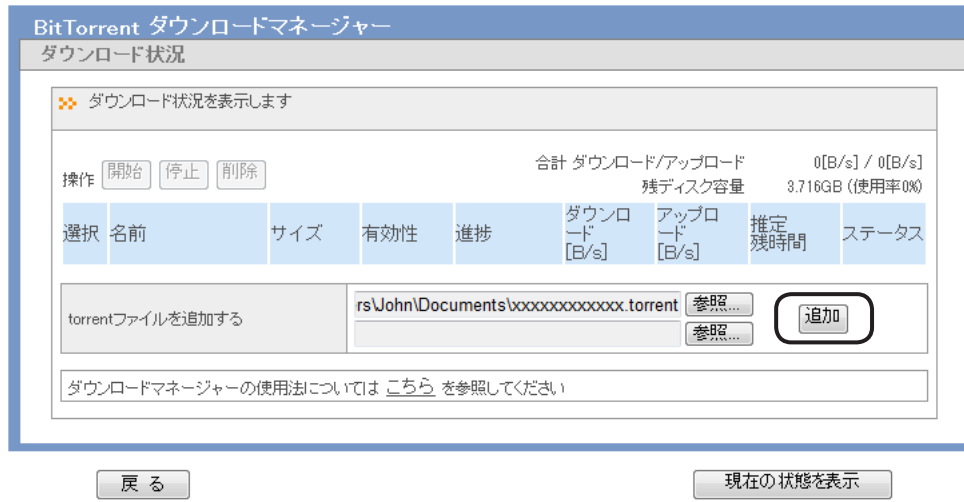
2 「NAS」をクリックします。

3 「BitTorrent」をクリックします。

4 「BitTorrent機能」で「使用する」にチェックを入れ、[設定]をクリックします。

メモ 「帯域制限設定」を行うことで、BitTorrentで使用する帯域(ダウンロード/アップロード)を制限できます。

5 [ダウンロードマネージャー]をクリックします。

6 [参照]をクリックして、Torrentファイルを指定します。

メモ
- トレント情報(拡張子が「.torrent」のファイル)は、米BitTorrent社のホームページ(http://www.bittorrent.com/intl/ja/)や個人が運営するホームページからダウンロードできます。トレント情報の利用規約、著作権等は各ホームページにしたがってください。
- 設定画面「TOP」の[ダウンロードマネージャーを表示]をクリックしても以下の画面を表示できます。

7 [追加]をクリックすると、ダウンロードが始まります。

メモ ダウンロードしたファイルは「disk1_pt1」(ディスク1、パーティション1)フォルダーに保存されます。
USBディスクの自動割当が無効の場合は、指定した共有フォルダーに保存されます。

以上で設定は完了です。

USBディスク使用時の制限事項

全般的な制限事項

- 全角文字（日本語など）のフォルダーやファイル名を作成するときは、80文字以内にしてください。80文字を越える名前のフォルダーやファイルは、コピー操作ができないことがあります。
- フォルダーやファイルに属性（隠し/読取専用）を設定することはできません。
- アクセス制限をかけて使用する場合、登録できるユーザー数は16名までです。
- 共有フォルダー名とワークグループ名に漢字を使用すると、使用した文字によっては共有フォルダーやワークグループが正常に表示されないことがあります。そのようなときは漢字以外の文字をお使いください。
- 本製品に登録するユーザー名に以下の文字は使用できません。あらかじめご了承ください。

  adm、administrator、all、bin、daemon、disk、ftp、guest、halt、hdusers、kmen、lp、mail、man、news、nobody、nogroup、none、operator、root、shadow、shutdown、sshd、sync、sys、ttyusers、utmp、uucp、www
- 本製品に登録するユーザー名に以下の文字は使用できません。あらかじめご了承ください。

  ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳ⅠⅡⅢⅣⅤⅥⅦⅧⅨⅩⅰⅱⅲⅳⅴⅵⅶⅷⅸ
  ⅹ㎜㎝㎞㎎㎏㏄㎡№㏍℡㊤㊥㊦㊧㊨㈱㈲㈹㍾㍽㍼㍻㍉㌔㌢㍍㌘㌧㌃㌶㍑㍗㌍㌦㌣㌫㍊㌻
  ￤＇＂〟∮∑∟⊿纊褜鍈銈蓜俉炻昱棈鋹曻彅丨仡仼伀伃伹佖侒侊侚侔俍偀倢俿倞偆偰偂
  傔僴僘兊兤冝冾凬刕劜劦勀勛匀匇匤卲厓厲叝﨎咜咊咩哿喆坙坥垬埈埇﨏塚增墲夋奓奛奝
  奣妤妺孖寀甯寘寬尞岦岺峵崧嵓﨑嵂嵭嶸嶹巐弡弴彧德忞恝悅悊惞惕愠惲愑愷愰憘戓抦揵
  摠撝擎敎昀昕昻昉昮昞昤晥晗晙晴晳暙暠暲暿曺朎朗杦枻桒柀栁桄棏﨓楨﨔榘槢樰橫橆
  橾櫢櫤毖氿汜沆汯泚洄涇浯涖涬淏淸淲淼渹湜渧渼溿澈澵濵瀅瀇瀨炅炫焏焄煜煆煇凞燁燾
  犱犾猤猪獷玽珉珖珣珒琇珵琦琪琩琮瑢璉璟甁畯皂皜皞皛皦益睆劯砡硎硤礰礼神祥禔福
  禛竑竧靖竫箞精絈絜綷綠緖繒罇羡羽茁荢荿菇菶葈蒴蕓蕙蕫﨟薰蘒﨡蠇裵訒訷詹誧誾諟﨣
  諶譓譿賰賴贒赶﨣軏﨤逸遧郞都鄕鄧釚釗釞釭釮釤釥鈆鈐鈊鈺鉀鈼鉎鉙鉑鈹鉧銧鉷鉸
  鋙鋐﨧鋕鋠鋓錥錡鋻﨨錞鋿錝錂鍰鍗鎤鏆鏞鏸鐱鑅鑈閒隆﨩隝隯霳霻靃靍靏靑靕顗顥飯飼
  餧館馞驎髙髜魵魲鮏鮱鮻鰀鵰鵫鶴鸙黑畩秕緇臂蘊訃躱鐓饐鷀
- MacとWindowsでデータを共有する場合、以下の文字では、文字化けは発生しませんが、コードが異なります。

  —〜‖−¢£¬

- Macで作成したファイル名に下記の記号が含まれると、WindowsからはOSの制限により正常に表示できません。またMacでは、SMBを指定して接続する時に下記の記号を使用すると、ファイルをコピーできません（または正常に表示できません)。

  ? [ ] / ¥ = + < > ; : ” , | *

- ファイルのコピー中にキャンセルしたり、コピーを途中で終了(ネットワーク接続が切断した、USBケーブルが抜けた、停電など)すると、不完全なファイルがコピーされ、ファイルが削除できなくなることがあります。その場合は、本製品を再起動してからファイルを削除し、コピー操作をもう一度行ってください。

- 本製品で使用するユーザー名、パスワードはWindowsのネットワークログイン時のユーザー名、パスワードと同じユーザー名、パスワードにしてください。異なる場合、本製品のアクセス制限を設けた共有フォルダーにアクセスできないことがあります。

- 本製品に搭載されているOSの仕様上、接続したUSBハードディスクへ保存したファイルの日付情報は更新されることがあります（作成日時、更新アクセスなどの日付情報は保持されません）。

- ハードディスクの容量をブラウザーから確認したときと、Windowsのドライブのプロパティから確認したときで、値が異なる場合があります。

- Windows 7/Vista/XP/2000にguestアカウントでログインした場合、本製品に出荷時設定されているguestアカウントが存在するためアクセス制限が正常に動作しない場合があります。

- Macからアクセスされた共有フォルダーには、Mac用の情報ファイルが自動生成されることがあります。これらをWindowsから削除した場合、Macからアクセスできなくなることがありますので削除はしないでください。

本製品のUSBコネクターに関する制限事項

- 本製品のUSBコネクターに接続できるのは、USBハードディスク、USBフラッシュ、USBカードリーダー(5ドライブ以上認識されるカードリーダーは非対応)、USBハブ（セルフパワー型の対応機種のみ）、プリンターです。デジタルカメラ、CD/DVDドライブ、マウス、キーボード等のUSB機器を接続して使用することはできません。

- ハードウェア/ソフトウェアで暗号化されたUSBディスクは使用できません。

- USBディスクによっては、USBディスクの節電機能が動作しないことがあります。

- 本製品のUSBコネクターに接続して使用できるハードディスクは１台までです。当社製ハードディスク以外のハードディスクは対応しておりません(当社製DIU/DUBシリーズは非対応)。対応ハードディスクは、当社ホームページをご参照ください。AUTO電源機能を搭載したハードディスクを本製品に接続しても認識できないことがあります。そのようなときは、「AUTO電源機能切替スイッチ」を「MANUAL」に設定してください。

- USBコネクターに接続したハードディスクは第4パーティションまで認識出来ます。ファイルシステムはFAT12/FAT16/FAT32/XFSを認識できます。

USBハブ使用時の制限事項

- USBハブは、本製品に対応したもの(セルフパワー型)をご使用ください。対応機種については、当社ホームページでご確認ください。
- USBディスクへのデータ書き込み中やデータ読み出し中に、USBハブにUSB機器を接続すると、データの書き込み/読み出しが中断されます。

データ通信カードを使ってインターネットに接続する

データ通信カードを使用してインターネットに接続するには、以下の手順で設定を行います。

メモ この機能は、WZR-600DHP/WZR-D1100Hではご利用いただけません。

1. 本製品にACアダプターが取り付けられている場合は、ACアダプターを取り外します。

2. 本製品背面の青色のコネクター(INTERNET端子)にLANケーブルがつながっている場合は、LANケーブルを取り外します。

3. 本製品背面のROUTERスイッチを「ON」に設定します。

4. 本製品背面のUSBポートにデータ通信カードを接続し、ACアダプターを取り付けて電源を入れます。

5. 本製品とパソコンをLANケーブルまたは無線LANで接続します。

6. Internet ExplorerやSafariなどのブラウザーを起動して、ホームページ(例:melco-hd.jp)を開きます。

7. 「Internet回線判別中」画面が表示されたら、[Internet側の確認を行う]をクリックします。

8. ユーザー名とパスワードの入力画面が表示されたら、ユーザー名に「admin」(小文字)、パスワードに「password」(小文字)を入力して、[OK]をクリックします。

9 本製品がInternet回線を判別しますので、判別が終わるまで待ちます。

10 「データ通信カードにて接続を行う」をクリックします。

11 データ通信カードのご契約内容にしたがって各項目を設定し、[接続]をクリックします。

12 画面に表示される注意事項をよく読み、「同意する」にチェックマークをつけて、[進む]をクリックします。

13 「接続成功です」と表示されたら、いったんWebブラウザーを閉じます。

14 もう一度Webブラウザーを開きます。

15 ホームページが表示されることを確認します。

以上で設定は完了です。

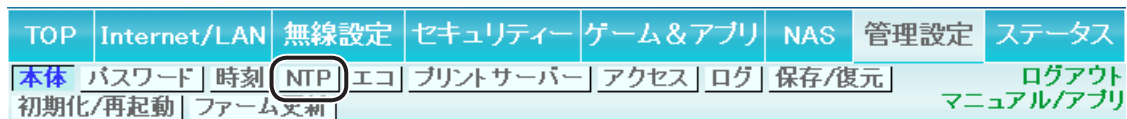
節電機能を使って節電する

節電機能は、あらかじめ登録したスケジュールにしたがって、本製品を省電力状態にすることで、消費電力を抑える機能です。設定は以下の手順で行います。

メモ
- 節電機能は、ランプ（通常動作/OFF）、有線LAN（通常動作/低速動作/OFF）、無線LAN（通常動作/OFF）の動作を切り替えることにより電力消費を抑えます。
- 本製品の状態が切り替わる際、通信が一時的に切断されます。また、ユーザー定義で有線LANや無線LANのどちらかを有効（または低速動作）に設定していても、通信が一時的に切断されますので、通信中の場合はご注意ください。

1 「設定画面を表示する」（P17）を参照して、本製品の設定画面を表示します。

2 「管理設定」をクリックします。

3 「NTP」をクリックします。

4 NTP機能に「使用する」、サーバー名に「ntp.jst.mfeed.ad.jp」と表示されていることを確認します。

メモ
・NTP(Network Time Protocol)とは、正しい時刻に時計を修正・同期する仕組みです。任意のNTPサーバーを設定することもできますが、特に問題ない限りは初期設定(ntp.jst.mfeed.ad.jp)をご使用ください。

・節電機能の設定をおこなうには、NTP設定を有効にする必要があります。(出荷時設定では有効になっています)

・本製品のROUTERスイッチを「OFF」にしている場合は、本製品の設定画面の[LAN設定]－[LAN]にてデフォルトゲートウェイとDNS(ネーム)サーバーアドレスの設定(※)が必要です。

※ ご使用中のルーター(ルーター内蔵モデムを含む)やCTUのIPアドレスと同じ値を設定してください。

5 「エコ」をクリックします。

TOP | Internet/LAN | 無線設定 | セキュリティー | ゲーム&アプリ | NAS | 管理設定 | ステータス
本体 | パスワード | 時刻 | NTP | エコ | プリントサーバー | アクセス | ログ | 保存/復元 | 初期化/再起動 | ファーム更新
ログアウト
マニュアル/アプリ

6 ユーザー定義モードを設定して[設定]をクリックします。

メモ ここでは例として、以下のように設定します。

設定例: ランプ オフ
有線LAN エコ(低速動作)
無線LAN オフ

7　スケジュールを登録して[追加]をクリックします。

メモ　ここでは例として、以下のように設定します。

設定例：	動作モード	ユーザー定義
	開始時間	0:00
	終了時間	6:00
	曜日	月、火、水、木、金

※ 本製品に登録できるスケジュールは 1 つだけです。登録済みのスケジュールを変更したい場合は、新しいスケジュールで上書きしてください。

8　スケジュールを「使用する」にして、[設定]をクリックします。

以上で設定は完了です。

AOSS接続で設定された内容を確認する

本製品の設定画面を使って、AOSS接続で設定された内容（SSIDや暗号化設定）を確認することができます。

1 「設定画面を表示する」（P17）を参照して、本製品の設定画面を表示します。

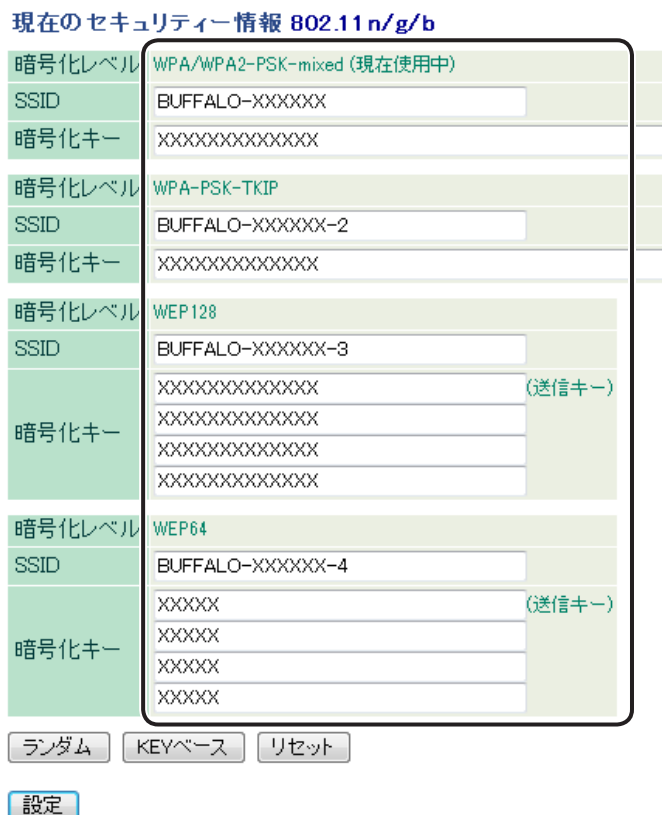
2 AOSSアイコンをクリックします。

3 設定内容が表示されます。

現在のセキュリティー情報 802.11n/g/b

暗号化レベル	WPA/WPA2-PSK-mixed (現在使用中)
SSID	BUFFALO-XXXXXX
暗号化キー	XXXXXXXXXXXXX
暗号化レベル	WPA-PSK-TKIP
SSID	BUFFALO-XXXXXX-2
暗号化キー	XXXXXXXXXXXXX
暗号化レベル	WEP128
SSID	BUFFALO-XXXXXX-3
暗号化キー	XXXXXXXXXXXXX (送信キー) XXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXX
暗号化レベル	WEP64
SSID	BUFFALO-XXXXXX-4
暗号化キー	XXXXX (送信キー) XXXXX XXXXX XXXXX

ランダム　KEYベース　リセット

設定

AOSS接続を解除する

「他の無線機器から本製品を検索できなくする（ANY接続拒否設定）」（P129）や「アクセス可能な無線機器を制限する（MACアクセス制限）」（P131）の設定を行うには、いったんAOSS接続を以下の手順で解除する必要があります。
AOSS接続を解除すると、本製品のSSIDや暗号化キーは、AOSS接続を行う前の値に戻るとともに、本製品に接続していたすべての無線機器が本製品から切断されます。各機器のマニュアルを参照して、再度無線機器を本製品に接続してください。

1 「設定画面を表示する」（P17）を参照して、本製品の設定画面を表示します。

2 AOSSアイコンをクリックします。

3 AOSS接続解除ボタンをクリックします。

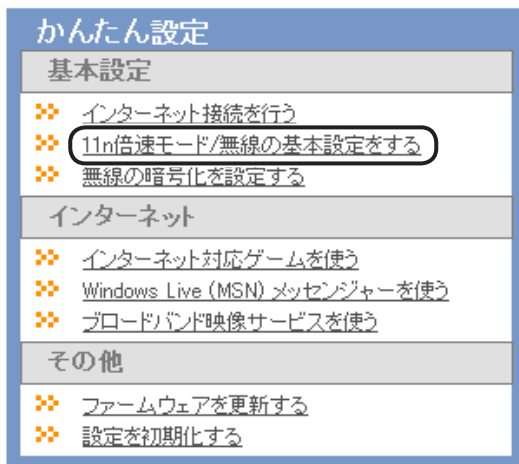
以上で設定は完了です。

倍速モードで無線通信する

本製品では、無線通信で利用する通信チャンネルの幅を従来の20MHz幅から40MHz幅に拡大することにより、従来比約2倍の通信速度（理論値最大450Mbpsまたは300Mbps）を実現する倍速モードを搭載しています。
倍速モードを有効にする場合は、以下の手順で設定を行ってください。

メモ
- 倍速モードは、出荷時状態では無効に設定されています。
- 倍速モードで通信するには、本製品と通信する機器にも設定が必要な場合があります。
- 倍速モードで通信する際は、無線チャンネルを２つ使用します。周囲に多くの無線機器があるなど、電波が混雑している環境では、期待した効果が得られない場合があります。

1 「設定画面を表示する」（P17）を参照して、本製品の設定画面を表示します。

2 「かんたん設定」より「11n倍速モード/無線の基本設定をする」または「通信モード・無線の基本設定をする」をクリックします。

3　倍速モードの帯域を「40MHz」に設定し、[設定]をクリックします。

メモ　WZR-600DHP/WZR-D1100Hをお使いの場合、本設定は無線規格（802.11n/a(c)または802.11n/g/b）ごとに設定することができます。

4　[設定完了]をクリックします。

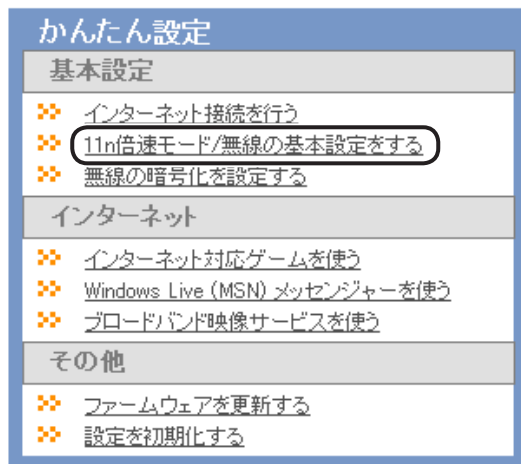
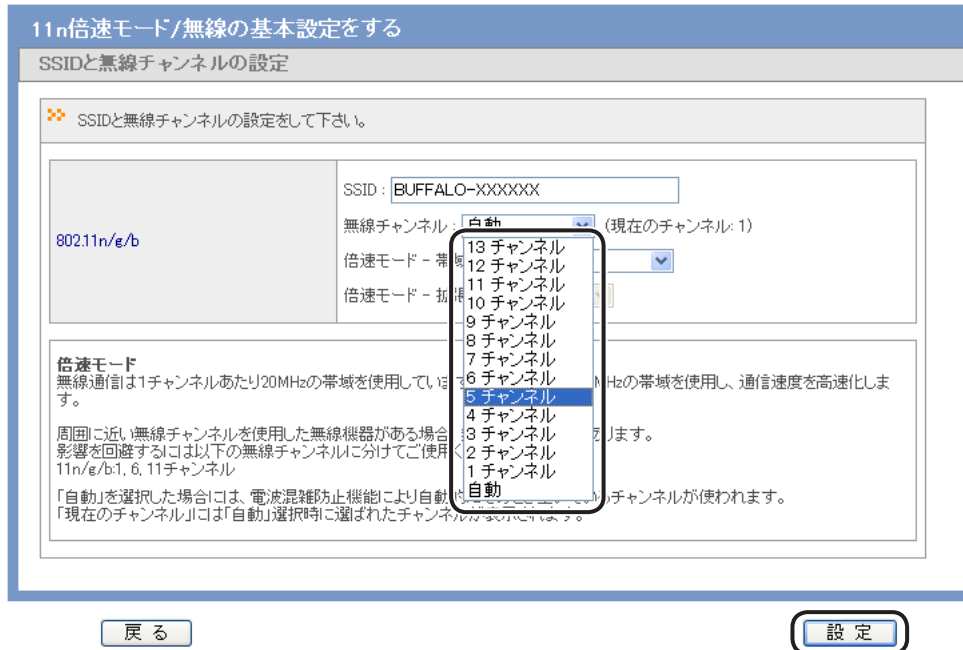
以上で設定は完了です。

無線チャンネルを変更する

本製品は、電波混雑防止機能により他の無線機器が使用していないチャンネルを検索して自動的に割り当てるため、通常はチャンネルを設定する必要はありません。ただし周囲に多くの無線機器がある場合、チャンネルが正しく設定されず、電波干渉が発生して転送速度が低下してしまうことがあります。
その場合は、以下の手順で手動でチャンネルを設定してください。

メモ
・設定するチャンネルによっては、他の無線機器と電波干渉を起こすことがあります。
・隣接する無線機器に異なるチャンネルを設定するとき、隣りあったチャンネルなどの近い周波数では、互いに干渉し転送速度が低下してしまうことがあります。

1 「設定画面を表示する」(P17)を参照して、本製品の設定画面を表示します。

2 「かんたん設定」より「11n倍速モード/無線の基本設定をする」または「通信モード・無線の基本設定をする」をクリックします。

3　無線チャンネルを選択して[設定]をクリックします。

メモ・WZR-600DHP/WZR-D1100Hをお使いの場合、本設定は無線規格(802.11n/a(c)または802.11n/g/b)ごとに設定することができます。

・WZR-600DHPをお使いの場合で、802.11n/aのチャンネルにて「DFSあり」のチャンネルを設定した場合、無線親機が気象レーダー等を感知すると、自動的に他の無線チャンネルへ変更されます。その際、1分程度無線通信ができなくなります。

・WZR-600DHPをお使いの場合で、802.11n/aのチャンネルを屋外で使用する場合は、W56(100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140チャンネル)に設定してください。W52(36/40/44/48チャンネル)およびW53(52/56/60/64チャンネル)は、電波法により屋外で使用することが禁止されています。

・802.11n/g/bのチャンネルを設定する場合は、隣接する無線親機と干渉しないよう、4チャンネル以上間隔をあけて設定してください。

4　[設定完了]をクリックします。

メモ 無線機器から設定を行っている場合、本製品との接続が一時的に切断されますが、しばらくすると自動的に本製品に再接続され通信できるようになります。

以上で設定は完了です。

他の無線機器から本製品を検索できなくする（ANY接続拒否設定）

本製品に無線接続するには、SSIDと暗号化キーが必要です。ANY接続拒否設定を行うと、本製品のSSIDが隠蔽されて、他の無線機器から本製品を検索することができなくなるため、外部からの不正アクセスを受けにくくすることができます。
設定は、以下の手順で行います。

メモ
- AOSSとANY接続拒否設定は同時に使用できません。以下の設定を行う前に、「AOSS接続を解除する」（P124）を参照してあらかじめ設定を変更してください。（以下の設定を行った後にAOSSを使って無線接続すると、ANY接続が「許可する」に設定変更されます）
- 以下の設定を行って本製品のSSIDを隠蔽しても、暗号化設定がされていないと外部からの不正アクセスを受けることがあります。

1 「AOSS接続を解除する」（P124）を参照して、本製品の設定を変更します。

2 「設定画面を表示する」（P17）を参照して、本製品の設定画面を表示します。

3 「無線設定」をクリックします。

TOP | Internet/LAN | 無線設定 | セキュリティー | ゲーム＆アプリ | NAS | 管理設定 | ステータス
かんたん設定＆基本情報
ログアウト
マニュアル/アプリ

4 「基本」をクリックします。

TOP | Internet/LAN | 無線設定 | セキュリティー | ゲーム＆アプリ | NAS | 管理設定 | ステータス
WPS | 基本(11n/g/b) | 拡張(11n/g/b) | WMM(11n/g/b) | MACアクセス制限 | マルチキャスト制御 | ゲストポート
AOSS
ログアウト
マニュアル/アプリ

メモ WZR-600DHP/WZR-D1100Hをお使いの場合、本設定は無線規格（802.11n/a(c)または802.11n/g/b）ごとに設定することができます。

5 ANY接続の「許可する」をクリックし、チェックマークを外して[設定]をクリックします。

以上で設定は完了です。

アクセス可能な無線機器を制限する(MACアクセス制限)

本製品に接続する無線機器のMACアドレスをあらかじめ登録しておき、その機器のみ本製品へのアクセスを許可することができます。設定は以下の手順で行います。

メモ AOSSとMACアクセス制限は同時に使用できません。MACアクセス制限を設定する場合は、「AOSS接続を解除する」(P124)を参照して本製品の設定を変更してください。

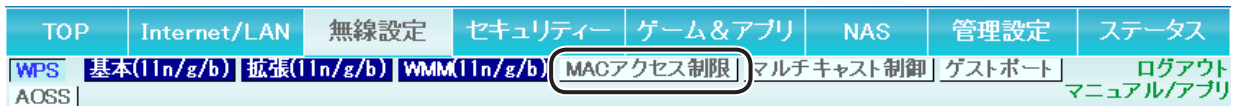
1 「AOSS接続を解除する」(P124)を参照して、本製品の設定を変更します。

2 「設定画面を表示する」(P17)を参照して、本製品の設定画面を表示します。

3 「無線設定」をクリックします。

TOP | Internet/LAN | 無線設定 | セキュリティー | ゲーム&アプリ | NAS | 管理設定 | ステータス
かんたん設定&基本情報
ログアウト
マニュアル/アプリ

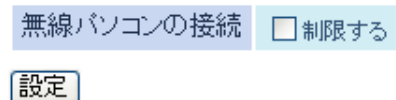
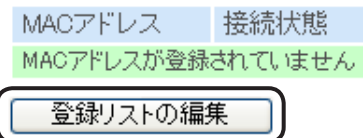
4 「MACアクセス制限」をクリックします。

TOP | Internet/LAN | 無線設定 | セキュリティー | ゲーム&アプリ | NAS | 管理設定 | ステータス
WPS | 基本(11n/g/b) | 拡張(11n/g/b) | WMM(11n/g/b) | MACアクセス制限 | マルチキャスト制御 | ゲストポート
AOSS
ログアウト
マニュアル/アプリ

5 [登録リストの編集]をクリックします。

無線パソコンの接続 ☐制限する

設定

登録リスト

MACアドレス	接続状態
MACアドレスが登録されていません	

登録リストの編集

6 無線で接続できる機器を指定します。「検出された無線パソコン一覧」には、現在接続されている無線機器のMACアドレスが表示されています。
ここで、接続可能にする機器のMACアドレスのみを[登録]をクリックして登録します。

「検出された無線パソコン一覧」に表示されていない機器を登録する場合は、「登録するMACアドレス」欄に接続する機器のMACアドレスを入力し、[新規追加]をクリックします。MACアドレスを入力するときは、2桁ずつコロン(:)で区切って入力します。登録できるMACアドレスは64個までです。

7 登録が終わったら、[編集を終了して前の画面へ戻る]をクリックします。

編集を終了して前の画面へ戻る

登録リストの新規追加

登録するMACアドレス	

新規追加

登録リスト

MACアドレス	操作
XXXXXXXXXXXX	修正 削除
XXXXXXXXXXXX	修正 削除
XXXXXXXXXXXX	修正 削除

検出された無線パソコン一覧

MACアドレス	操作
xx:xx:xx:xx:xx:xx	---

現在の状態を表示する

8 「制限する」をクリックしてチェックマークをつけ、[設定]をクリックします。

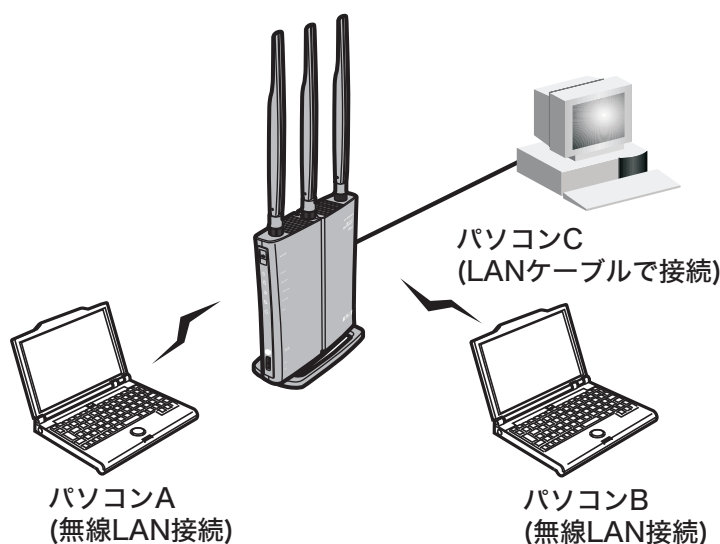
メモ WZR-600DHP/WZR-D1100Hをお使いの場合、本設定は無線規格(802.11n/a(c)または802.11n/g/b)ごとに設定することができます。

9 「無線パソコンのMACアクセス制限を有効にします」と表示されたら、[設定]をクリックします。

以上で設定は完了です。

無線機器同士の通信を禁止する（プライバシーセパレーター）

プライバシーセパレーター機能を使用すると、本製品に接続している無線機器同士のアクセス（共有フォルダーなどへのアクセス）を禁止することができます。

メモ　本製品にLANケーブルを使って接続している機器がある場合は、プライバシーセパレーターを有効にしても、アクセスを禁止することはできません。例えば、以下の図のような接続の場合、プライバシーセパレーターを有効にすることで、パソコンＡ－Ｂ間で共有フォルダーへのアクセスはできなくなりますが、パソコンＡ－Ｃ間やパソコンＢ－Ｃ間はアクセス可能となります。

1　「設定画面を表示する」（P17）を参照して、本製品の設定画面を表示します。

2　「無線設定」をクリックします。

TOP | Internet/LAN | 無線設定 | セキュリティー | ゲーム＆アプリ | NAS | 管理設定 | ステータス
かんたん設定＆基本情報　ログアウト　マニュアル/アプリ

3　「拡張」をクリックします。

TOP | Internet/LAN | 無線設定 | セキュリティー | ゲーム＆アプリ | NAS | 管理設定 | ステータス
WPS | 基本(11n/g/b) | 拡張(11n/g/b) | WMM(11n/g/b) | MACアクセス制限 | マルチキャスト制御 | ゲストポート | AOSS　ログアウト　マニュアル/アプリ

メモ　WZR-600DHP/WZR-D1100Hをお使いの場合、本設定は無線規格（802.11n/a（c）または802.11n/g/b）ごとに設定することができます。

4 「プライバシーセパレーター」欄の「使用する」をクリックしてチェックマークをつけ[設定]をクリックします。

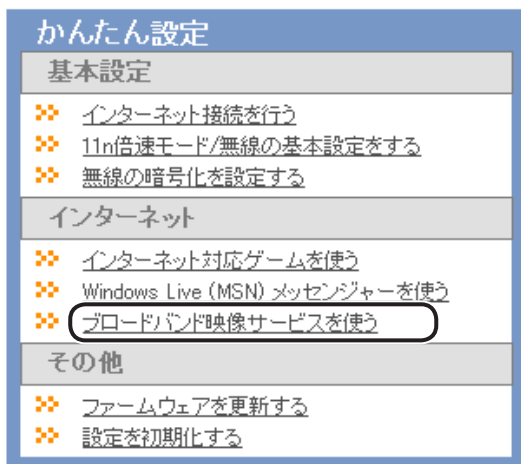
以上で設定は完了です。

ブロードバンド映像サービスの利用設定をする

ブロードバンド映像サービスやフレッツIPv6サービス対応機能を利用する場合は、以下の設定を行ってください。

メモ 本製品をブリッジモードでお使いの場合、ブロードバンド映像サービスやフレッツIPv6サービス対応機能を利用するための設定は、モデムやブロードバンドルーター側にて行います。モデムやブロードバンドルーターのマニュアルを参照し、必要な設定を行ってください。その場合、本製品の設定変更（下記の設定）は必要ありません。

1 「設定画面を表示する」（P17）を参照して、本製品の設定画面を表示します。

2 「かんたん設定」より「ブロードバンド映像サービスを使う」をクリックします。

3 フレッツIPv6サービス対応機能を「使用する」に設定します。
Snooping機能を使用することで、マルチキャストを無駄なポートに流さず、ネットワークの負荷を軽減します。
無線機器でブロードバンド放送を視聴する場合は、Multicast Rateを映像配信ビットレートより高い速度に設定します。
すべて設定したら、[設定]をクリックします。

ブロードバンド映像サービスを使う

ブロードバンド映像サービスの設定

ブロードバンド映像サービスの設定を行ってください。

フレッツIPv6サービス対応機能	使用する(現在の設定 :使用する)
Snooping機能	使用する(現在の設定 :使用する)
Multicast Rate	802.11n/g/b: 11 Mbps (現在の設定 :自動)

※ブロードバンド映像サービスを使用する場合、フレッツIPv6サービス対応機能(IPv6パススルー)を有効にします。
この機能はNTT東日本のフレッツ・ドットネットおよびNTT西日本のフレッツ・光プレミアム、フレッツ・v6アプリで使用できます。
※Snooping機能を使用することで、マルチキャストを無駄なポートに流さず、ネットワークの負荷を軽減します。
また、マルチキャスト変換機能対応の機器に対し、高速にマルチキャストパケットを送信することが出来ます。
※ブロードバンド映像サービスを利用する環境で無線LANパソコンを使用する場合、MulticastRateを映像配信ビットレートより高い速度に設定する必要があります。

戻る　　設定

メモ
- Multicast Rateを高くすると、マルチキャスト通信可能な距離が短くなります。通常は、Multicast Rateを映像配信ビットレートの2倍程度に設定することをお勧めします。
- WZR-600DHP/WZR-D1100Hをお使いの場合、Multicast Rateは無線規格(802.11n/a(c)または802.11n/g/b)ごとに設定することができます。

以上で設定は完了です。

インターネット有害サイトへのアクセスを制限する(「i-フィルター」機能)

「i-フィルター」機能を使用して、インターネット有害サイトへのアクセスを制限する方法を説明します。

メモ
- 「i-フィルター」機能を使用するには、ユーザー登録が必要です。初回登録時、トライアル期間として60日間無料で使用できます。
- トライアル期間終了後、継続して使用する場合は、「i-フィルター」サービスページで継続契約(有料)してください。

1 「設定画面を表示する」(P17)を参照して、本製品の設定画面を表示します。

2 「セキュリティー」をクリックします。

3 「i-フィルター」をクリックします。

TOP | Internet/LAN | 無線設定 | セキュリティー | ゲーム&アプリ | NAS | 管理設定 | ステータス
ファイアウォール | IPフィルター | VPNパススルー | i-フィルター
ログアウト
マニュアル/アプリ

4 [「i-フィルター」サービスページ>>]をクリックすると、ユーザー登録画面が表示されます。画面にしたがってユーザー登録を行ってください。

5 「「i-フィルター」機能」の「使用する」にチェックを入れ、「閲覧禁止カテゴリー」を設定し、[設定]をクリックします。

メモ
・「「i-フィルター」機能」の「使用する」のチェックを外すには、管理者パスワードを設定する必要があります。[管理設定]－[パスワード]から設定してください。
・「有効期間」は、「「i-フィルター」機能が有効」かつ「ユーザー登録後、契約期間が取得済み」の場合に表示されます。

6 「i-フィルター」機能を適用しないパソコンがある場合は、[除外パソコンリストの編集]をクリックします。

7 「登録するMACアドレス」を入力して、[新規追加]をクリックします。

メモ
・MACアドレスは2桁ずつ、コロン(:)で区切って入力します。
・複数のMACアドレスを入力する場合は、スペースで区切って入力します。
・「検出されたパソコンリスト」に「i-フィルター」を適用しないパソコンがある場合は、[追加]をクリックして追加できます。

8 [編集を終了して前の画面へ戻る]をクリックします。

以上で設定は完了です。

ポートを開放する

ポート変換設定を行うと、インターネットゲームを楽しんだり各種サーバー公開することができます。

メモ
- サーバーを公開する場合、固定グローバルIPアドレスの取得およびプロバイダーと別途契約が必要な場合があります。
- 手順はお使いの環境によって異なります。
  ネットワークゲームや各種サーバーを公開する場合など、あらかじめ利用するポート番号が分かっている場合は、以下を参照してください。
  利用するポート番号が不明な場合は、「利用するポート番号が不明な場合」(P144)を参照してください。

ネットワークゲームや各種サーバーを公開する場合など、あらかじめ利用するポート番号が分かっている場合

1 「設定画面を表示する」(P17)を参照して、本製品の設定画面を表示します。

2 「ゲーム＆アプリ」をクリックします。

3 各項目を設定し、[新規追加]をクリックします。

ポート変換の新規追加

項目	設定
グループ	新規追加　新規追加: group1
Internet側IPアドレス	エアステーションのInternet側IPアドレス 手動設定:
プロトコル	○全て ○ICMP ○任意　プロトコル番号: ◉TCP/UDP　HTTP(TCPポート:80)　指定の仕方 任意のTCP/UDPポート:
LAN側IPアドレス	192.168.11.210
LAN側ポート	TCP/UDPポート:

[新規追加]

グループ:

登録するルールが属するグループを指定します。[新規追加]を選択すると、新たなグループを作成し、そのグループに追加されます。新規追加時には半角英数字で16文字までのグループ名を付けることが可能です。

Internet側IPアドレス:

公開する各種サーバーの固定グローバルIPアドレスを設定します。Internet側IPアドレスをPPPoEサーバーから取得している場合は各PPPoE接続先のInternet側IPアドレスを設定します。手動設定を選択したときは、手動設定欄にIPアドレスを指定する必要があります。プロバイダーから複数の固定グローバルIPアドレス指定を受けている場合には、「手動設定」で本製品のInternet側IPアドレスに設定してあるアドレス以外のグローバルIPアドレスを設定することが可能です。

プロトコル:

アドレス変換機能を使用するポートの種類を選択します。[TCP/UDP]を選択したときは、ポートを設定します。

LAN側IPアドレス:

インターネットからのアクセスの宛先となるプライベートIPアドレスを設定します。

LAN側ポート:

変換プロトコルでTCP/UDPを指定し、単独のポート番号を指定したときは、LAN側のポート番号を変更することができます。

以上の設定の組み合わせにより、最大32種類の組み合わせを設定できます。

メモ WWW(HTTP)サーバーを公開する場合は、以下のように設定すると、インターネットからのアクセスを任意のLAN側のWWWサーバーIPアドレスに転送できます。

グループ:

任意の名称(例:group1)を入力します。

Internet側IPアドレス:

[エアステーションのInternet側IPアドレス]を選択します。

プロトコル:

TCP/UDPを選択し、[HTTP(TCPポート:80)]を選択します。(任意のTCP/UDPポートは空欄)

LAN側IPアドレス/LAN側ポート:

LAN側IPアドレスは、サーバーIPアドレス(例:192.168.11.210)を入力します。LAN側ポートは、空欄にします

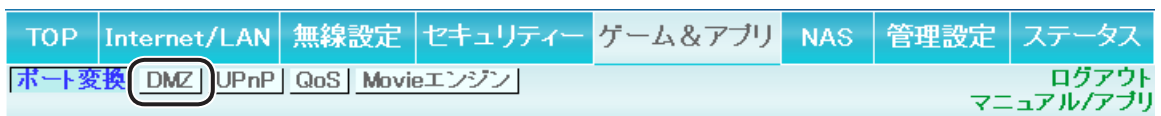
4 設定内容が登録されていることを確認します。

以上で設定は完了です。

利用するポート番号が不明な場合

1 「設定画面を表示する」(P17)を参照して、本製品の設定画面を表示します。

2 「ゲーム＆アプリ」をクリックします。

3 「DMZ」をクリックします。

4 DMZのアドレスを設定し、[設定]をクリックします。

DMZのアドレス 192.168.11.210

※WEB設定を行っているパソコンのIPアドレス[192.168.11.2]

設定

メモ
- DMZのアドレスは、インターネット側から送られてきたデータの宛先ポートが不明な場合に、そのデータが転送されるLAN上のIPアドレスです。ここで設定されたIPアドレスの機器でのみ、ネットワークゲームなどを利用できます。
- ポート変換の設定で[LAN側IPアドレス]を設定した場合は、そちらの設定が優先されます。
- DMZを使用する場合は、機器側のIPアドレスをここで設定した値に固定する必要があります。
- 使用するソフトや契約しているプロバイダーによっては、DMZを設定してもソフトウェアが動作しない場合があります。
- DMZに設定した機器は、他のパソコンに比べてセキュリティーが低下するため、重要なデータなどをその機器に保存しないことをおすすめします。
- 安全のため、ファイアウォールの設定画面で、「NBTとMicrosoft-DSのルーティングを禁止する」(P62)を有効にしておくことをおすすめします。

以上で設定は完了です。

フレッツ･スクウェア/フレッツ 光ネクスト サービス情報サイトの設定をする

本製品のPPPoEマルチセッション機能を使用して、1つの回線契約でプロバイダーとフレッツ･スクウェア/フレッツ 光ネクスト サービス情報サイトに同時に接続するには、以下の設定を行ってください。

1 「設定画面を表示する」(P17)を参照して、本製品の設定画面を表示します。

2

3 回線の自動判別が行われますので、画面が切り替わるまで、しばらく待ちます。

4 「自分で設定を行う」をクリックします。

5 「手動で設定を行う(ルーターモードON)」をクリックします。

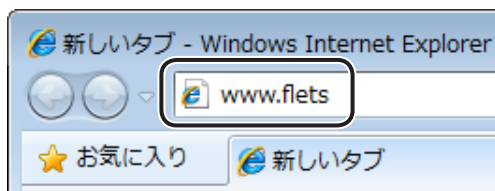
6 「パスワード、ユーザー名を指定してPPPoE接続を行う」をクリックします。

7 「フレッツ・スクウェア接続」または「フレッツ 光ネクスト サービス情報サイト」にて、NTT東日本またはNTT西日本を選択して[進む]をクリックします。

メモ NTT西日本向けのフレッツ・スクウェアは、2011年12月28日をもってサービス終了となりました。

8 画面に「接続成功です」と表示されたら、[設定完了]をクリックします。

9 Webブラウザーを起動します。

10 フレッツ・スクウェアの場合は、アドレス欄に「www.flets」と入力して、Enterキーを押します。
フレッツ 光ネクスト サービス情報サイトの場合は、アドレス欄に「v4flets-east.jp」(NTT東日本向け)または「v4flets-west.jp」(NTT西日本向け)と入力して、Enterキーを押します。

11 フレッツ・スクウェアまたはフレッツ 光ネクスト サービス情報サイトが表示されます。

以上で設定は完了です。

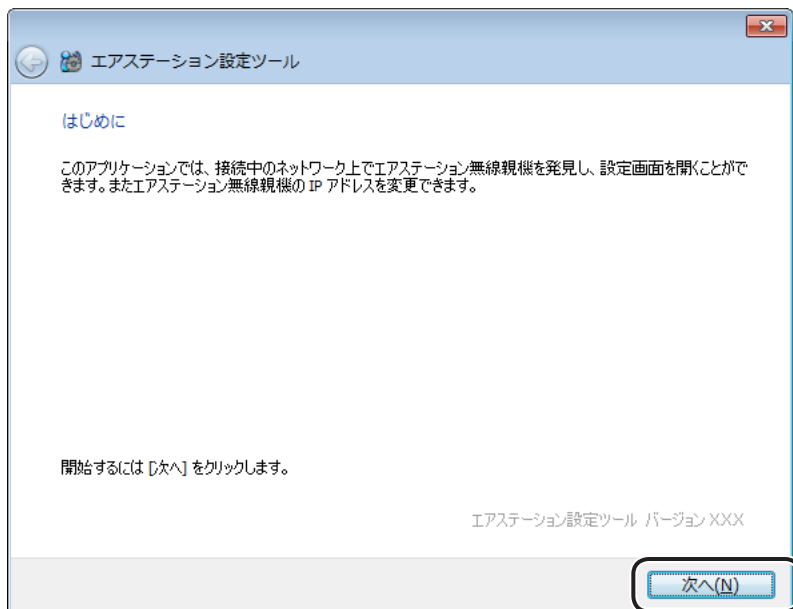
本製品のIPアドレスを変更する

本製品に付属のエアステーション設定ツールを使用すると、本製品のIPアドレスをかんたんに変更することができます。ここでは、エアステーション設定ツールを使ったIPアドレスの変更方法について説明します。

Windows 7/Vista/XPをお使いの場合

メモ
- エアステーション設定ツールがインストールされていない場合は、「エアステーション設定ツールのインストール」（P16）を参照してインストールしてください。
- 本製品のIPアドレスは、設定画面（P40）からも変更できます。

1 [スタート]－[すべてのプログラム]－[BUFFALO]－[エアステーションユーティリティ]－[エアステーション設定ツール]を選択します。

2 [次へ]をクリックします。

メモ パソコンに複数のネットワークアダプタが搭載されている場合、「２つ以上のネットワーク接続がつながっています」というメッセージが表示されます。その場合は、使用していないネットワークアダプタを取り外すか無効にしてから[再実行]をクリックしてください。

3 以下の画面が表示されたら、本製品を選択して、[次へ]をクリックします。

メモ 本製品のMACアドレスは、本製品本体のラベルで確認できます。

4 [この無線親機のIPアドレスを設定する]をクリックします。

メモ 本製品とパソコンのIPセグメントが異なる場合は、「このパソコンのIPアドレス設定」という画面が表示されます。画面の指示に従ってIPアドレスを設定してください。

5 新しく設定するIPアドレスを入力して[次へ]をクリックします。

メモ
- 本製品に管理パスワード(P81)が設定されている場合は、次の画面で管理パスワードを入力してください。
- 本製品とパソコンのIPセグメントが異なる場合は、「入力したアドレスは、ネットワークセグメントがこのパソコンと異なります」という画面が表示されます。設定を続ける場合は、[はい]をクリックしてください。

6 本製品に設定されているパスワード(出荷時状態では「password」)を入力し、[次へ]をクリックします。

7 [完了]をクリックします。

以上で設定は完了です。

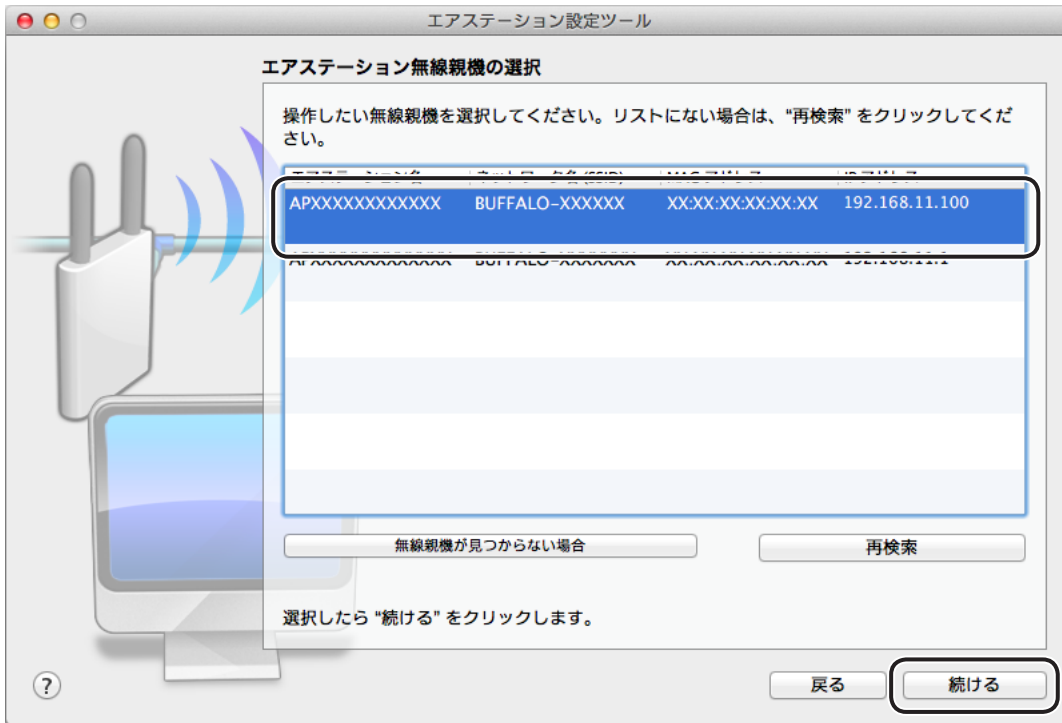
Mac OS Xをお使いの場合

ここでは、Mac OS X 10.7の場合を例に説明します。

1 エアステーション設定ツールを実行します。

メモ エアステーション設定ツールがお手元にない場合は、「エアステーション設定ツールのインストール」(P16)を参照して当社ホームページからダウンロードしてください。

2 [続ける]をクリックします。

4 以下の画面が表示されたら、本製品を選択して、[続ける]をクリックします。

メモ 本製品のMACアドレスは、本製品本体のラベルで確認できます。

3 [この無線親機のIPアドレスを設定する]をクリックします。

5 新しく設定するIPアドレスを入力して[続ける]をクリックします。

メモ
- 本製品に管理パスワード(P81)が設定されている場合は、次の画面で管理パスワードを入力してください。
- 本製品とMacのIPセグメントが異なる場合は、「入力したアドレスは、ネットワークセグメントがこのMacと異なります」という画面が表示されます。設定を続ける場合は、[無視して続ける]をクリックしてください。

6 本製品に設定されているパスワード（出荷時状態では「password」）を入力し、[続ける]をクリックします。

7 [終了]をクリックします。

以上で設定は完了です。

Bフレッツなどで固定IPサービスを利用する(IP Unnumbered)

本製品は、IP Unnumbered機能に対応しています。IP Unnumbered機能を使用することで、プロバイダーから配布された複数のグローバルIPアドレスを本製品に接続した機器で使用できます。ここでは例として、以下の場合の設定例を説明します。

例:プロバイダーから「123.45.67.8(サブネットマスク255.255.255.248)」(固定IPアドレス8個)というIPアドレスが割り当てられた場合

プロバイダーから配布された複数のグローバルIPアドレスを本製品に接続した機器で使用できます。ここでは例として、以下の場合の設定例を説明します。

Internet側アドレス(自動設定)　123.45.67.8(ネットワークアドレス)

LAN側アドレス(手動設定)　123.45.67.9(ゲートウェイ)

1台目のパソコン(手動設定)　123.45.67.10(グローバルIPアドレス)

・

・

5台目のパソコン(手動設定)　123.45.67.14(グローバルIPアドレス)

ブロードキャストアドレス　123.45.67.15(ブロードキャストアドレス)

サブネットマスク　255.255.255.248

メモ　プロバイダーから送られてきた資料をよくお読みのうえで設定してください。

1　「設定画面を表示する」(P17)を参照して、本製品の設定画面を表示します。

2　「Internet/LAN」をクリックします。

TOP　Internet/LAN　無線設定　セキュリティー　ゲーム&アプリ　NAS　管理設定　ステータス
かんたん設定&基本情報　ログアウト　マニュアル/アプリ

3 「IP Unnumberedを使用する」を選択し、[設定]をクリックします。

4 設定が保存されたら[PPPoE]をクリックします。

5 「PPPoE接続先リスト」欄にある、[接続先の編集]をクリックします。

6　接続先を登録し、[新規追加]をクリックします。

メモ　プロバイダーから送られてきた資料をよくお読みのうえで設定してください。

7　接続先が登録されたら、[編集を終了して前の画面へ戻る]をクリックします。

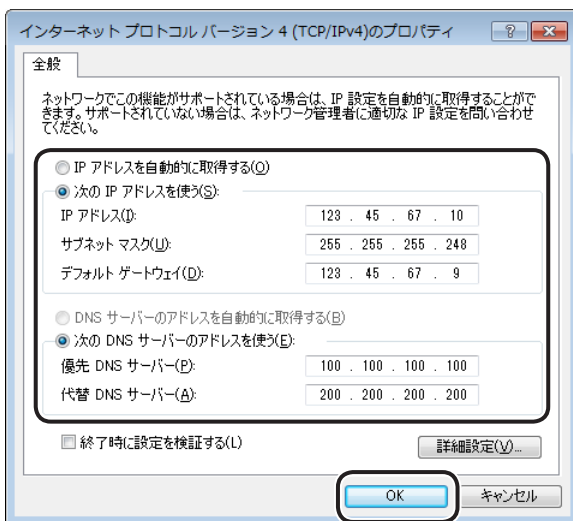
8 「IP Unnumbered使用時の接続先」を選択して、[設定]をクリックします。

9 設定が保存されたら[LAN]をクリックします。

10 本製品のLAN側IPアドレス(IP Unnumbered用)の設定をして、[設定]をクリックします。

メモ　プロバイダーから送られてきた資料をよくお読みのうえで設定してください。

11 「LAN側IPアドレスを変更します」と表示されたら、[設定]をクリックします。

12 プロバイダーから送られてきた資料を参照して、本製品に接続するパソコンのIPアドレスを設定します。

以上で設定は完了です。

ルーター機能を停止する

本製品のルーター機能を使用しないで、アクセスポイントとして使用する場合は、以下の手順で行います。

メモ 本製品のルーター機能をOFFにすると、本製品のIPアドレスが「192.168.11.100」に変更されます。また、以下の機能が無効になりますのでご注意ください。

・データ通信カード機能
・PPTPサーバー機能
・DHCPサーバー(IPアドレス自動割当)機能
・静的IPマスカレード(アドレス変換)機能
・パケットフィルター機能
・PPPoEマルチセッション機能
・IP Unnumbered機能

1 **WZR-450HP/WZR-300HP/WZR-600DHPをお使いの場合は、本製品背面のROUTERスイッチを「OFF」にして、前面のROUTERランプが消灯することを確認します。**

WZR-D1100Hをお使いの場合は、本製品背面のROUTERボタンを押して、前面のROUTERランプが消灯することを確認します。(消灯しない場合は、もう一度ROUTERボタンを押してください)

2 **本製品に接続している機器を再起動します。**

以上で設定は完了です。

本製品のファームウェアバージョンを確認する

本製品のファームウェアのバージョンは、以下の手順で確認できます。

1 「設定画面を表示する」(P17)を参照して、本製品の設定画面を表示します。

2 「ステータス」をクリックします。

TOP | Internet/LAN | 無線設定 | セキュリティー | ゲーム&アプリ | NAS | 管理設定 | ステータス

かんたん設定&基本情報

ログアウト

マニュアル/アプリ

3 ファームウェアのバージョンを確認します。

製品名	XXXXXXXXX Ver.X.XX (RX.XX/BX.XX)
エアステーション名	APXXXXXXXXXXXX
本体モード切り替えスイッチ状態	ROUTERモード

メモ 製品名欄の「Ver.x.xx」の部分がファームウェアのバージョンです。

Chapter 4 - 各種ソフトウェアの使いかた

本章では、本製品に対応した各種ソフトウェアの使いかたについて説明します。

エアステーション設定ツールの使いかた

エアステーション設定ツールは、本製品の設定画面の表示や本製品のIPアドレスを変更できるソフトウェアです。ご使用方法は、以下のページを参照してください。

設定画面の表示（Windows）：　P17
設定画面の表示（Mac）：　P20

IPアドレスの設定（Windows）：　P148
IPアドレスの設定（Mac）：　P152

LAN端子用無線子機設定ツールの使いかた

LAN端子用無線子機設定ツールの起動

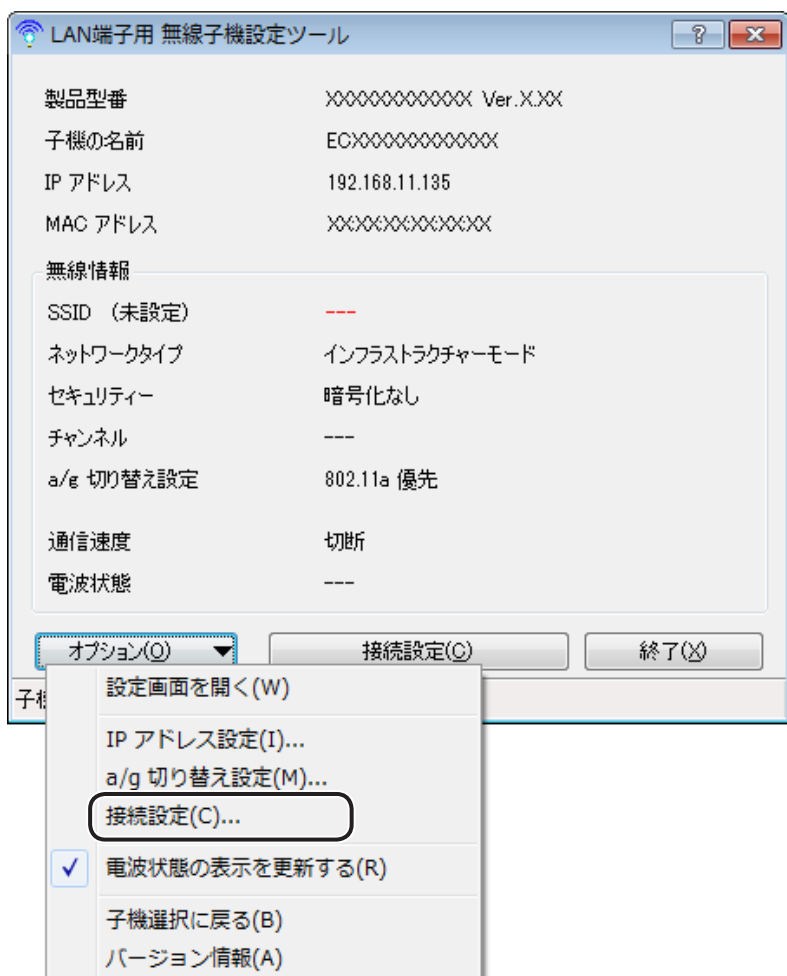
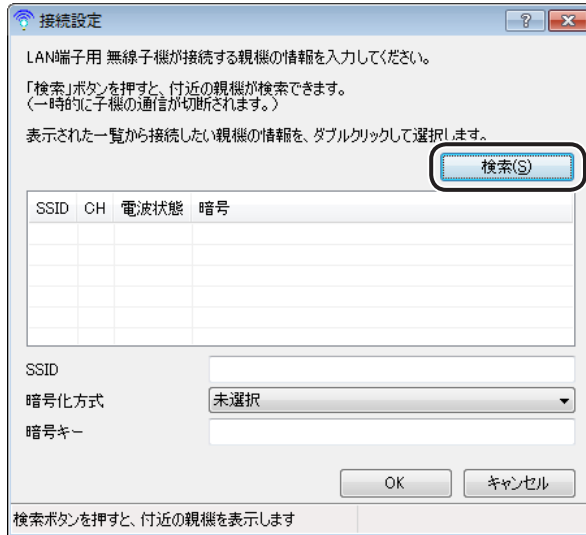
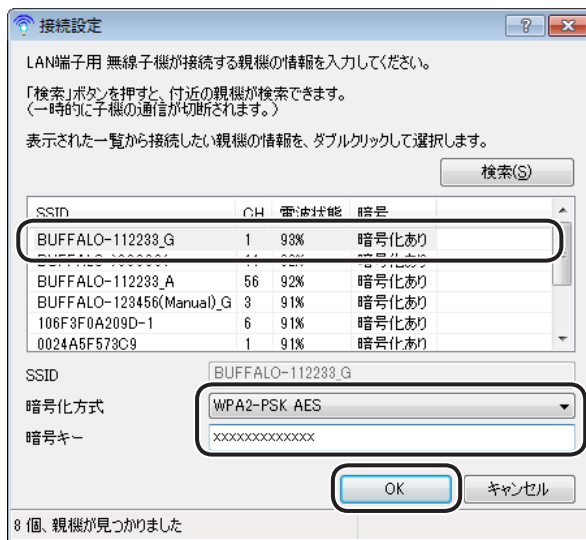
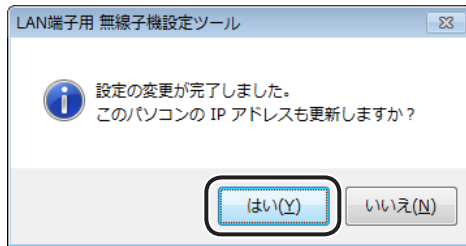
LAN端子用無線子機設定ツールは、スタートメニューより、[スタート]－[すべてのプログラム]－[BUFFALO]－[エアステーションユーティリティ]－[LAN端子用無線子機設定ツール]を選択すると起動できます。

パソコンに複数のLAN端子がある場合は、設定ツール起動時にLANアダプターの選択画面が表示されますので、その画面でお使いのLANアダプターを選択して、[選択]をクリックしてください。

LAN端子用無線子機の設定によっては、設定ツール起動時にパスワードの入力画面が表示されます。LAN端子用無線子機に設定されているパスワード（出荷時設定は未設定または「password」）を入力して、[OK]をクリックしてください。

LAN端子用無線子機を本製品に接続する

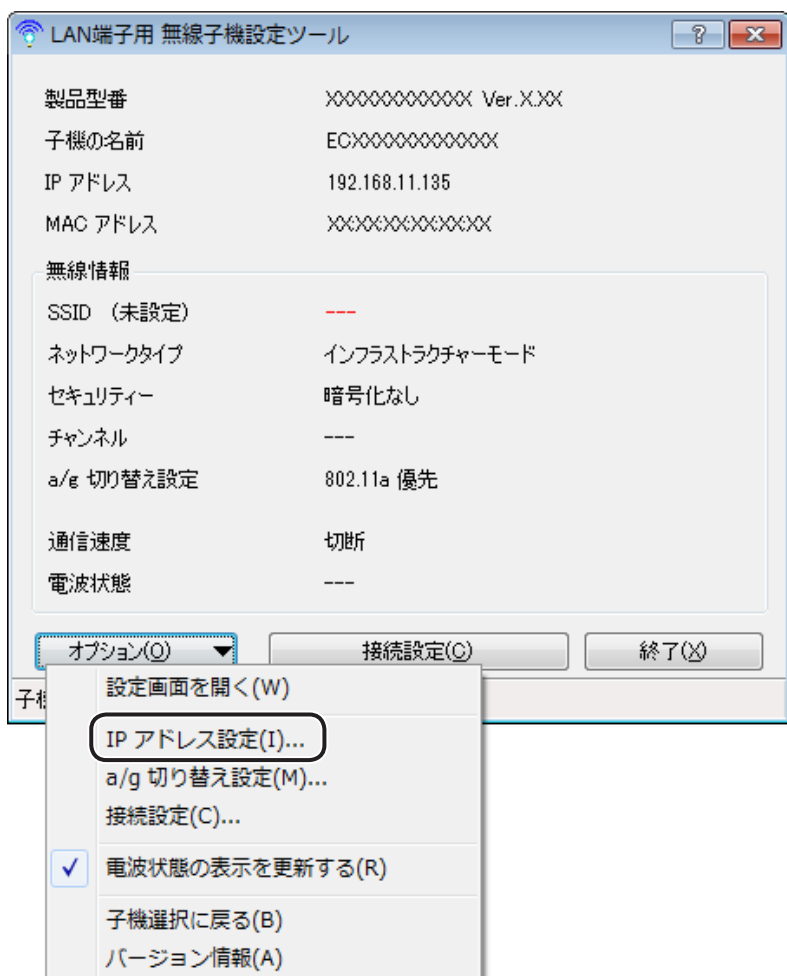
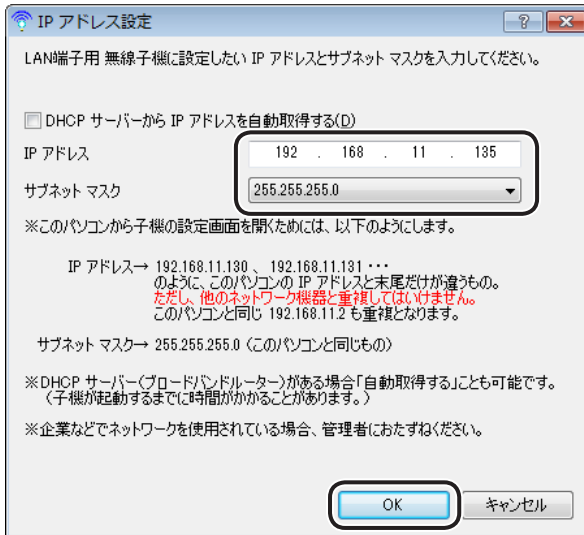
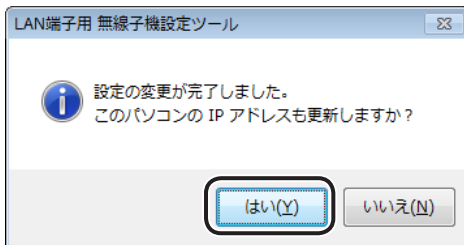
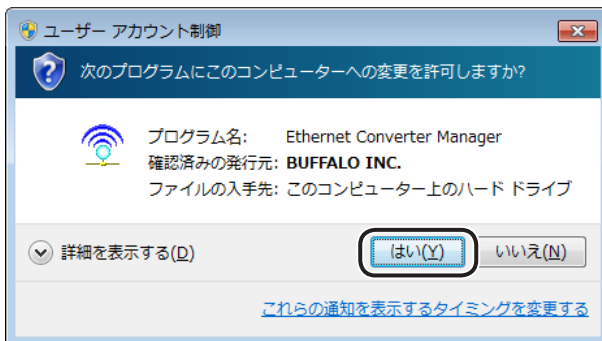
1 「LAN端子用無線子機設定ツールの起動」(P164)を参照して、LAN端子用無線子機設定ツールを起動します。

2 [接続設定]をクリックします。

3 [検索]をクリックします。

4 接続先の無線親機をダブルクリックして選択し、無線親機の暗号化方式と暗号キーを入力して、[OK]をクリックします。

5 [はい]をクリックします。

6 以下のような画面が表示された場合は、[はい]または[続行]をクリックします。

以上で設定は完了です。

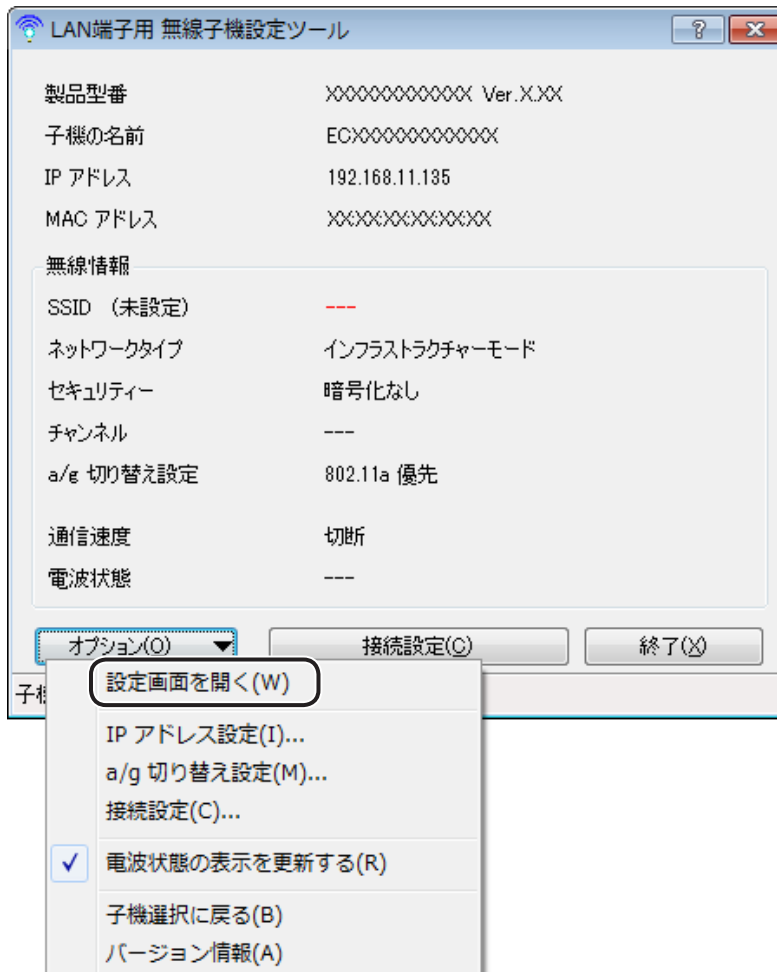
LAN端子用無線子機のIPアドレスを設定する

1 「LAN端子用無線子機設定ツールの起動」(P164)を参照して、LAN端子用無線子機設定ツールを起動します。

2 [IPアドレス設定]をクリックします。

3 LAN端子用無線子機のIPアドレスを入力して、[OK]をクリックします。

4 [はい]をクリックします。

5 以下のような画面が表示された場合は、[はい]または[続行]をクリックします。

以上で設定は完了です。

LAN端子用無線子機の設定画面を表示する

1 「LAN端子用無線子機設定ツールの起動」(P164)を参照して、LAN端子用無線子機設定ツールを起動します。

2 [設定画面を開く]をクリックします。

メモ 「対象の子機とこのパソコンのネットワークアドレスが異なっているので、正しく設定画面を表示できない可能性があります。」という画面が表示された場合は、[OK]をクリックしてください。次の画面で、「DHCPサーバーからIPアドレスを自動取得する」にチェックマークを付けて、[OK]をクリックしてください。

3 ログイン画面が表示されたら、LAN端子用無線子機のユーザー名とパスワード(出荷時設定では「root」/空欄、または「admin」/「password」)を入力して、[OK]をクリックします。

4 LAN端子用無線子機の設定画面が表示されます。

以上で設定は完了です。

AirStation倍速設定ツールの使いかた

本製品や当社製無線子機の倍速モードの有効/無効をかんたんに切り替えることができるソフトウェアです。使用方法は以下の手順を参照してください。

1 AirStation倍速設定ツールを起動します。
([スタート]－[すべてのプログラム]－[BUFFALO]－[エアステーションユーティリティ]－[AirStation倍速設定ツール]を選択します)

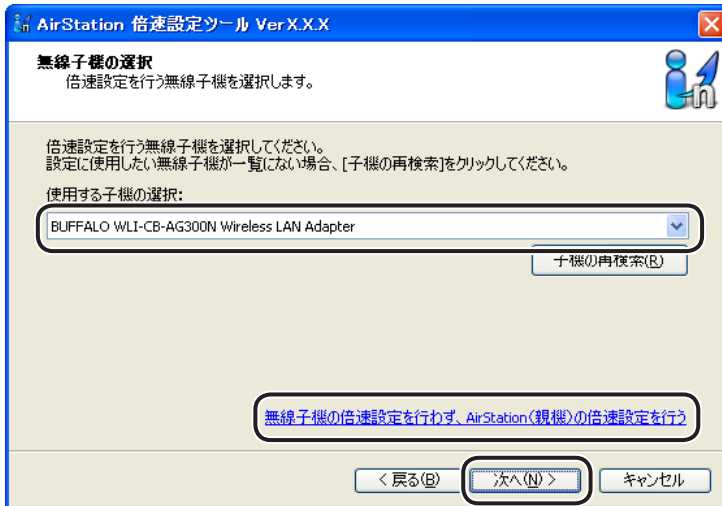
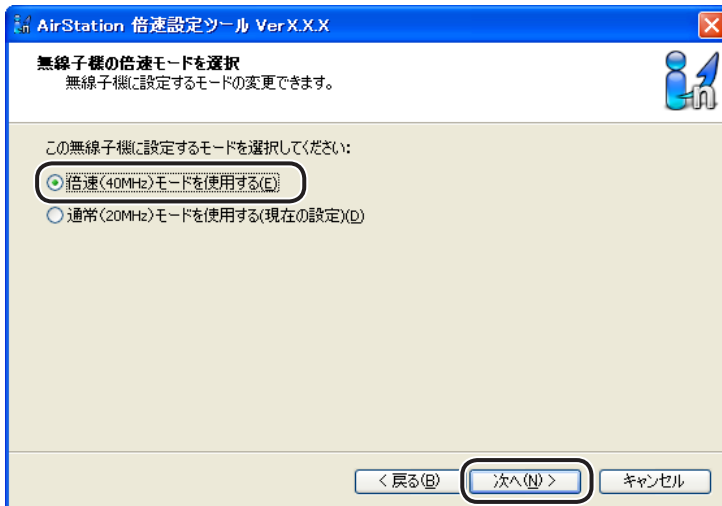
メモ AirStation倍速設定ツールがインストールされていない場合は、以下のホームページよりダウンロードして、最新版をインストールしてください。

WZR-450HP ：http://d.buffalo.jp/wzr-450hp/
WZR-300HP ：http://d.buffalo.jp/wzr-300hp/
WZR-600DHP ：http://d.buffalo.jp/wzr-600dhp/
WZR-D1100H ：http://d.buffalo.jp/wzr-d1100h/

2 [次へ]をクリックします。

3 倍速設定に関する注意事項が表示されますので、内容を確認して[次へ]をクリックします。

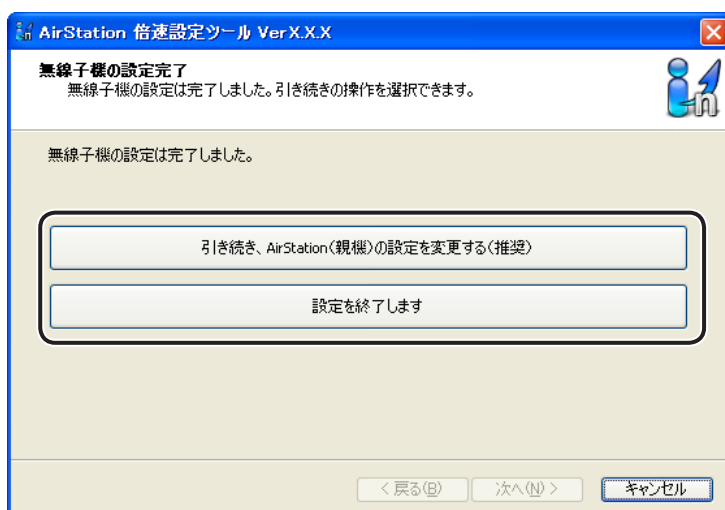
4 当社製無線子機の倍速設定を行う場合は、お使いの当社製無線子機が表示されていることを確認して[次へ]をクリックします。

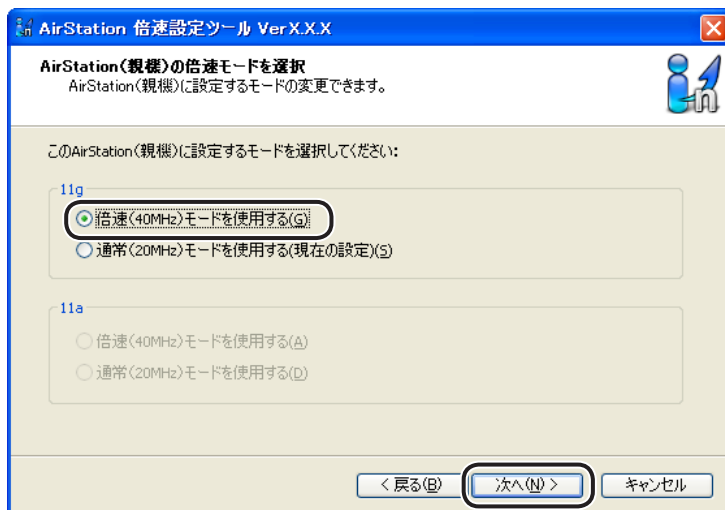
子機の倍速設定は行わず、本製品のみ倍速設定を行う場合は、「無線子機の倍速設定を行わず、AirStation(親機)の倍速設定を行う」をクリックして、手順８へ進んでください。

5 「倍速(40MHz)モードを使用する」を選択して[次へ]をクリックします。

メモ 倍速設定を戻に戻す場合は、「通常(20MHz)モードを使用する」を選択して[次へ]をクリックしてください。

6 設定が完了するまでしばらく待ちます。

7 この画面が表示されたら、無線子機の設定は完了です。

続けて本製品の倍速設定も行う場合は、[引き続き、AirStation(無線親機)の設定を変更する]をクリックして、手順8へ進んでください。

無線子機だけの設定で終了する場合は、[設定を終了します]をクリックしてください。

メモ 無線親機のパスワードの入力が求められた場合は、設定画面のパスワード(出荷時は「password」)を入力してください。

8 「倍速(40MHz)モードを使用する」を選択して[次へ]をクリックします。

メモ 倍速設定を戻に戻す場合は、「通常(20MHz)モードを使用する」を選択して[次へ]をクリックしてください。

9 設定が完了するまでしばらく待ちます。

10 「倍速設定は正常に終了しました」と表示されたら、[完了]をクリックします。

以上で設定は完了です。

デバイスサーバー設定ツールの使いかた

本製品のUSB端子につないだプリンターをネットワーク内の各パソコンから使用するためのソフトウェアです。ご使用方法は、当社ホームページ掲載のマニュアルを参照してください。

メモ デバイスサーバー設定ツールは、WZR-600DHPには対応しておりません。

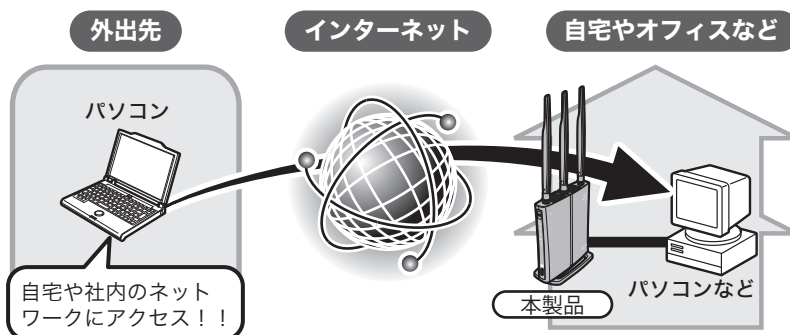
デバイスサーバー設定ツールの使いかた：

http://buffalo.jp/download/manual/html/35011809-01/manual.html

Chapter 5 - PPTPサーバー機能

本章では、外出先から自宅や社内のネットワークにアクセスするためのPPTPサーバー機能について説明します。

PPTPサーバー機能とは

PPTPサーバー機能を使用すると、外出先から自宅や社内のネットワークにアクセスできるようになります。
例えば、外出先から社内のファイルサーバーに保存しているデータを取り出したり、自宅のパソコンを遠隔操作したりすることができます。

メモ
・PPTPサーバー機能を使用する際、ダイナミックDNSをご利用いただくことを推奨します。ダイナミックDNSの設定については、「外出先から接続するための準備をする」(P178)を参照してください。

・以下の環境ではPPTPサーバー機能を使用できません。

プロバイダーから割り当てられるIPアドレスがプライベートIPアドレスの場合
本製品がブリッジモード（ルーター機能OFF）で動作している場合
ルーター機能を内蔵したモデム等に本製品を接続して使用する場合（※）

※ モデムのルーター機能を無効にするなど、設定を変更すると、PPTPサーバー機能が使用できる場合があります。

外出先から接続するための準備をする

外出先から接続するための準備をします。
ここでは「BUFFALOダイナミックDNSサービス」(有料)を使った方法を例に説明します。

メモ 本製品では、「BUFFALOダイナミックDNSサービス」以外に、「DynDNS」(無料)、「TZO」(無料)がご利用いただけます。「DynDNS」や「TZO」をご利用いただく場合は、以下の設定を行う前に、これらのサービスへの登録を完了させておいてください。

詳細は、各サービスのホームページを参照してください。

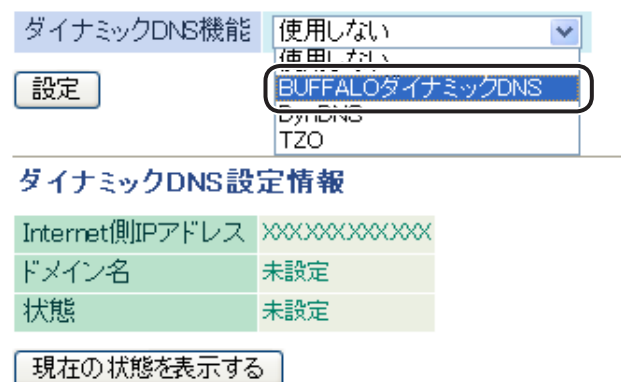
DynDNS： http://dyn.com/dns/
TZO　　： http://www.tzo.com/

1 「設定画面を表示する」(P17)を参照して、本製品の設定画面を表示します。

2 「Internet/LAN」をクリックします。

3 「DDNS」をクリックします。

TOP　Internet/LAN　無線設定　セキュリティー　ゲーム&アプリ　NAS　管理設定　ステータス
Internet　PPPoE　データ通信カード　DDNS　PPTPサーバー　LAN　DHCPリース　アドレス変換　経路情報　ログアウト　マニュアル/アプリ

4 ダイナミックDNS機能で「BUFFALOダイナミックDNS」を選択します。

メモ DynDNSやTZOを使用する場合は、DynDNSやTZOへの登録をあらかじめ行ってから、ここで指定してください。

5 BUFFALOダイナミックDNSサービスを使用する場合は、[登録/設定変更を行う]をクリックし、画面に従って登録/設定変更を行います。

DynDNSやTZOを使用する場合は、「ユーザー名」、「Emailアドレス」、「パスワード」、「TZOキー」、「ホスト名」、「ドメイン名」、「IPアドレス更新周期」などを設定し、[設定]をクリックします。

メモ
・BUFFALOダイナミックDNSサービスは、1ヶ月間の無料トライアル期間があります。
・登録後、[登録情報を削除する]をクリックすると、BUFFALOダイナミックDNSサービスの登録情報が削除されます。再度登録するには、登録ユーザーIDとパスワードが必要となります。

6 「PPTPサーバー」をクリックします。

7 PPTPサーバー機能で「使用する」にチェックマークをつけ、[設定]をクリックします。

LAN側IPアドレスが「192.168.11.1」に設定されている為、
バッファロー製ルーターに接続されたパソコンからアクセスする際、
LAN内のパソコンにアクセスできない可能性があります。
LAN側IPアドレス、及び、割り当てIPアドレスの変更をお勧めします。

自動入力	[お勧めの値を入力する]
LAN側IPアドレス	IPアドレス 192.168.11.1 サブネットマスク 255.255.255.0
DHCPサーバー機能	☑使用する
割り当てIPアドレス	192.168.11.2 から 64 台

PPTPサーバー機能	☑使用する
認証方式	MS-CHAPv2認証(40/128bits暗号鍵)

[拡張設定]

サーバーIPアドレス	◉自動設定 ○手動設定
クライアントIPアドレス	◉自動設定 ○手動設定 から 5 台
DNSサーバーのIPアドレス	◉エアステーションのLAN側IPアドレス ○手動設定 ○通知しない
WINSサーバーのIPアドレス	
MTU/MRU値	1396

[設定]

メモ LAN側IPアドレスが192.168.11.*に設定されていて、外出先でのIPアドレスも192.168.11.*に設定されていると、IPアドレスが重複して自宅や社内のネットワークにアクセスできないことがあります。
このような場合は、「自動入力」で[お勧めの値を入力する]をクリックして本製品のLAN側IPアドレスを変更してください。

8 [PPTP接続ユーザーの編集]をクリックします。

PPTP接続ユーザーの表示

接続ユーザー名	接続状態	IPアドレス	操作
PPTP接続ユーザーは登録されていません			

[PPTP接続ユーザーの編集]

[現在の状態を表示]

9 ユーザー名とパスワードを入力して、[新規追加]をクリックします。

メモ 設定したユーザー名、パスワードは外出先から接続する際に使用します。

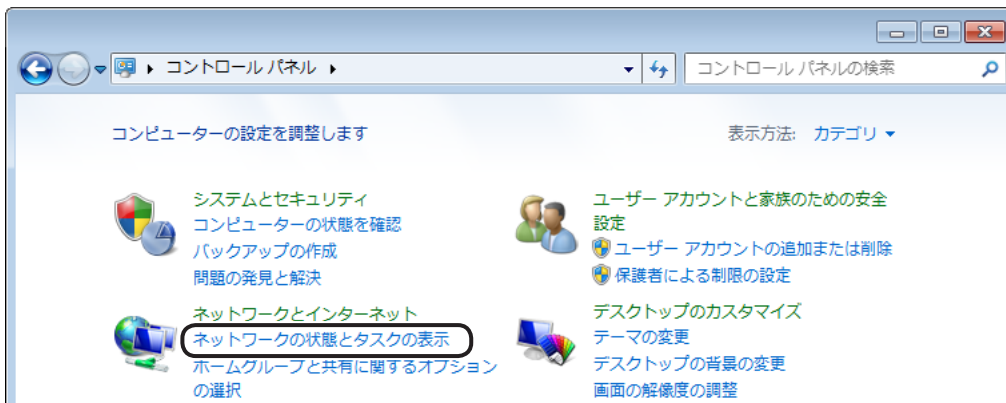
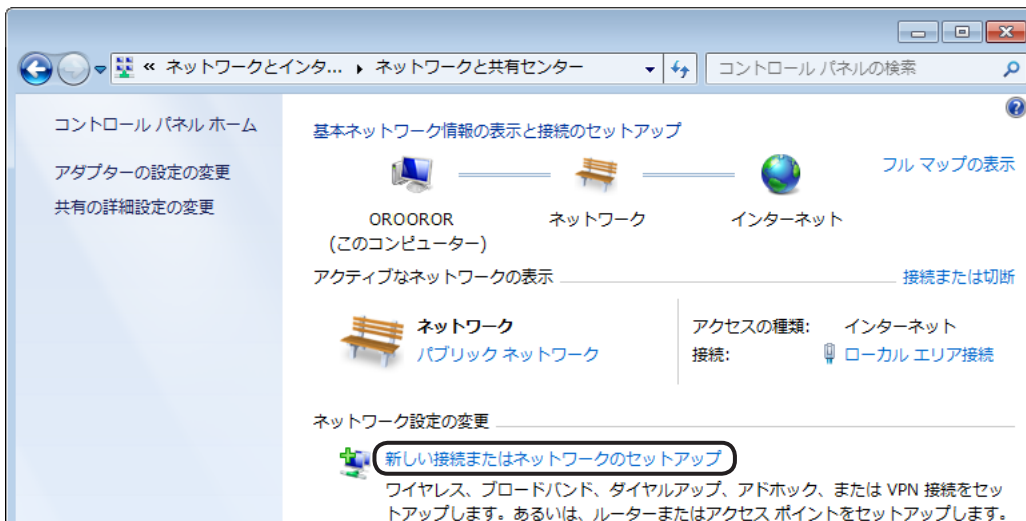
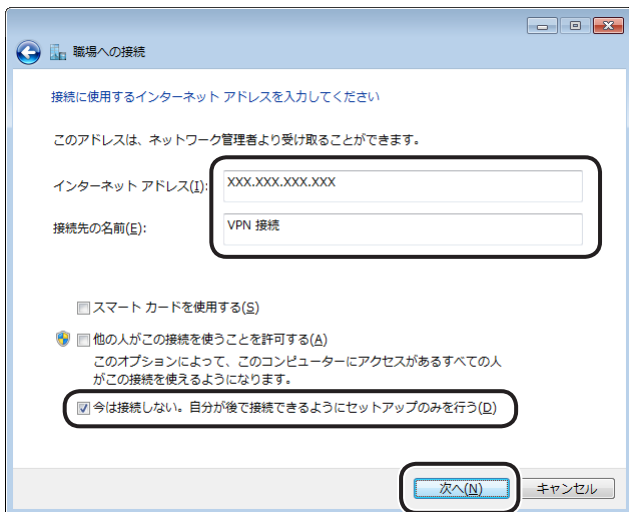
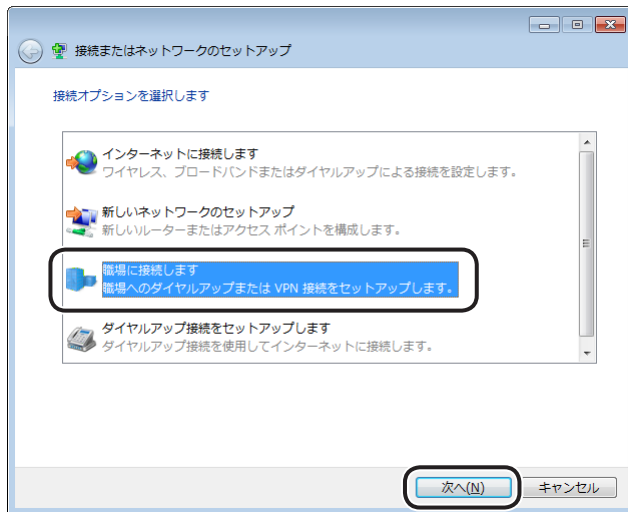
10 ユーザー名とパスワードが追加されたら、[編集を終了して前の画面へ戻る]をクリックします。

以上で設定は完了です。

外出先で使用する機器の設定をする

Windows 7/Vistaをお使いの場合

1 コントロールパネルを表示します。
([スタート]−[コントロールパネル]をクリックします)

2 [ネットワークの状態とタスクの表示]をクリックします。

3 [(新しい)接続またはネットワークのセットアップ]をクリックします。

4 「職場に接続します」を選択して、[次へ]をクリックします。

5 「インターネット接続(VPN)を使用します」をクリックします。

6 ダイナミックDNSサービスで取得したURLと接続先の名前（任意の名称）を入力し、「今は接続しない。自分が後で接続できるようにセットアップのみを行う」にチェックマークをつけて、[次へ]をクリックします。

メモ　バッファロー以外のダイナミックDNSサービスを利用している場合や固定IPアドレスをご利用の場合は、「インターネットアドレス」欄にダイナミックDNSのホスト名やIPアドレスを入力してください。

7 「外出先から接続するための準備をする」の手順９（P181）で設定したユーザー名とパスワードを入力し、[作成]をクリックします。

8 「接続の使用準備ができました」と表示されたら、[閉じる]をクリックします。

以上で設定は完了です。

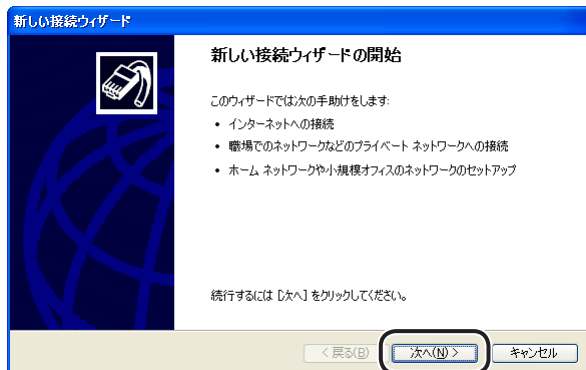
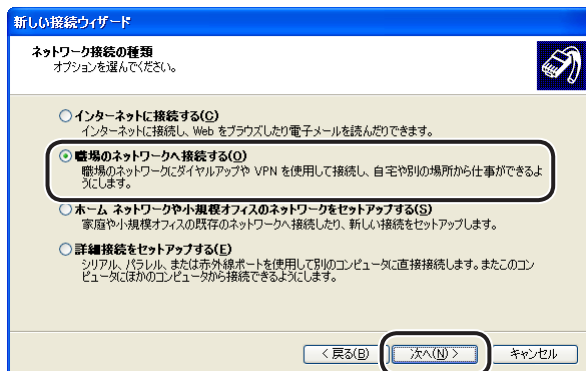
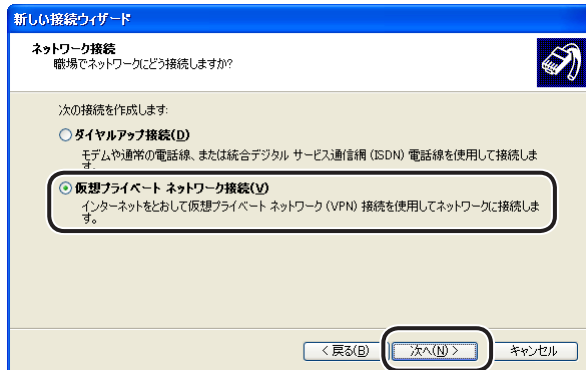
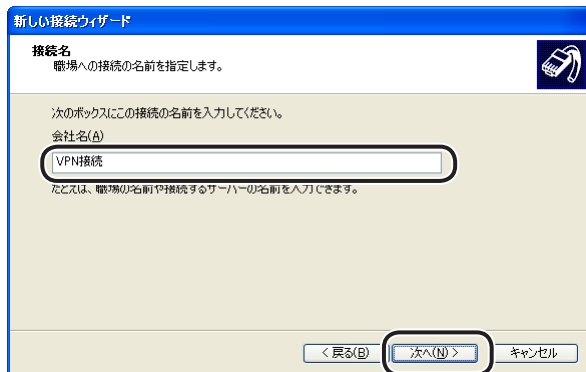
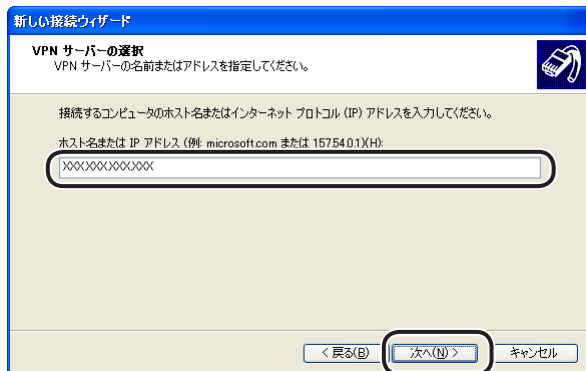
Windows XPをお使いの場合

1 コントロールパネルを表示します。
([スタート]ー[コントロールパネル]をクリックします)

2 [ネットワークとインターネット接続]をクリックします。

3 [ネットワーク接続]をクリックします。

4 [新しい接続を作成する]をクリックします。

5 [次へ]をクリックします。

6 「職場のネットワークへ接続する」を選択して、[次へ]をクリックします。

7 「仮想プライベートネットワーク接続」を選択して、[次へ]をクリックします。

8 「会社名」に任意の名称を入力して、[次へ]をクリックします。

9 ダイナミックDNSサービスで取得したURLを入力して、[次へ]をクリックします。

メモ バッファロー以外のダイナミックDNSサービスを利用している場合や固定IPアドレスをご利用の場合は、「ホスト名またはIPアドレス」欄にダイナミックDNSのホスト名やIPアドレスを入力してください。

10 「新しい接続ウィザードの完了」と表示されたら、[完了]をクリックします。

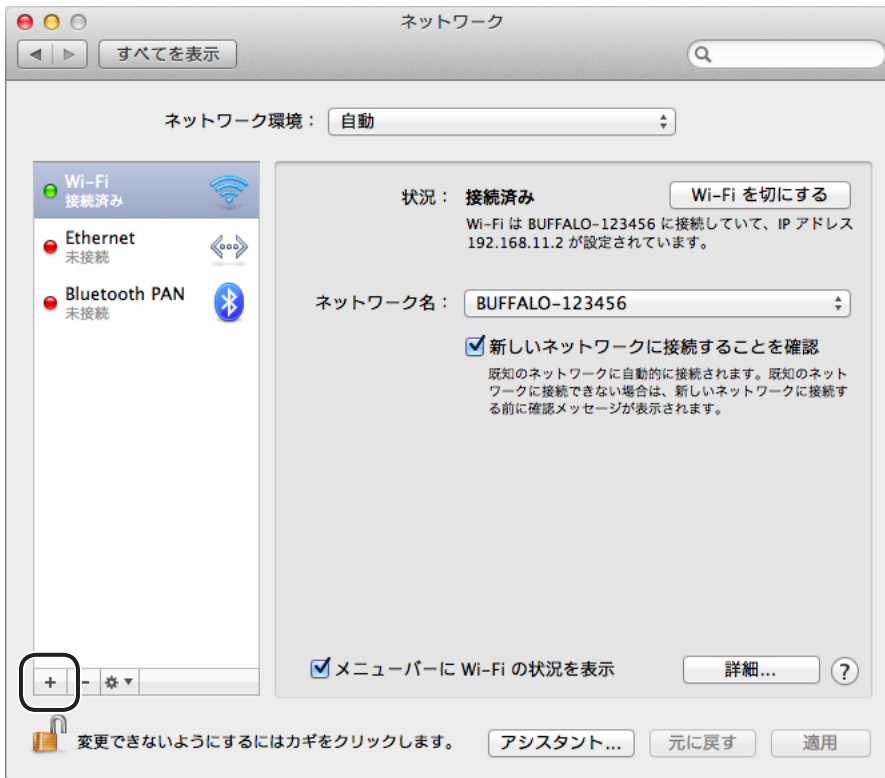
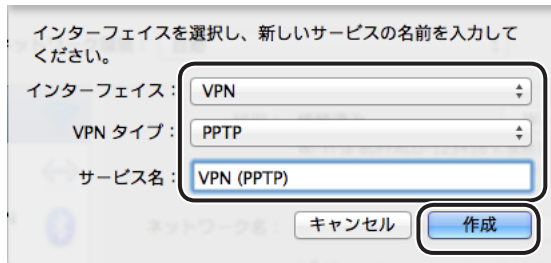
以上で設定は完了です。

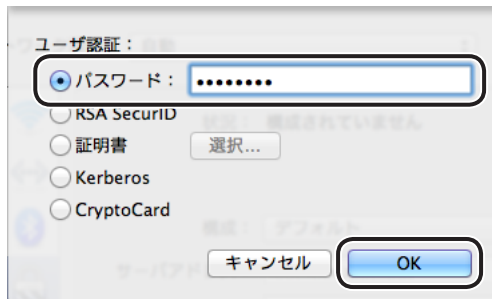
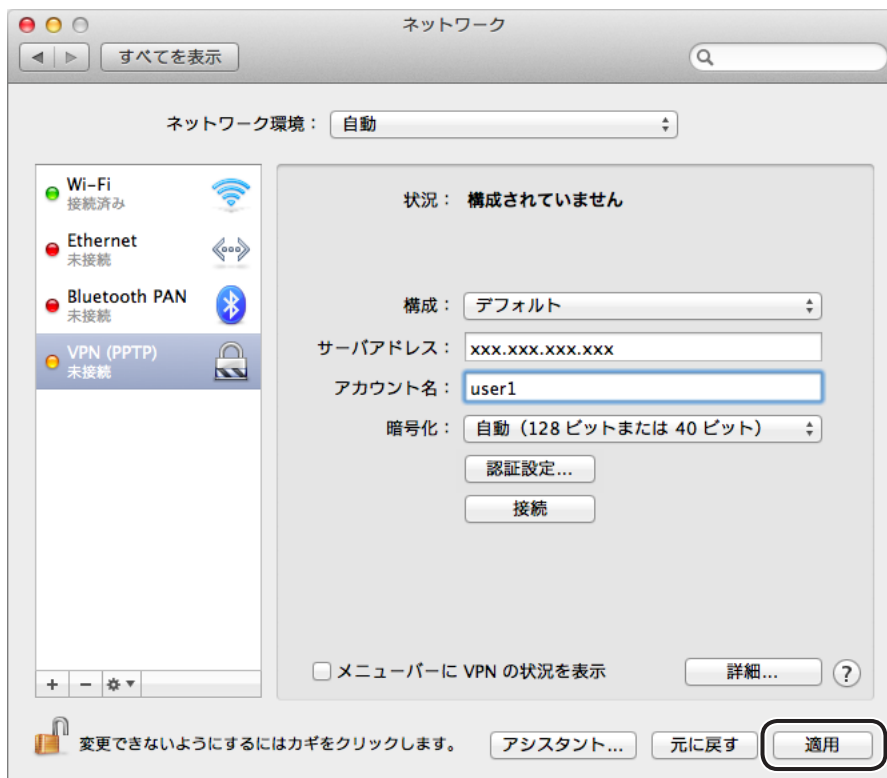
Mac OS Xをお使いの場合

ここでは、Mac OS X 10.7の場合を例に説明します。

1 [アップルメニュー]ー[システム環境設定]をクリックします。

2 「ネットワーク」をクリックします。

3 「+」をクリックします。

4 インターフェイスで「VPN」、VPNタイプで「PPTP」を選択、サービス名に任意の名称を入力して、[作成]をクリックします。

5 サーバアドレスにダイナミックDNSサービスで取得したURLを、アカウント名に「外出先から接続するための準備をする」の手順９（P181）で設定したユーザー名を入力し、[認証設定]をクリックします。

6 パスワードを選択し、「外出先から接続するための準備をする」の手順９（P181）で設定したパスワードを入力して、[OK]をクリックします。

7 [適用]をクリックします。

以上で設定は完了です。

iPad/iPhone/iPod touchをお使いの場合

ここでは、iPadの場合を例に説明します。

1

[設定]をタップします。

2 [一般]ー[ネットワーク]をタップします。

3

[VPN]をタップします。

4

[VPN構成を追加]をタップします。

5 [PPTP]をタップし、説明、サーバ、アカウント、パスワードを設定して[保存]をタップします。

説明:

任意の説明を設定します。

サーバ:

ダイナミックDNSサービスで取得したURLを設定します。

アカウント:

「外出先から接続するための準備をする」の手順９（P181）で設定したユーザー名を設定します。

パスワード:

「外出先から接続するための準備をする」の手順９（P181）で設定したパスワードを設定します。

以上で設定は完了です。

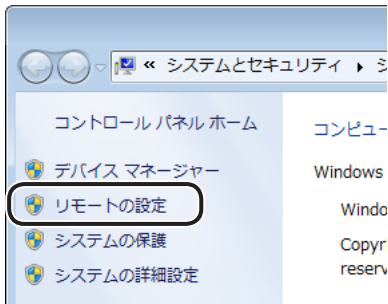
自宅や会社のパソコンを外出先から遠隔操作できるように設定する

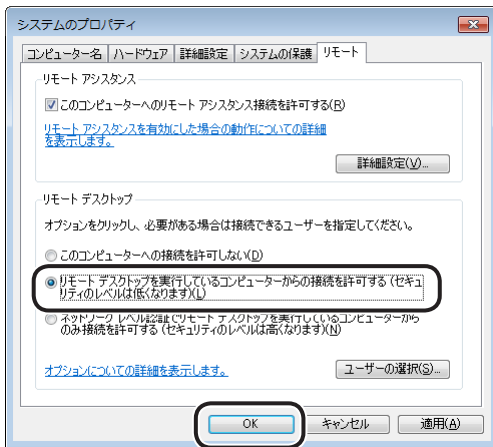
自宅や会社のパソコンを外出先から遠隔操作できるようにするには、パソコン側が同機能に対応している必要があります。ここでは例としてWindows 7/Vista/XP、Mac OS X 10.7の場合の手順を説明しますが、OSのエディション（Home Premium、Ultimateなどの種別）の違いによっては、パソコン側が遠隔操作に対応していないため、下記の通りに設定できない場合があります。あらかじめご了承ください。

Windows 7/Vistaをお使いの場合

1 [スタート]をクリックします。

2 「コンピューター」を右クリックして、「プロパティ」を選択します。

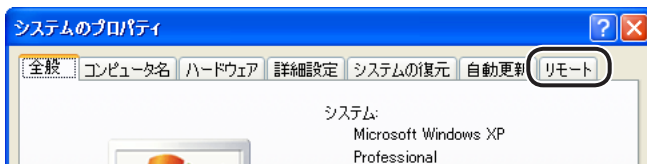
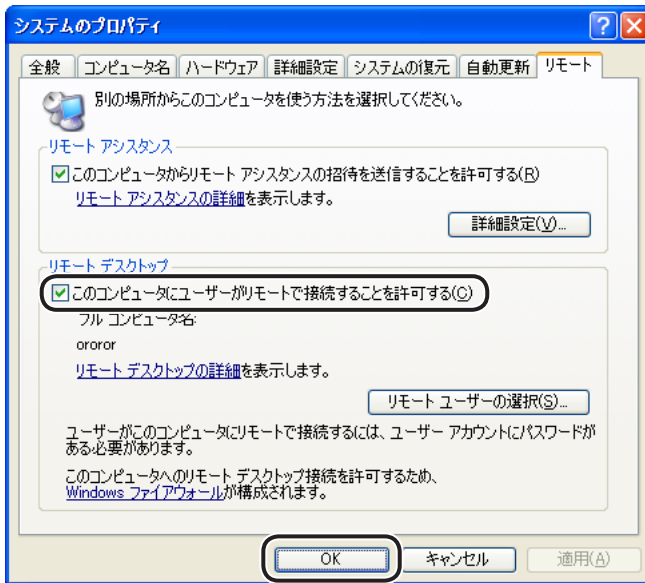
3 [リモートの設定]をクリックします。

メモ 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[はい]または[続行]をクリックします。

4 「リモートデスクトップを実行しているコンピューターからの接続を許可する」を選択し、[OK]をクリックします。

以上で設定は完了です。

Windows XPをお使いの場合

1 [スタート]をクリックします。

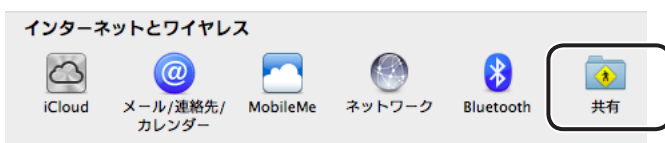
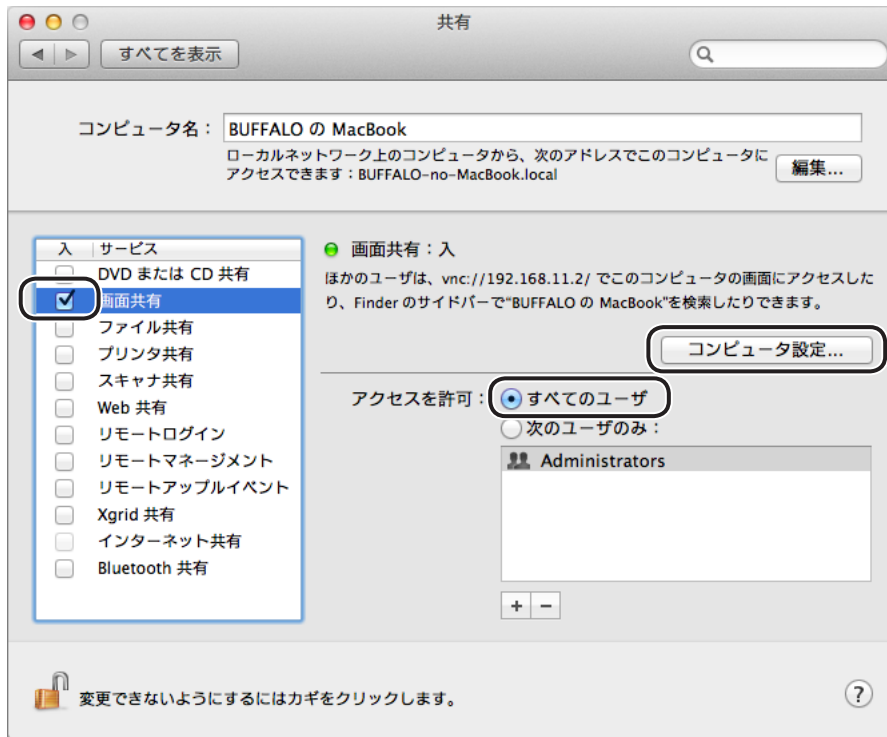
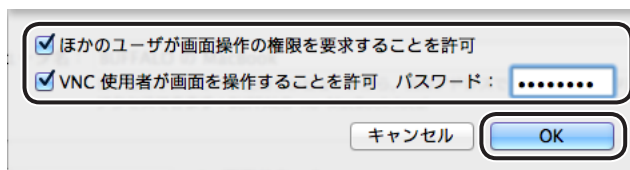
2 「マイコンピュータ」を右クリックして、「プロパティ」を選択します。

3 [リモート]をクリックします。

4 「このコンピュータにユーザーがリモートで接続することを許可する」にチェックマークを付けて、[OK]をクリックします。

以上で設定は完了です。

Mac OS Xをお使いの場合

ここでは、Mac OS X 10.7の場合を例に説明します。

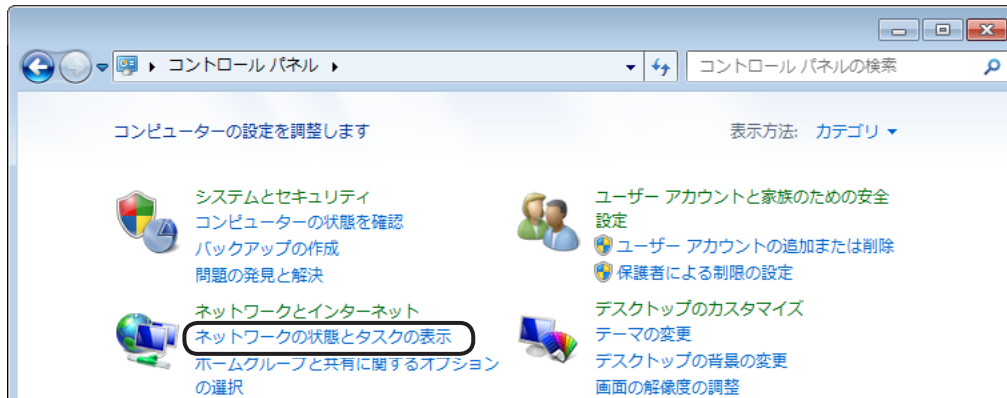
1 [アップルメニュー]－[システム環境設定]をクリックします。

2 「共有」をクリックします。

3 「画面共有」の「入」にチェックマークを付け、「アクセスを許可」を「すべてのユーザ」に設定して、[コンピュータ設定]をクリックします。

4 「ほかのユーザが画面操作の権限を要求することを許可」と「VNC使用者が画面を操作することを許可」にチェックマークを付けて、パスワードを入力し、[OK]をクリックします。

以上で設定は完了です。

外出先から自宅や会社のネットワークに接続する

メモ ここでの操作は外出先から行います。自宅(LAN内)からは接続できません。

Windows 7をお使いの場合

1 コントロールパネルを表示します。
([スタート]ー[コントロールパネル]をクリックします)

2 [ネットワークの状態とタスクの表示]をクリックします。

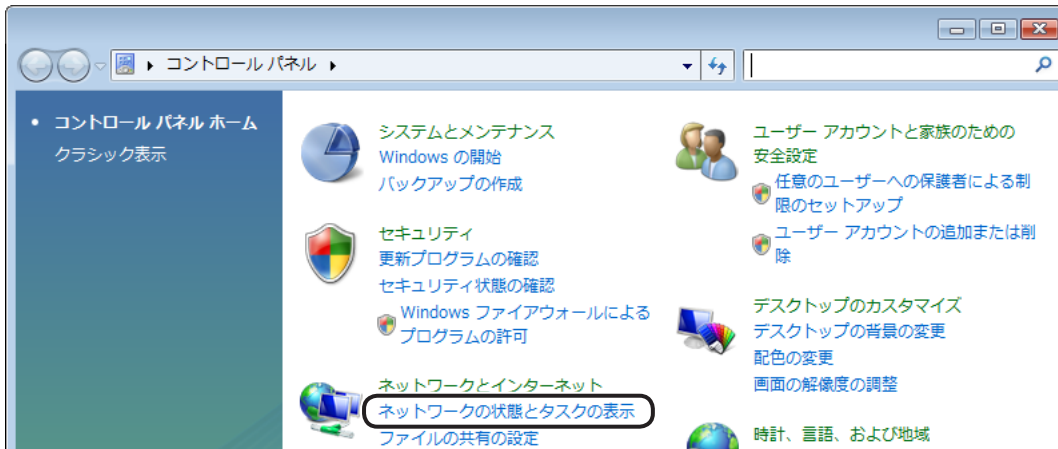
3 [ネットワークに接続]をクリックします。

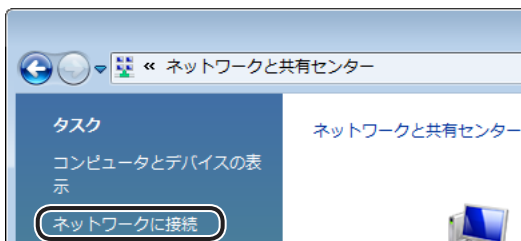
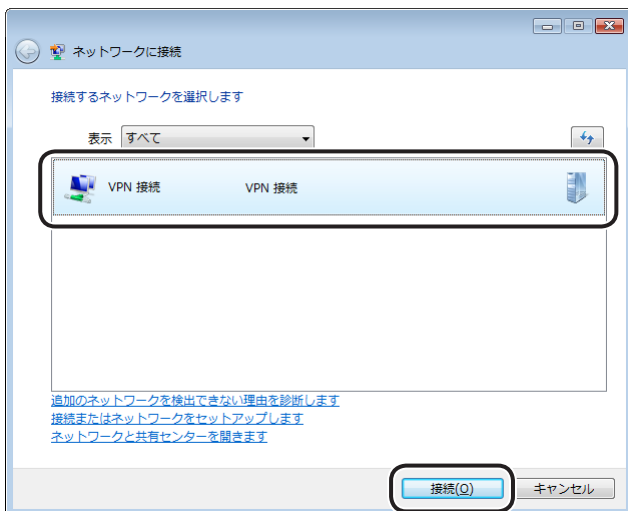
4 「外出先で使用する機器の設定をする」の手順6(P184)で作成した接続先をクリックし、[接続]をクリックします。

5 「外出先で使用する機器の設定をする」の手順7(P184)で登録したユーザー名とパスワードを入力し、[接続]をクリックします。

以上で設定は完了です。

Windows Vistaをお使いの場合

1 コントロールパネルを表示します。
([スタート]−[コントロールパネル]をクリックします)

2 [ネットワークの状態とタスクの表示]をクリックします。

3 [ネットワークに接続]をクリックします。

4 「外出先で使用する機器の設定をする」の手順6（P184）で作成した接続先をクリックし、[接続]をクリックします。

5 「外出先で使用する機器の設定をする」の手順7（P184）で登録したユーザー名とパスワードを入力し、[接続]をクリックします。

以上で設定は完了です。

Windows XPをお使いの場合

1 コントロールパネルを表示します。
([スタート]ー[コントロールパネル]をクリックします)

2 [ネットワークとインターネット接続]をクリックします。

3 [ネットワーク接続]をクリックします。

4 「外出先で使用する機器の設定をする」の手順8(P187)で作成した接続先をダブルクリックします。

5 「外出先から接続するための準備をする」の手順９(P181)で設定したユーザー名とパスワードを入力し、[接続]をクリックします。

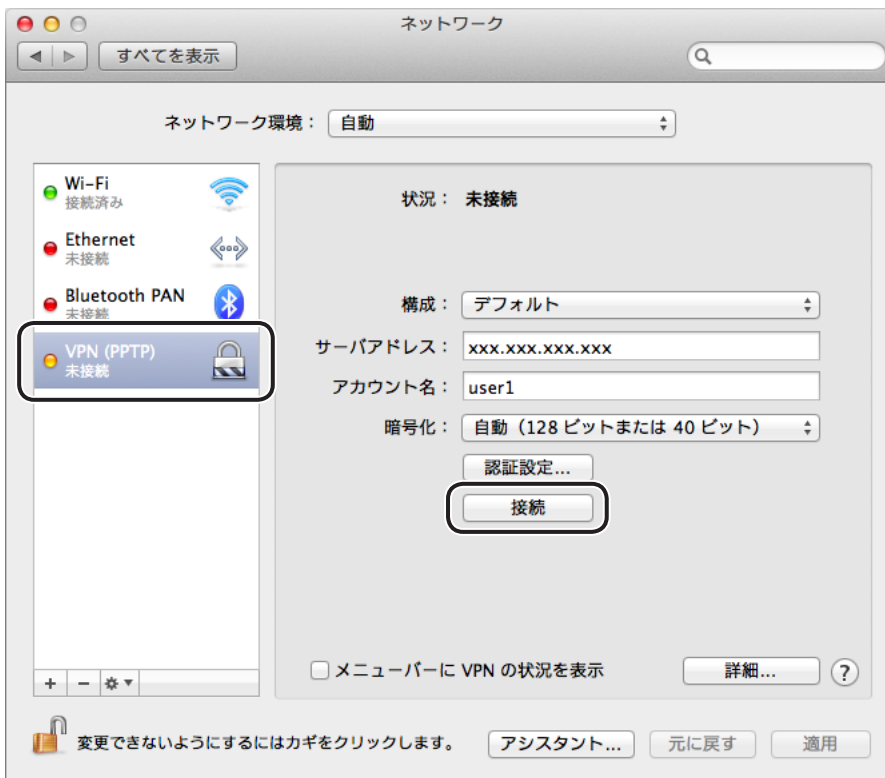
以上で設定は完了です。

Mac OS Xをお使いの場合

ここでは、Mac OS X 10.7の場合を例に説明します。

1 [アップルメニュー]ー[システム環境設定]をクリックします。

2 「ネットワーク」をクリックします。

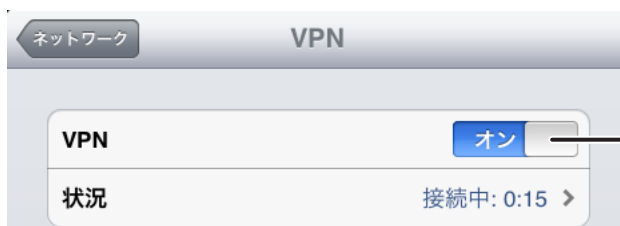
3 「外出先で使用する機器の設定をする」の手順5(P189)で作成した接続先を選択し、[接続]をクリックします。

以上で設定は完了です。

iPad/iPhone/iPod touchをお使いの場合

ここでは、iPadの場合を例に説明します。

1

2 [一般]－[ネットワーク]をタップします。

3

以上で設定は完了です。

外出先から自宅や会社のパソコンを遠隔操作する

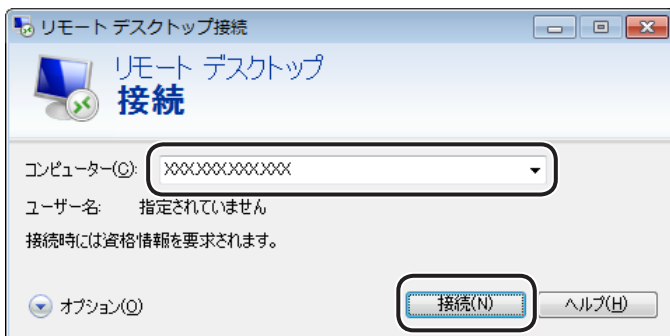
メモ ここでは例として、Windowsパソコン同士、またはMacintosh同士を遠隔操作する方法を説明します。

Windows 7/Vista/XPパソコンから遠隔操作する場合

メモ
- 以下の手順は、Windows 7/Vista/XP用「リモートデスクトップ接続(Terminal Server クライアント 6.0)」を適用した場合の例です。
- 以下の場合は、遠隔操作できないことがあります。あらかじめご了承ください。
    - Windowsのエディション(Home Premium、Ultimateなどの種別)の違いにより、パソコンが遠隔操作に対応していない場合。
    - Windowsログイン時のパスワードが設定されていない場合。
    - セキュリティソフトなどがインストールされており、ファイアウォール機能が有効になっている場合など。

1　「外出先から自宅や会社のネットワークに接続する」(P197)の手順で、外出先から自宅や会社のネットワークに接続します。

2　[スタート]－[(すべての)プログラム]－[アクセサリ]－[リモートデスクトップ接続]をクリックします。

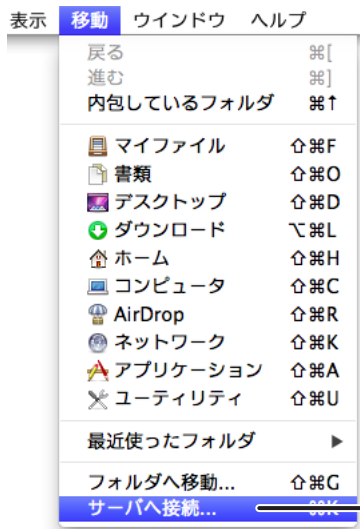
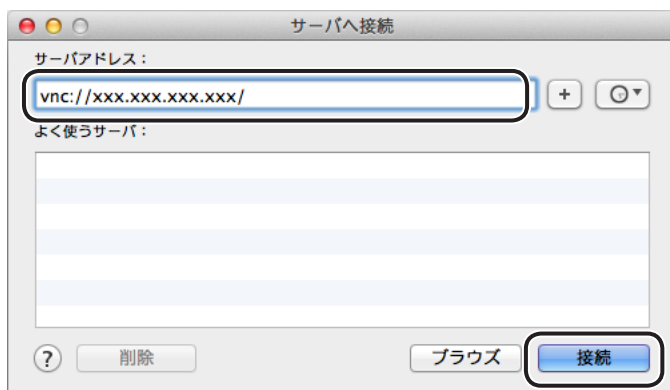
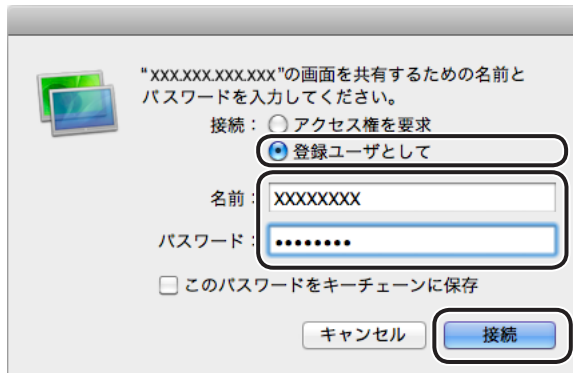
3　操作したいパソコンのIPアドレスを入力して、[接続]をクリックします。

メモ パソコンのIPアドレスが分からない場合は、「ネットワークサービス一覧」画面(P209)からIPアドレスを確認できます。

4 操作したいパソコンに登録されているユーザー名、パスワードを入力して、[OK]をクリックします。接続が完了すると、接続先パソコンのデスクトップが表示されます。

以上で設定は完了です。

Mac OS Xから遠隔操作する場合

ここでは、Mac OS X 10.7の場合を例に説明します。

1

2 サーバアドレス欄に「vnc://遠隔操作対象のMacのIPアドレス/」を入力し、[接続]をクリックします。

3 「登録ユーザとして」を選択し、遠隔操作対象のMacに設定されているユーザー名とパスワードを入力して、[接続]をクリックします。

以上で設定は完了です。

外出先から自宅や会社のファイルサーバーにアクセスする

1 「外出先から自宅や会社のネットワークに接続する」(P197)の手順で、外出先から自宅や会社のネットワークに接続します。

2 Webブラウザーを起動し、アドレス欄に「本製品のIPアドレス/hosts.html」の形式で入力し、[Enter]キーを押します。

3 ネットワークサービス一覧の画面が表示されたら、「SHARE」アイコンをクリックします。

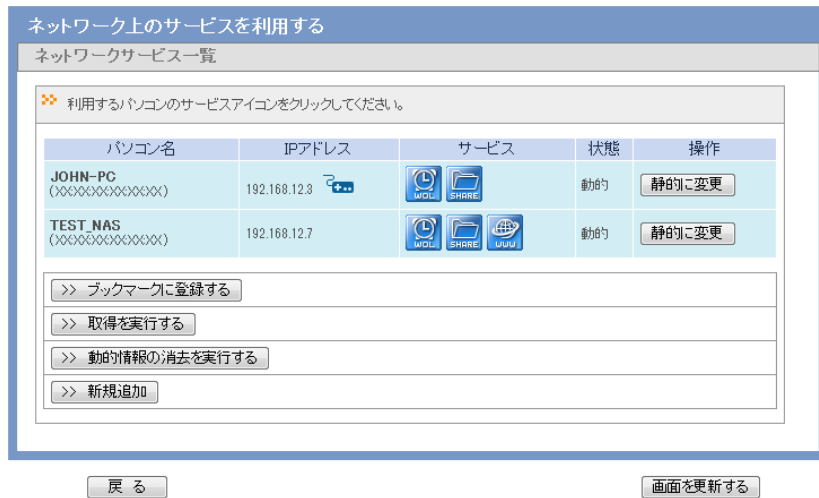
メモ アクセスしたい機器が表示されない場合は、[取得を実行する]をクリックしてください。しばらくすると、一覧が更新されます。

4 ファイルサーバーの共有フォルダーが表示されたら、アクセスが可能になります。

メモ ファイルサーバーにアクセスできない場合は、手順２の画面でアドレス欄にアクセスしたいファイルサーバーのIPアドレス(例:¥¥192.168.12.7など)を入れて、[Enter]キーを押してください。

以上で設定は完了です。

ネットワークサービス一覧画面の機能について

ネットワークサービス一覧画面では、以下の機能を使用することができます。

アイコン	名称	機能
	Wake on LAN	クリックすると、Wake on LANパケットを送信できます。これにより、Wake on LAN機能に対応したパソコンが本製品に接続されている場合は、電源をONにすることができます。(*1)
	ファイル共有	クリックすると、パソコンやファイルサーバーの共有フォルダーにアクセスできます。(*2)
	WWWサーバー	クリックすると、WWWサーバー(*3)にアクセスできます。
	FTPサーバー	クリックすると、ブラウザーからFTPサーバーへアクセスできます。
	リモートデスクトップ	このアイコンが表示されているパソコンは、リモートデスクトップ機能を使用することができます。(*4)

*1　パソコンがWake on LAN機能に対応していても、パソコンのBIOS設定でWake on LAN機能が無効になっている場合は、電源をONにすることはできません。

*2　お使いのブラウザーによっては、アイコンをクリックしても共有フォルダーが表示されないことがあります。

*3　当社製LinkStationやTeraStationが接続されている場合は、アイコンをクリックすることでLinkStation/TeraStationの設定画面を表示することができます。

*4　リモートデスクトップアイコンはクリックできません。

Chapter 6 - 困ったときは

インターネットにつながらない

原因１
動作モードの設定が間違っている

動作モードの設定が間違っていることが考えられます。
WZR-450HP/WZR-300HP/WZR-600DHPの場合は、スイッチを「AUTO」に設定してください。
WZR-D1100Hの場合は、前面のROUTERランプが橙色に点灯するまで１～２回、背面のROUTERボタンを押してください。

原因２
回線業者（NTT/JCOMなど）の機械（モデム等）の電源が入っていない

本製品と回線業者（NTT/JCOMなど）の機械（モデム等）がLANケーブルで正しく接続されているにもかかわらずインターネットに接続できない場合は、の電源が入っているか確認してください。

原因４
インターネットに接続しようとする機器が本製品に接続されていない

エアステーション設定ツールを使用して、リストに本製品が表示されるか確認してください。
リストに本製品が表示されない場合は、インターネットに接続しようとする機器と本製品をLANケーブルまたは無線で接続してください。

メモ
- エアステーション設定ツールの使いかたは、本書のP163を参照してください。
- 無線での接続方法は、別紙の「らくらく！セットアップシート」（Windows/Mac編、スマートフォン･タブレット編、ゲーム機編）を参照してください。

原因５
インターネットの設定が間違っている

別紙の「らくらく！セットアップシート」（Windows/Mac編、スマートフォン・タブレット編）を参照して、インターネットの設定をもう一度やり直してください。

前面のDIAGランプ（BUFFALOランプ）が周期的に赤色に点滅している

５回周期の場合

本製品のInternet側のIPアドレスとLAN側のIPアドレスが同じネットワークアドレスになっています。WZR-450HP/WZR-300HP/WZR-600DHPの場合は、背面のルータースイッチを「AUTO」に設定してください。WZR-D1100Hの場合は、前面のROUTERランプが橙色に点灯するまで１～２回、背面のROUTERボタンを押してください。

２、３、４回周期の場合

いったん本製品のACアダプターをコンセントから抜いて、再度挿してください。それから２分程度経っても同じような症状が見られる場合は、本製品の故障が考えられます。当社のサポートセンターまでご連絡ください。

連続点滅の場合

本製品の起動中や設定保存中、ファームウェアの更新中はDIAGランプ（BUFFALOランプ）が連続点滅します。異常ではありませんので、そのままご使用ください。

無線接続が切れる/不安定

原因１
本製品の動作が不安定になっている

本製品への負荷などにより、本製品の動作が不安定になっていることが考えられます。いったん本製品のACアダプターをコンセントから抜いて、再度挿してください。

原因２
本製品と無線機器の距離が遠い

本製品と無線機器の距離が遠いため、電波が十分に届いていないことが考えられます。無線機器を本製品に近づけるか、周囲に障害物がある場合は障害物を移動するなど、見通しを良くしてください。

原因３
本製品周辺の電波環境が悪い

電子レンジなど、本製品と同じ2.4GHz帯の電波を発する機器が本製品の周囲で動作している場合、無線による通信が不安定になる場合があります。
それらの機器を本製品から遠ざけるか、使用を一時的に中断してください。2.4GHz帯の電波を発する機器がコードレス電話などであり、本製品から遠ざけることができない場合は、本製品の無線チャンネルを変更してください。

原因４
本製品のファームウェアが古い

上記１～３の対策を行っても、本製品との無線接続が切れたり不安定な状況が続く場合は、本製品のファームウェアを最新版に更新してください。

原因５
無線機器のドライバーが古い

上記１～４の対策を行っても、本製品との無線接続が切れたり不安定な状況が続く場合は、無線機器のドライバー（ソフトウェア）を最新版に更新してください。

原因６
本製品が省電力モードで動作している

本製品の節電機能を使用している場合、設定内容によっては、無線接続が切れる場合があります。節電機能のスケジュール登録を変更するなどして、無線接続が途切れないように設定してください。

無線でつながらない

原因１
本製品の動作が不安定になっている

本製品への負荷などにより、本製品の動作が不安定になっていることが考えられます。いったん本製品のACアダプターをコンセントから抜いて、再度挿してください。

原因２
本製品と無線機器の距離が遠い

本製品と無線機器の距離が遠いため、電波が十分に届いていないことが考えられます。無線機器を本製品に近づけるか、周囲に障害物がある場合は障害物を移動するなど、見通しを良くしてください。

原因３
セキュリティーソフトが動作している

無線機器にウイルス対策ソフトなどのセキュリティーソフトがインストールされている場合、無線接続設定に失敗することがあります。いったんセキュリティーソフトを終了して、無線接続設定を完了させてからセキュリティーソフトを起動してください。

原因４
無線接続の設定が間違っている

無線接続の設定が間違っていると、本製品に無線で接続できません。別紙の「らくらく！セットアップシート」（Windows/Mac編、スマートフォン・タブレット編、ゲーム機編）を参照して、接続してください。

原因５
本製品にANY接続拒否やMACアクセス制限の設定がされている

本製品にANY接続拒否の設定がされていると、無線機器から検索しても本製品が表示されません。その場合は、ANY接続拒否を解除してから接続してください。

本製品にMACアクセス制限の設定がされていると、そのままでは本製品に無線接続できません。無線機器のMACアドレスを本製品に登録してから無線接続してください。

原因６
本製品が省電力モードで動作している

本製品の節電機能を使用している場合、設定内容によっては、無線接続できない場合があります。節電機能のスケジュール登録を変更するなどして、無線接続できるように設定してください。

設定画面が表示できない

原因１
本製品の動作が不安定になっている

本製品への負荷などにより、本製品の動作が不安定になっていることが考えられます。いったん本製品のACアダプターをコンセントから抜いて、再度挿してください。

原因２
設定用機器が本製品に接続されていない

エアステーション設定ツールを使用して、リストに本製品が表示されるか確認してください。リストに本製品が表示されない場合は、インターネットに接続しようとする機器と本製品をLANケーブルまたは無線で接続してください。

メモ
- エアステーション設定ツールの使いかたは、本書のP163を参照してください。
- 無線での接続方法は、別紙の「らくらく！セットアップシート」（Windows/Mac編、スマートフォン・タブレット編、ゲーム機編）を参照してください。

無線での通信が遅い

原因１
本製品周辺の電波環境が悪い

本電子レンジなど、本製品と同じ2.4GHz帯の電波を発する機器が本製品の周囲で動作している場合、無線による通信が不安定になり、通信速度が低下する場合があります。
それらの機器を本製品から遠ざけるか、使用を一時的に中断してください。2.4GHz帯の電波を発する機器がコードレス電話などであり、本製品から遠ざけることができない場合は、本製品の無線チャンネルを変更してください。

原因２
倍速設定が無効になっている

本製品の倍速設定は、出荷時の状態で無効に設定されています。倍速設定を有効に設定することで、無線での通信速度が速くなる場合があります。

メモ
- 本製品の倍速設定方法については、P125を参照してください。
- 本製品の設定だけでなく、お使いの機器の設定も必要になる場合があります。
- 倍速設定は、通常の（20MHz）の倍の帯域（40MHz）を使って通信します。2.4GHz帯を使用する機器が周囲に多くあり、電波環境が悪い場合は、通信速度が向上しないことがあります。

設定を出荷時の状態に戻したい

本製品の設定を出荷時の状態に戻したい場合は、底面のRESETボタンを前面のDIAGランプ（BUFFALOランプ）が赤色に点灯するまで（約３秒間）押し続けてください。その後、本製品が再起動したら設定の初期化は完了です。

Chapter 7 - 付録

製品仕様

WZR-450HP

無線LANインターフェース	
準拠規格	IEEE 802.11n / IEEE 802.11g / IEEE 802.11b ARIB STD-T66（IEEE 802.11g / IEEE 802.11b） （小電力データ通信システム規格）
伝送方式	多入力多出力直交周波数分割多重変調（MIMO-OFDM）方式 直交周波数分割多重変調（OFDM）方式 直接拡散型スペクトラム拡散（DS-SS）方式 単信（半二重）
データ転送速度 （オートセンス）	IEEE 802.11b： 11/5.5/2/1 Mbps IEEE 802.11g： 54/48/36/24/18/12/9/6 Mbps IEEE 802.11n 20 MHz Channel <800 ns GI>： 195/177.5/156/117/78/58.5/39/19.5 Mbps (mcs 23-16) 130/117/104/78/52/39/26/13 Mbps (mcs 15-8) 65/58.5/52/39/26/19.5/13/6.5 Mbps (mcs 7-0) IEEE 802.11n 20 MHz Channel <400 ns GI>： 216.7/195/173.3/130/86.7/65/43.3/21.7 Mbps (mcs 23-16) 144.4/130/115.6/86.7/57.8/43.3/28.9/14.4 Mbps (mcs 15-8) 72.2/65/57.8/43.3/28.9/21.7/14.4/7.2 Mbps (mcs 7-0) IEEE 802.11n 40 MHz Channel <800 ns GI>： 405/364.5/324/243/162/121.5/81/40.5 Mbps (mcs 23-16) 270/243/216/162/108/81/54/27 Mbps (mcs 15-8) 135/121.5/108/81/54/40.5/27/13.5 Mbps (mcs 7-0) IEEE 802.11n 40 MHz Channel <400 ns GI>： 450/405/360/270/180/135/90/45 Mbps (mcs 23-16) 300/270/240/180/120/90/60/30 Mbps (mcs 15-8) 150/135/120/90/60/45/30/15 Mbps (mcs 7-0)
アクセス方式	インフラストラクチャーモード
周波数範囲 （中心周波数）	1～13 ch（2412～2472 MHz） ※ 基本的に携帯電話、コードレスホン、テレビ、ラジオ等とは混信しませんが、これらの機器が2.4 GHz帯の無線を使用する場合は、混信が発生する可能性があります。

セキュリティー	AOSS、WPA2-PSK(AES/TKIP)、WPA-PSK(AES/TKIP)、WPA/WPA2 mixed PSK、WEP(128 bit / 64 bit)、プライバシーセパレーター、ANY接続拒否/SSIDステルス、MACアクセス制限
有線LANインターフェース	
準拠規格	IEEE 802.3ab(1000BASE-T)、IEEE 802.3u(100BASE-TX)、 IEEE 802.3(10BASE-T)
データ転送速度	10/100/1000 Mbps(自動認識)
データ伝送モード	半二重/全二重(自動認識)
伝送路符号化方式	8B1Q4/PAM5(1000BASE-T)、4B5B/MLT-3(100BASE-TX)、 マンチェスターコーディング(10BASE-T)
スイッチング方式	ストア&フォワード方式
ポート	1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T　兼用ポート(AUTO-MDIX)
その他	
電源	AC 100 50/60 Hz
消費電力	16.9 W(最大)
外形寸法	165 mm x 35 mm x 158 mm(本体のみ)
重量	404 g(本体のみ)
動作環境	温度: 0～40 ℃ 湿度: 20～80 %(結露しないこと)

WZR-300HP

無線LANインターフェース	
準拠規格	IEEE 802.11n / IEEE 802.11g / IEEE 802.11b ARIB STD-T66 (IEEE 802.11g / IEEE 802.11b) (小電力データ通信システム規格)
伝送方式	多入力多出力直交周波数分割多重変調(MIMO-OFDM)方式 直交周波数分割多重変調(OFDM)方式 直接拡散型スペクトラム拡散(DS-SS)方式 単信(半二重)
データ転送速度 (オートセンス)	IEEE 802.11b: 11/5.5/2/1 Mbps IEEE 802.11g: 54/48/36/24/18/12/9/6 Mbps IEEE 802.11n 20 MHz Channel <800 ns GI>: 130/117/104/78/52/39/26/13 Mbps (mcs 15-8) 65/58.5/52/39/26/19.5/13/6.5 Mbps (mcs 7-0) IEEE 802.11n 20 MHz Channel <400 ns GI>: 144.4/130/115.6/86.7/57.8/43.3/28.9/14.4 Mbps (mcs 15-8) 72.2/65/57.8/43.3/28.9/21.7/14.4/7.2 Mbps (mcs 7-0) IEEE 802.11n 40 MHz Channel <800 ns GI>: 270/243/216/162/108/81/54/27 Mbps (mcs 15-8) 135/121.5/108/81/54/40.5/27/13.5 Mbps (mcs 7-0) IEEE 802.11n 40 MHz Channel <400 ns GI>: 300/270/240/180/120/90/60/30 Mbps (mcs 15-8) 150/135/120/90/60/45/30/15 Mbps (mcs 7-0)
アクセス方式	インフラストラクチャーモード
周波数範囲 (中心周波数)	1～13 ch (2412～2472 MHz) ※ 基本的に携帯電話、コードレスホン、テレビ、ラジオ等とは混信しませんが、これらの機器が2.4 GHz帯の無線を使用する場合は、混信が発生する可能性があります。
セキュリティー	AOSS、WPA2-PSK(AES/TKIP)、WPA-PSK(AES/TKIP)、WPA/WPA2 mixed PSK、WEP(128 bit / 64 bit)、プライバシーセパレーター、ANY接続拒否/SSIDステルス、MACアクセス制限
有線LANインターフェース	
準拠規格	IEEE 802.3ab(1000BASE-T)、IEEE 802.3u(100BASE-TX)、 IEEE 802.3(10BASE-T)
データ転送速度	10/100/1000 Mbps(自動認識)
データ伝送モード	半二重/全二重(自動認識)

伝送路符号化方式	8B1Q4/PAM5（1000BASE-T）、4B5B/MLT-3（100BASE-TX）、 マンチェスターコーディング（10BASE-T）
スイッチング方式	ストア&フォワード方式
ポート	1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T　兼用ポート（AUTO-MDIX）
その他	
電源	AC 100 50/60 Hz
消費電力	14 W（最大）
外形寸法	165 mm x 30 mm x 158 mm（本体のみ）
重量	338 g（本体のみ）
動作環境	温度：0～40 ℃ 湿度：20～80 %（結露しないこと）

WZR-600DHP

無線LANインターフェース	
準拠規格	IEEE 802.11n / IEEE 802.11a / IEEE 802.11g / IEEE 802.11b ARIB STD-T71（IEEE 802.11a） ARIB STD-T66（IEEE 802.11g / IEEE 802.11b） （小電力データ通信システム規格）
伝送方式	多入力多出力直交周波数分割多重変調（MIMO-OFDM）方式 直交周波数分割多重変調（OFDM）方式 直接拡散型スペクトラム拡散（DS-SS）方式 単信（半二重）
データ転送速度 （オートセンス）	IEEE 802.11b： 11/5.5/2/1 Mbps IEEE 802.11a / IEEE 802.11g： 54/48/36/24/18/12/9/6 Mbps IEEE 802.11n 20 MHz Channel <800 ns GI>： 130/117/104/78/52/39/26/13 Mbps (mcs 15-8) 65/58.5/52/39/26/19.5/13/6.5 Mbps (mcs 7-0) IEEE 802.11n 40 MHz Channel <800 ns GI>： 270/243/216/162/108/81/54/27 Mbps (mcs 15-8) 135/121.5/108/81/54/40.5/27/13.5 Mbps (mcs 7-0) IEEE 802.11n 40 MHz Channel <400 ns GI>： 300 Mbps (mcs 15)
アクセス方式	インフラストラクチャーモード
周波数範囲 （中心周波数）	IEEE 802.11a W52 36/40/44/48 ch（5180～5240 MHz） W53 52/56/60/64 ch（5260～5320 MHz） W56 100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140 ch（5500～5700 MHz） IEEE 802.11b/IEEE 802.11g 1～13 ch（2412～2472 MHz） ※ 基本的に携帯電話、コードレスホン、テレビ、ラジオ等とは混信しませんが、これらの機器が2.4 GHz帯の無線を使用する場合は、混信が発生する可能性があります。
セキュリティー	AOSS、WPA2-PSK（AES/TKIP）、WPA-PSK（AES/TKIP）、WPA/WPA2 mixed PSK、WEP（128 bit / 64 bit）、プライバシーセパレーター、ANY接続拒否/SSIDステルス、MACアクセス制限
有線LANインターフェース	
準拠規格	IEEE 802.3ab（1000BASE-T）、IEEE 802.3u（100BASE-TX）、 IEEE 802.3（10BASE-T）
データ転送速度	10/100/1000 Mbps（自動認識）
データ伝送モード	半二重/全二重（自動認識）

伝送路符号化方式	8B1Q4/PAM5（1000BASE-T）、4B5B/MLT-3（100BASE-TX）、 マンチェスターコーディング（10BASE-T）
スイッチング方式	ストア&フォワード方式
ポート	1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T　兼用ポート（AUTO-MDIX）
その他	
電源	AC 100 50/60Hz
消費電力	13.2 W（最大）
外形寸法	165 mm x 35 mm x 158 mm（本体のみ）
重量	350 g（本体のみ）
動作環境	温度：0～40 ℃ 湿度：20～80 %（結露しないこと）

WZR-D1100H

無線LANインターフェース	
準拠規格	IEEE 802.11n / IEEE 802.11a / IEEE 802.11g / IEEE 802.11b ARIB STD-T71（IEEE 802.11a） ARIB STD-T66（IEEE 802.11g / IEEE 802.11b） （小電力データ通信システム規格）
伝送方式	多入力多出力直交周波数分割多重変調（MIMO-OFDM）方式 直交周波数分割多重変調（OFDM）方式 直接拡散型スペクトラム拡散（DS-SS）方式 単信（半二重）
データ転送速度 （オートセンス）	**IEEE 802.11ac技術 20 MHz Channel <800 ns GI>：** 260/234/195/175.5/156/117/78/58.5/39/19.5 Mbps (3 stream) 156/130/117/104/78/52/39/26/13 Mbps (2 stream) 78/65/58.5/52/39/26/19.5/13/6.5 Mbps (1 stream) **IEEE 802.11ac技術 20 MHz Channel <400 ns GI>：** 288.9/260/216.7/195/173.3/130/86.7/65/43.3/21.7 Mbps (3 stream) 173.3/144.4/130/115.6/86.7/57.8/43.3/28.9/14.4 Mbps (2 stream) 86.7/72.2/65/57.8/43.3/28.9/21.7/14.4/7.2 Mbps (1 stream) **IEEE 802.11ac技術 40 MHz Channel <800 ns GI>：** 540/486/405/364.5/324/243/162/121.5/81/40.5 Mbps (3 stream) 360/324/270/243/216/162/108/81/54/27 Mbps (2 stream) 180/162/135/121.5/108/81/54/40.5/27/13.5 Mbps (1 stream) **IEEE 802.11ac技術 40 MHz Channel <400 ns GI>：** 600/540/450/405/360/270/180/135/90/45 Mbps (3 stream) 400/360/300/270/240/180/120/90/60/30 Mbps (2 stream) 200/180/150/135/120/90/60/45/30/15 Mbps (1 stream) **IEEE 802.11n 20 MHz Channel <800 ns GI>：** 195/175.5/156/117/78/58.5/39/19.5 Mbps (3 stream) 130/117/104/78/52/39/26/13 Mbps (2 stream) 65/58.5/52/39/26/19.5/13/6.5 Mbps (1 stream) **IEEE 802.11n 20 MHz Channel <400 ns GI>：** 216.7/195/173.3/130/86.7/65/43.3/21.7 Mbps (3 stream) 144.4/130/115.6/86.7/57.8/43.3/28.9/14.4 Mbps (2 stream) 72.2/65/57.8/43.3/28.9/21.7/14.4/7.2 Mbps (1 stream)

データ転送速度 （オートセンス）	**IEEE 802.11n 40 MHz Channel <800 ns GI>：** 405/364.5/324/243/162/121.5/81/40.5 Mbps (3 stream) 270/243/216/162/108/81/54/27 Mbps (2 stream) 135/121.5/108/81/54/40.5/27/13.5 Mbps (1 stream) **IEEE 802.11n 40 MHz Channel <400 ns GI>：** 450/405/360/270/180/135/90/45 Mbps (3 stream) 300/270/240/180/120/90/60/30 Mbps (2 stream) 150/135/120/90/60/45/30/15 Mbps (1 stream) **IEEE 802.11a / IEEE 802.11g：** 54/48/36/24/18/12/9/6 Mbps **IEEE 802.11b：** 11/5.5/2/1 Mbps
アクセス方式	インフラストラクチャーモード
周波数範囲 （中心周波数）	IEEE 802.11a W52 36/40/44/48 ch（5180～5240 MHz） IEEE 802.11b/IEEE 802.11g 1～13 ch（2412～2472 MHz） **※ 基本的に携帯電話、コードレスホン、テレビ、ラジオ等とは混信しませんが、これらの機器が2.4 GHz帯の無線を使用する場合は、混信が発生する可能性があります。**
セキュリティー	AOSS、WPA2-PSK（AES）、WPA-PSK（AES）、WPA/WPA2 mixed PSK、WEP（128 bit / 64 bit）、プライバシーセパレーター、ANY接続拒否/SSIDステルス、MACアクセス制限
有線LANインターフェース	
準拠規格	IEEE 802.3ab（1000BASE-T）、IEEE 802.3u（100BASE-TX）、 IEEE 802.3（10BASE-T）
データ転送速度	10/100/1000 Mbps（自動認識）
データ伝送モード	半二重/全二重（自動認識）
伝送路符号化方式	8B1Q4/PAM5（1000BASE-T）、4B5B/MLT-3（100BASE-TX）、 マンチェスターコーディング（10BASE-T）
スイッチング方式	ストア&フォワード方式
ポート	1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T　兼用ポート（AUTO-MDIX）
その他	
電源	AC 100 50/60Hz
消費電力	13.2 W（最大）
外形寸法	213 mm x 184 mm x 34 mm（本体のみ）
重量	510 g（本体のみ）
動作環境	温度：0～40 ℃ 湿度：10～85 %（結露しないこと）

WLI-UC-G450（WZR-450HP/Uセット無線子機）

無線LANインターフェース	
準拠規格	IEEE 802.11n / IEEE 802.11g / IEEE 802.11b ARIB STD-T66（IEEE 802.11g / IEEE 802.11b） （小電力データ通信システム規格）
伝送方式	多入力多出力直交周波数分割多重変調（MIMO-OFDM）方式 直交周波数分割多重変調（OFDM）方式 直接拡散型スペクトラム拡散（DS-SS）方式 単信（半二重）
データ転送速度 （オートセンス）	**IEEE 802.11b：** 11/5.5/2/1 Mbps **IEEE 802.11g：** 54/48/36/24/18/12/9/6 Mbps **IEEE 802.11n 20 MHz Channel <800 ns GI>：** 195/177.5/156/117/78/58.5/39/19.5 Mbps (mcs 23-16) 130/117/104/78/52/39/26/13 Mbps (mcs 15-8) 65/58.5/52/39/26/19.5/13/6.5 Mbps (mcs 7-0) **IEEE 802.11n 20 MHz Channel <400 ns GI>：** 216.7/195/173.3/130/86.7/65/43.3/21.7 Mbps (mcs 23-16) 144.4/130/115.6/86.7/57.8/43.3/28.9/14.4 Mbps (mcs 15-8) 72.2/65/57.8/43.3/28.9/21.7/14.4/7.2 Mbps (mcs 7-0) **IEEE 802.11n 40 MHz Channel <800 ns GI>：** 405/364.5/324/243/162/121.5/81/40.5 Mbps (mcs 23-16) 270/243/216/162/108/81/54/27 Mbps (mcs 15-8) 135/121.5/108/81/54/40.5/27/13.5 Mbps (mcs 7-0) **IEEE 802.11n 40 MHz Channel <400 ns GI>：** 450/405/360/270/180/135/90/45 Mbps (mcs 23-16) 300/270/240/180/120/90/60/30 Mbps (mcs 15-8) 150/135/120/90/60/45/30/15 Mbps (mcs 7-0)
周波数範囲 （中心周波数）	1～13 ch（2412～2472 MHz） **※ 基本的に携帯電話、コードレスホン、テレビ、ラジオ等とは混信しませんが、これらの機器が2.4 GHz帯の無線を使用する場合は、混信が発生する可能性があります。**
セキュリティー	WPA2-PSK（AES/TKIP）、WPA-PSK（AES/TKIP）、WEP（128 bit / 64 bit）

その他	
対応パソコン	USB 2.0規格準拠のUSBポート（タイプA）を搭載したWindowsパソコン
対応OS	Windows 7（32 bit/64 bit） / Vista（32 bit） / XP
消費電力	2500 mW（最大）
消費電流	500 mA（最大）
外形寸法	98 mm x 27 mm x 14 mm（本体のみ）
重量	23 g
動作環境	温度：0～40 ℃ 湿度：20～80 %（結露しないこと）

WLI-UC-G300HP（WZR-300HP/Uセット無線子機）

無線LANインターフェース	
準拠規格	IEEE 802.11n / IEEE 802.11g / IEEE 802.11b ARIB STD-T66（IEEE 802.11g / IEEE 802.11b） （小電力データ通信システム規格）
伝送方式	多入力多出力直交周波数分割多重変調（MIMO-OFDM）方式 直交周波数分割多重変調（OFDM）方式 直接拡散型スペクトラム拡散（DS-SS）方式 単信（半二重）
データ転送速度 （オートセンス）	IEEE 802.11b: 11/5.5/2/1 Mbps IEEE 802.11g: 54/48/36/24/18/12/9/6 Mbps IEEE 802.11n 20 MHz Channel <800 ns GI>: 130/117/104/78/52/39/26/13 Mbps (mcs 15-8) 65/58.5/52/39/26/19.5/13/6.5 Mbps (mcs 7-0) IEEE 802.11n 20 MHz Channel <400 ns GI>: 144.4/130/115.6/86.7/57.8/43.3/28.9/14.4 Mbps (mcs 15-8) 72.2/65/57.8/43.3/28.9/21.7/14.4/7.2 Mbps (mcs 7-0) IEEE 802.11n 40 MHz Channel <800 ns GI>: 270/243/216/162/108/81/54/27 Mbps (mcs 15-8) 135/121.5/108/81/54/40.5/27/13.5 Mbps (mcs 7-0) IEEE 802.11n 40 MHz Channel <400 ns GI>: 300/270/240/180/120/90/60/30 Mbps (mcs 15-8) 150/135/120/90/60/45/30/15 Mbps (mcs 7-0)
周波数範囲 （中心周波数）	1～13 ch（2412～2472 MHz） ※ 基本的に携帯電話、コードレスホン、テレビ、ラジオ等とは混信しませんが、これらの機器が2.4 GHz帯の無線を使用する場合は、混信が発生する可能性があります。
セキュリティー	WPA2-PSK（AES/TKIP）、WPA-PSK（AES/TKIP）、WEP（128 bit / 64 bit）

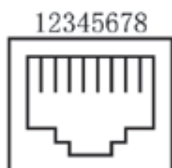
その他	
対応パソコン	USB 2.0規格準拠のUSBポート（タイプA）を搭載したWindowsパソコン
対応OS	Windows 7（32 bit/64 bit） / Vista（32 bit） / XP / 2000（SP4以降）
消費電力	2500 mW（最大）
消費電流	556 mA（最大）
外形寸法	100 mm x 26 mm x 15 mm（本体のみ）
重量	30 g
動作環境	温度：0～40 ℃ 湿度：20～80 %（結露しないこと）

WLI-UC-AG300N（WZR-600DHP/Uセット無線子機）

無線LANインターフェース	
準拠規格	IEEE 802.11n / IEEE 802.11a / IEEE 802.11g / IEEE 802.11b ARIB STD-T7（IEEE 802.11a） ARIB STD-T66（IEEE 802.11g / IEEE 802.11b） （小電力データ通信システム規格）
伝送方式	多入力多出力直交周波数分割多重変調（MIMO-OFDM）方式 直交周波数分割多重変調（OFDM）方式 直接拡散型スペクトラム拡散（DS-SS）方式 単信（半二重）
データ転送速度 （オートセンス）	IEEE 802.11b： 11/5.5/2/1 Mbps IEEE 802.11a / IEEE 802.11g： 54/48/36/24/18/12/9/6 Mbps IEEE 802.11n 20 MHz Channel <800 ns GI>： 130/117/104/78/52/39/26/13 Mbps (mcs 15-8) 65/58.5/52/39/26/19.5/13/6.5 Mbps (mcs 7-0) IEEE 802.11n 20 MHz Channel <400 ns GI>： 144.4/130/115.6/86.7/57.8/43.3/28.9/14.4 Mbps (mcs 15-8) 72.2/65/57.8/43.3/28.9/21.7/14.4/7.2 Mbps (mcs 7-0) IEEE 802.11n 40 MHz Channel <800 ns GI>： 270/243/216/162/108/81/54/27 Mbps (mcs 15-8) 135/121.5/108/81/54/40.5/27/13.5 Mbps (mcs 7-0) IEEE 802.11n 40 MHz Channel <400 ns GI>： 300/270/240/180/120/90/60/30 Mbps (mcs 15-8) 150/135/120/90/60/45/30/15 Mbps (mcs 7-0)
周波数範囲 （中心周波数）	IEEE 802.11a W52 36/40/44/48 ch（5180～5240 MHz） W53 52/56/60/64 ch（5260～5320 MHz） W56 100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140 ch（5500～5700 MHz） IEEE 802.11b/IEEE802.11g 1～13 ch（2412～2472 MHz） ※ 基本的に携帯電話、コードレスホン、テレビ、ラジオ等とは混信しませんが、これらの機器が2.4 GHz帯の無線を使用する場合は、混信が発生する可能性があります。
セキュリティー	WPA2-PSK（AES/TKIP）、WPA-PSK（AES/TKIP）、WEP（128 bit / 64 bit）

その他	
対応パソコン	USB 2.0規格準拠のUSBポート（タイプA）を搭載したWindowsパソコン
対応OS	Windows 7（32 bit/64 bit） / Vista（32 bit） / XP / 2000（SP4以降）
消費電力	2500 mW（最大）
消費電流	500 mA（最大）
外形寸法	100 mm x 26 mm x 15 mm（本体のみ）
重量	27 g
動作環境	温度：0～40 ℃ 湿度：20～80 %（結露しないこと）

ポート仕様

LANポート/Internetポート仕様
コネクター形状(RJ-45型8極コネクター)

100BASE-TX/10BASE-T		
ピン番号	信号名	信号機能
1	RD+/TD+	受信データ(+)/送信データ(+)
2	RD-/TD-	受信データ(-)/送信データ(-)
3	TD+/RD+	送信データ(+)/受信データ(+)
4	(Not Use)	未使用
5	(Not Use)	未使用
6	TD-/RD-	送信データ(-)/受信データ(-)
7	(Not Use)	未使用
8	(Not Use)	未使用
1000BASE-T		
ピン番号	信号名	信号機能
1	BI_DA+/BI_DB+	送受信データA(+)/送受信データB(+)
2	BI_DA-/BI_DB-	送受信データA(-)/送受信データB(-)
3	BI_DB+/BI_DA+	送受信データB(+)/送受信データA(+)
4	BI_DC+/BI_DD+	送受信データC(+)/送受信データD(+)
5	BI_DC-/BI_DD-	送受信データC(-)/送受信データD(-)
6	BI_DB-/BI_DA-	送受信データB(-)/送受信データA(-)
7	BI_DD+/BI_DC+	送受信データD(+)/送受信データC(+)
8	BI_DD-/BI_DC-	送受信データD(-)/送受信データC(-)

※ AUTO-MDIX機能により、送信/受信データを自動的に切り替えます。

初期設定一覧

機能	パラメーター	出荷時設定
Internet	IPアドレス取得方法	インターネット@スタートを行う
	デフォルトゲートウェイ	ー
	DNS(ネーム)サーバーアドレス	ー
	Internet側MACアドレス	デフォルトのMACアドレスを使用
	Internet側MTU値	1500バイト
PPPoE	デフォルトの接続先	未設定
	IP Unnumbered使用時の接続先	未設定
	PPPoE接続先リスト	未設定
	接続先経路の表示	未設定
データ通信カード (WZR-450HP/WZR-300HPのみ)	プロファイル	プロファイル-1:[未定義]
	プロファイル名称	空欄
	データ通信カード	未設定
	キャリア選択	手動設定
	接続方式	CID指定
	CID(登録番号)選択	未選択
	電話番号	空欄
	PDP Type	IP
	APN(接続先)	空欄
	PIN	空欄
	ユーザー名	空欄
	パスワード	空欄
	接続方法	オンデマンド接続
	プロファイルの自動切り替え	使用しない
	自動切断	**切断条件:** 送信がない場合 **待機時間:** 5分
	認証方式	自動認証

機能	パラメーター	出荷時設定
	MTU値	1500バイト
	キープアライブ	使用しない
	自動的に機能を無効にする	使用する （PPTPサーバー、DDNS、Bit Torrent、Webアクセス、NTP）
DDNS	ダイナミックDNS機能	使用しない
	ダイナミックDNS設定情報	未登録
PPTPサーバー	LAN側IPアドレス	192.168.11.1（255.255.255.0）
	DHCPサーバー機能	使用する
	割り当てIPアドレス	192.168.11.2 から 64台
	PPTPサーバー機能	使用しない
	認証方式	MS-CHAPv2認証（40/128bits暗号鍵）
	サーバーIPアドレス	自動設定
	クライアントIPアドレス	自動設定
	DNSサーバーのIPアドレス	エアステーションのLAN側IPアドレス
	WINSサーバーのIPアドレス	空欄
	MTU/MRU値	1396
	PPTP接続ユーザー	未設定
LAN	LAN側IPアドレス	**ルーターモード時（ルーターON）：** 192.168.11.1（255.255.255.0） **ブリッジモード時（ルーターOFF）：** 192.168.11.100（255.255.255.0） **ブリッジモード時（AUTO動作時）：** DHCPサーバーから自動取得
	DHCPサーバー機能	使用する
	割り当てIPアドレス	192.168.11.2 から 64台
	LAN側IPアドレス（IP Unnumbered用）	ー
	拡張設定	表示しない
	リース期間	48時間

機能	パラメーター	出荷時設定
	デフォルトゲートウェイの通知	エアステーションのLAN側IPアドレス
	DNSサーバーの通知	エアステーションのLAN側IPアドレス
	WINSサーバーの通知	通知しない
	ドメイン名の通知	取得済みのドメイン名
DHCPリース	リース情報	ー
アドレス変換	アドレス変換	使用する
	高速アドレス変換 （WZR-450HPのみ）	使用する
	破棄パケットのログ出力	出力しない
経路情報	経路情報	ー
WPS	WPS機能	使用する
	外部Registrar	要求を受け付ける
	エアステーション PINコード	製品固有の8桁のPINコードが設定済み
	EnrolleeのPINコード	空欄
	WPS用無線セキュリティー設定	**WPSステータス：** configured **セキュリティー**（WZR-450HP/WZR-300HP/WZR-600DHP）**：** WPA/WPA2 mixedmode - PSK AES **セキュリティー**（WZR-D1100H）**：** WPA2 - PSK AES **SSID/暗号鍵：** 製品付属のセットアップカードに記載の値
基本	無線機能	使用する
	無線チャンネル （WZR-450HP/WZR-300HP/WZR-D1100Hのみ）	自動
	無線チャンネル （WZR-600DHPのみ）	自動 室内専用モード
	倍速モード （WZR-450HP/WZR-300HPのみ）	**帯域：** 20 MHz **拡張チャンネル：** 自動的に設定されます
	倍速モード （WZR-600DHPのみ）	**帯域：** 40 MHz **拡張チャンネル：** 自動的に設定されます
	倍速モード （WZR-D1100Hのみ）	**帯域：** 11n/a倍速モード（40MHz）
	ANY接続	許可する

機能	パラメーター	出荷時設定
	隔離機能	使用しない
	SSID	エアステーションのMACアドレスを設定
	無線の認証 （WZR-450HP/WZR-300HP/WZR-600DHPのみ）	WPA/WPA2 mixedmode - PSK
	無線の認証 （WZR-D1100Hのみ）	WPA2 - PSK
	無線の暗号化 （WZR-450HP/WZR-300HP/WZR-600DHPのみ）	TKIP/AES mixedmode
	無線の暗号化 （WZR-D1100Hのみ）	AES
	WPA-PSK（事前共有キー）	製品付属のセットアップカードに記載の値
	Key更新間隔 （WZR-450HP/WZR-300HP/WZR-600DHPのみ）	60分
	Key更新間隔 （WZR-D1100Hのみ）	0分
拡張	BSS BasicRateSet （WZR-D1100Hのみ）	11ac/n/a: 6, 12, 24 Mbps 11n/g/b: 1, 2, 5.5, 11 Mbps
	Multicast Rate	自動
	802.11nプロテクション （WZR-D1100Hのみ）	使用しない
	DTIM Period	1
	プライバシーセパレーター	使用しない
	送信出力 （WZR-D1100Hのみ）	100%

機能	パラメーター	出荷時設定		
WMM	WMM-EDCAパラメーター（優先度 AC_BK（低い））		AP用	STA用
		CWmin	15	15
		CWmax	1023	1023
		AIFSN	7	7
		TXOP Limit	0	0
		Admission Control	----	無効
	WMM-EDCAパラメーター（優先度 AC_BE（普通））		AP用	STA用
		CWmin	15	15
		CWmax	63	1023
		AIFSN	3	3
		TXOP Limit	0	0
		Admission Control	----	無効
	WMM-EDCAパラメーター（優先度 AC_VI（優先））		AP用	STA用
		CWmin	7	7
		CWmax	15	15
		AIFSN	1	2
		TXOP Limit	94	94
		Admission Control	----	無効
	WMM-EDCAパラメーター（優先度 AC_VO（最優先））		AP用	STA用
		CWmin	3	3
		CWmax	7	7
		AIFSN	1	2
		TXOP Limit	47	47
		Admission Control	----	無効
MACアクセス制限	無線パソコンの接続	制限しない		
	登録リスト	未登録		
マルチキャスト制御	Snooping機能	使用する		
	マルチキャストAging Time	300秒		

機能	パラメーター	出荷時設定
ゲストポート（WZR-450HP/WZR-D1100Hのみ）	ゲストポート機能	使用しない
	ゲストポートユーザー認証機能	使用しない
	ゲストポート用LAN側IPアドレス	自動設定
	SSID	エアステーションのMACアドレスを設定
	無線の認証	認証を行わない
	無線の暗号化	暗号化なし
エアステーション間接続（WZR-300HPのみ）	エアステーション間接続機能	使用する
	親機/子機指定	親機
	SSID	空欄
	無線の認証	認証を行わない
	無線の暗号化	暗号化なし
	優先接続先指定	優先的に接続させない
AOSS	WEP専用SSIDの暗号化レベル	停止
	暗号化レベル拡張機能	有効
	WEP専用SSID隔離	無効
	WEPをゲーム専用にする	使用しない
	本体側AOSSボタン	使用する
ファイアウォール	ログ出力	出力しない
	簡易ルール	NBTとMicrosoft-DSのルーティングを禁止する　無効 IDENTの要求を拒否する　有効 Internet側からのPINGに応答しない　有効
IPフィルター	ログ出力	出力しない
	IPフィルター登録情報	未設定
VPNパススルー	フレッツIPv6サービス対応機能	使用しない
	PPPoEパススルー	使用しない
	PPTPパススルー	使用する
i-フィルター	「i-フィルター」機能	使用しない
ポート変換	ポート変換登録情報	未設定
DMZ	DMZのアドレス	未設定
UPnP	UPnP機能	使用する
QoS	インターネットへの送信用QoS	使用しない

機能	パラメーター	出荷時設定
Movieエンジン	Movieエンジン状態	OFF
	フレッツIPv6サービス対応機能	使用しない
	Multicast Rate	11 Mbps
	マルチキャスト制御 （WZR-450HPのみ）	Snooping機能　使用する Aging Time　300秒
	マルチキャスト制御 （WZR-300HP/WZR-600DHPのみ）	Snooping機能　使用する Aging Time　300秒 プライオリティの変更　VI（優先）
	TCP Rwinサイズ制限 （WZR-300HP/WZR-600DHPのみ）	サイズ制限　制限しない 最大Rwinサイズ　65536 bytes
	無線プライオリティ制御ルール	未登録
	送信レートの制限 （WZR-300HPのみ）	送信レート、リトライ回数ともに すべて制限しない
ディスク管理	USBディスクの自動割当	使用する
	FATフォーマット ファイル名 文字コード	日本語 ShiftJIS（CP932）
	HDD節電機能	使用しない
共有フォルダー	アクセス制限機能	アクセス制限なし（読取/書込可能）
	Webアクセス設定	アクセス制限を使用する
ユーザー管理	ユーザー情報	未設定
共有サービス	共有フォルダー機能	使用する
	エアステーション名	AP + 本製品のMACアドレス
	エアステーション説明	未設定
	ワークグループ名	WORKGROUP
	Windowsクライアント言語	日本語 ShiftJIS（CP932）
Webアクセス	Webアクセス機能	使用しない
	HTTPS/SSL暗号化	使用しない
	Webアクセス外部ポート	自動的に外部ポート番号を設定する
	DNSサービスホスト名	BuffaloNAS.com登録機能を使用する
メディアサーバー	メディアサーバー機能	使用しない

機能	パラメーター	出荷時設定
BitTorrent	BitTorrent機能	使用する
	BitTorrent外部ポート番号	自動的に外部ポート番号を設定する
	帯域制限設定	使用する 最大アップロード速度　1000KB/s 最大ダウンロード速度　200KB/s
本体	エアステーション名	AP + 本製品のMACアドレス
	ネットワークサービス解析	使用する
パスワード	管理ユーザー名	admin（変更不可）
	管理パスワード	password
時刻	日付	2012年1月1日
	時刻	0時0分0秒
	タイムゾーン	（GMT+09:00）東京、大阪、ソウル
NTP	NTP機能	使用しない
	サーバー名	ntp.jst.mfeed.ad.jp
	確認時間	24時間毎
エコ	スケジュール	使用しない
	スケジュール登録	動作モード　通常動作 開始時間　0:00 終了時間　0:30
	ユーザー定義モード	ランプ　オフ 有線LAN　エコ（低速動作） 無線LAN　オフ
プリントサーバー（WZR-450HP/WZR-300HP/WZR-D1100Hのみ）	プリントサーバー	使用する
	プリンター複合機を使用する	使用する
アクセス	ログ出力	使用しない
	制限項目	無線LANからの設定を禁止する　無効 有線LANからの設定を禁止する　無効 Internet側リモートアクセス設定を許可する　無効

機能	パラメーター	出荷時設定
ログ	ログ情報転送機能	使用しない
	Syslogサーバー	ー
	転送するログ情報	**ルーターモード時:** アドレス変換、IPフィルター、ファイアウォール、PPPクライアント、ダイナミックDNS、DHCPクライアント、DHCPサーバー、AOSS、無線LAN子機、認証、設定変更、システム起動、NTPクライアント、有線リンク **ブリッジモード時:** IPフィルター、DHCPクライアント、AOSS、無線LAN子機、認証、設定変更、システム起動、NTPクライアント、有線リンク
初期化/再起動	タイマー再起動 （WZR-450HP/WZR-300HP/WZR-600DHPのみ）	使用しない
ファーム更新	更新方法	ローカルファイル指定
	ファームウェアファイル名	空欄
	ファームウェア更新通知機能	使用する
	確認時間	自動

■本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があり、現に購入された製品とは一部異なることがあります。

■本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または当社サポートセンターまでご連絡ください。

■本製品は一般的なオフィスや家庭のOA機器としてお使いください。万一、一般OA機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、当社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

・医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。

・一般OA機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときは、ご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。

■本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外では使用しないでください。また、当社は、本製品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っておりません。

■本製品(付属品等を含む)を輸出または提供する場合は、外国為替及び外国貿易法および米国輸出管理関連法規等の規制をご確認の上、必要な手続きをおとりください。

■本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。

■当社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記憶されたデータが消失・破損した場合については、保証しておりません。本製品がハードディスク等の記憶装置の場合または記憶装置に接続して使用するものである場合は、本書に記載された注意事項を遵守してください。また、必要なデータはバックアップを作成してください。お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップの作成を怠ったために、データを消失・破棄に伴う損害が発生した場合であっても、当社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■本製品に起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、当社に故意または重大な過失があった場合を除き、本製品の購入代金と同額を上限と致します。

■本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修補し、または瑕疵のない同一製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。